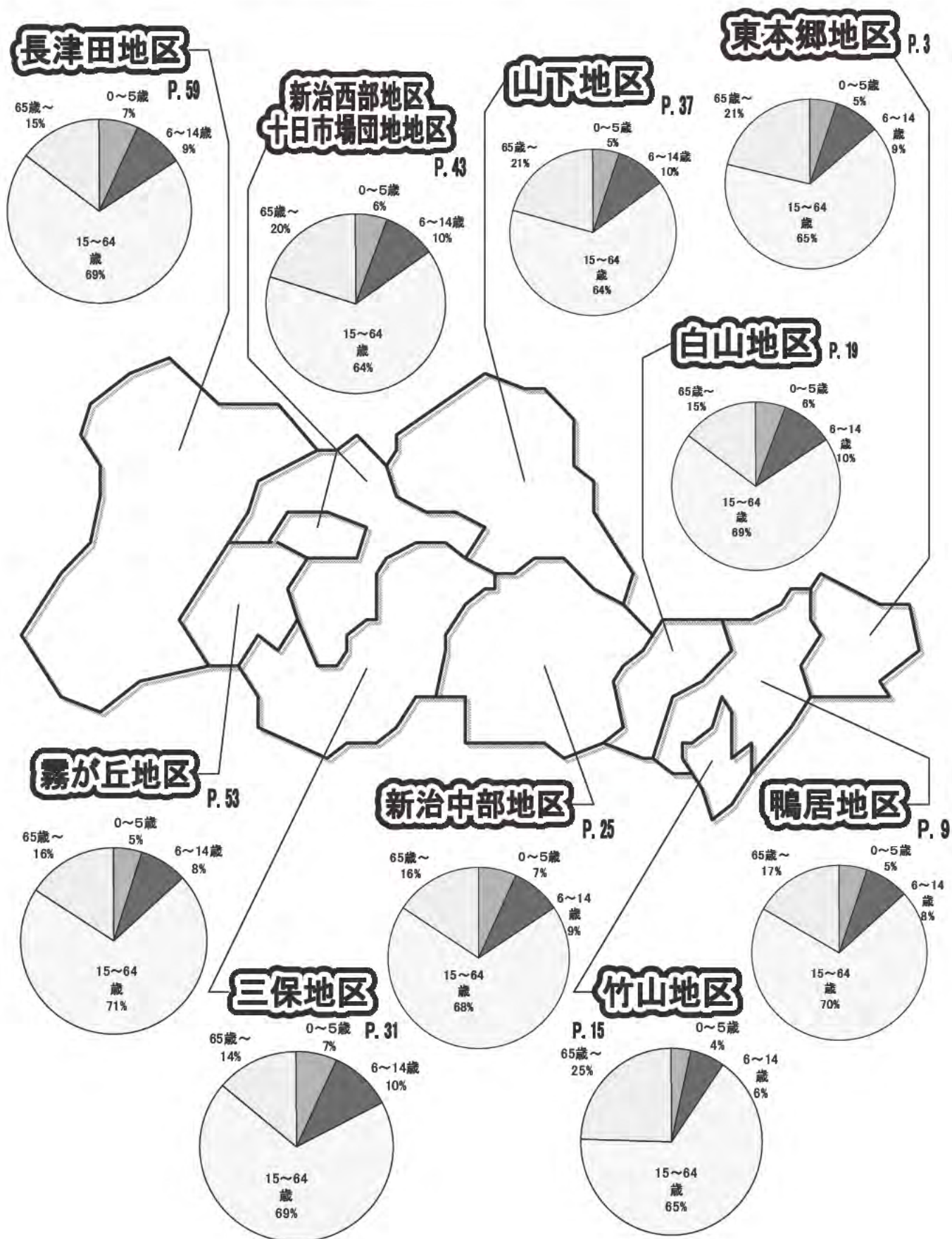


II. 地域での取り組み概況

1 各地区における取り組み状況

下記の円グラフは、平成20年9月末での地区別・年齢階層別人口構成比です。詳細は各ページをご覧ください。



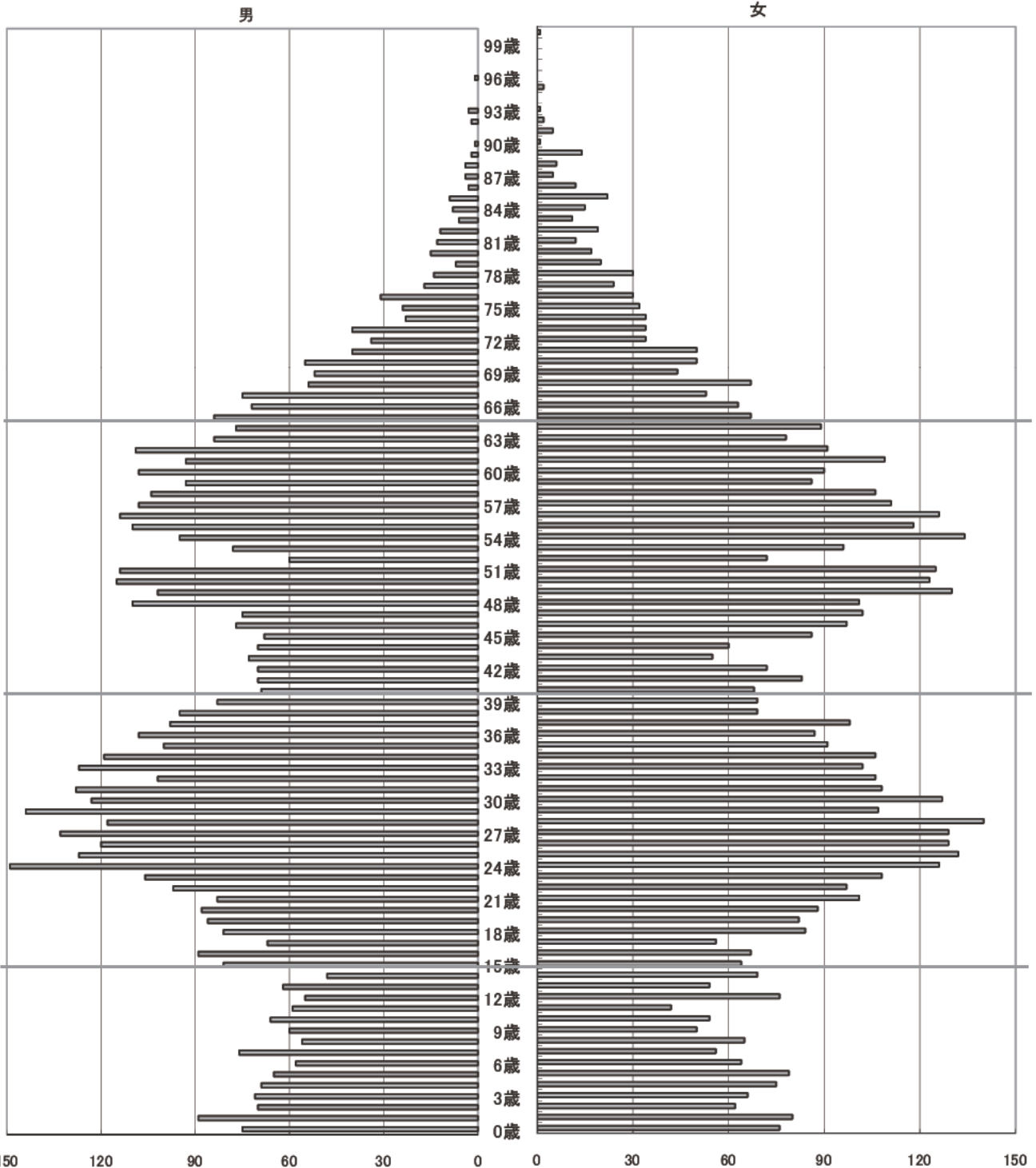
東本郷地区

<地域> 東本郷町、東本郷1～6丁目

平成10年(1998年)9月末現在の人口(単位:人)

<東本郷地区の人口動態>

	平成10年9月末(A)	平成20年9月末(B)	増減(B-A)
人口	13,208人	13,332人	124人
年齢区分別人口			
0～5歳	877人	709人	▲168人
6～14歳	1,070人	1,154人	84人
15～64歳	9,779人	8,627人	▲1,152人
65歳～	1,482人	2,842人	1,360人
高齢化率	11.22%	21.32%	10.10%
世帯数	4,834	5,526	692
上記のうち、65歳以上で1人暮らし世帯数	230	510	280



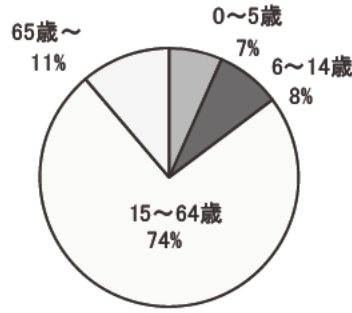
東本郷地区は、10年前と比較すると、人口に変化は見られませんが、以下の特徴があります。

- 15歳から64歳の割合 9%減少
- 65歳以上の割合 10%増加
- 高齢化率 10%増加

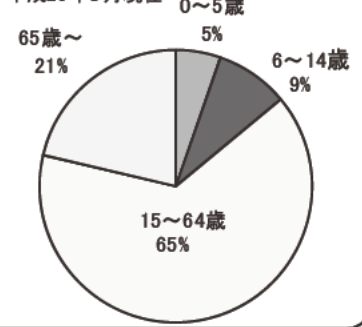
平成20年(2008年)9月末現在の人口(単位:人)

<年齢区分別人口の割合>

平成10年9月現在

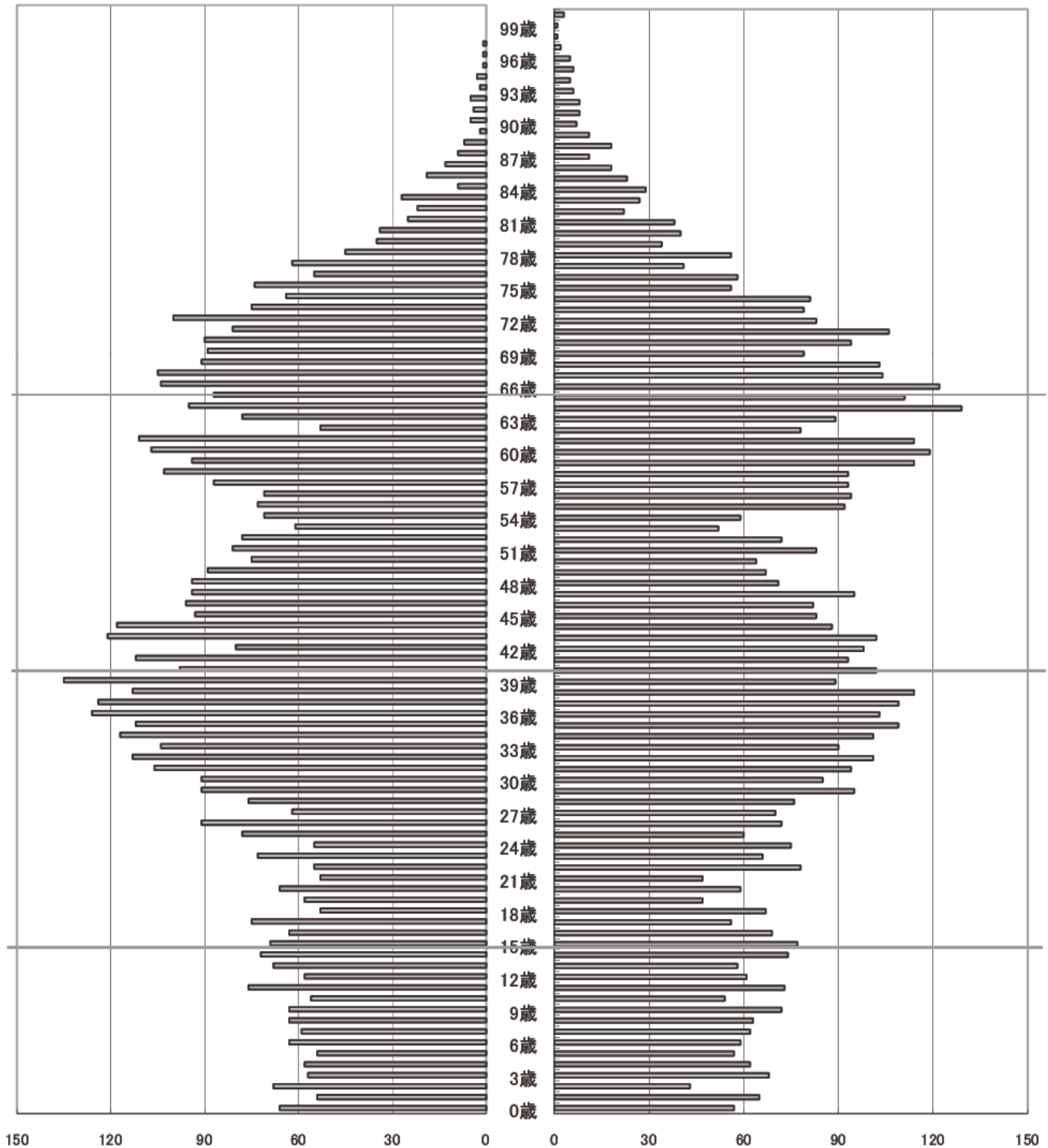


平成20年9月現在



男

女



【東本郷地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
1	1 住民同士が顔見知りとなり、地域で支えあえる関係づくりをすすめます。	1 住民同士がつながりを持つきっかけとして、あいさつや声かけが自然にできる関係づくりをすすめていきます。	小学校PTA、地区社協、連合自治会 小学校PTA、地区社協、連合自治会 青少年指導員、体育指導委員、自治会、中学校 日網自治会	一般 一般 一般 こども	小学校で開催している「ヒガホンまつり」において、地区社協、連合自治会等協働で開催（継続） 連合夏祭り、各地区夏祭り（継続） クリーン大作戦（継続） 日網みこし祭り（継続）
		2 自治会や地区社協などの地域活動への参加促進に取り組みます。	小学校PTA、地区社協、連合自治会 地区社協	一般 一般	小学校で開催している「ヒガホンまつり」において、地域の福祉活動の紹介等（継続） 地区社協ニュース・ホームページ（継続）
	2 身近な地域でボランティアの仲介ができるようにします。	1 身近な地域に、ボランティア関係の相談ができる人を育て、ボランティアをしたい人、受けたい人の相談と調整ができる仕組みをつくりまします。	地区社協	一般	東本郷ボランティアセンターの活動（継続）
		2 区社協（ボランティア相談コーナー）で培ったコーディネートの知識や経験を用いて、新たなコーディネーターの育成を行います。	—	—	—
2	1 ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくりをすすめます。	1 ボランティアの人材募集、育成のために、区社協や各種福祉施設などで参加意欲を高めるようなプログラムを取り入れた講座や研修を行い、効果的なPRを実施します	地域ケアプラザ	一般	ボランティア講座実施（継続）
		2 福祉保健活動に関する情報を手軽に得られるよう、インターネットを利用した情報提供を行います。	福祉保健活動団体、地域ケアプラザ、区役所、地区社協 地区社協 地域ケアプラザ	一般 一般 一般	HP「みどり ひと・まちナビ」へ情報登録実施（継続） ホームページで情報提供（継続） ホームページで情報提供（継続）
	3 障がい児・者を支援するためのボランティアを育てていきます。	1 障がいに関する知識を学び、技術を身につける研修を増やします。	地域ケアプラザ、障がい児・者団体、特別支援学校、区役所、区社協 地域ケアプラザ、障がい児・者団体、特別支援学校、区役所、区社協 地域ケアプラザ	障がい 障がい 一般	障がい児者、子育て支援団体交流会実施（継続） みんなで歩こう会実行委員会（継続） 「こころの病を知る」講座（継続）
			2 研修を受けた人たちが実際にボランティア活動ができるような環境を整えます。	地域ケアプラザ 地区社協 地域ケアプラザ 民生・児童委員 特別支援学校・養護学校、地域ケアプラザ、地域活動ホーム、区社協、区役所	一般 一般 一般 障がい 障がい
4	1 思いやりのある人を育てる地域をつくりまします。	1 学校における福祉教育を地域の人や福祉施設などの協力を得て充実させていきます。	地区社協、民生・児童委員 小中学校、PTA、地域のボランティア団体、地域ケアプラザ 小学校、地区社協 地域ケアプラザ 福祉保健活動団体	こども こども こども こども	ふれあいタイム（小学生との昼食会、交流会など）（継続） 福祉体験・施設見学などの協力 「ヒガホンフェスティバル」への協力（継続） ハートバリアフリー実行委員会による福祉教育（継続）
			2 学校、家庭、地域が連携して地域福祉保健活動を活性化していきます。	小学校PTA、地区社協、連合自治会	一般
	3 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	1 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	小学校PTA、地区社協、連合自治会	一般	小学校で開催している「ヒガホンまつり」において、地区社協、連合自治会等協働で開催（継続）
			2 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	小学校PTA、地区社協、連合自治会	一般

※平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

【東本郷地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
3	2 同じような目的をもった人が集える機会や場を増やします。	2 集える機会を増やして活動の活性化につなげます。	当事者	障がい	キッズ空手（育児サークル）（継続）
			当事者	こども	あんだんて（育児サークル）（継続）
			当事者	こども	マザーグース（育児サークル）（継続）
			当事者	こども	こっこクラブ（育児サークル）（継続）
			当事者	こども	ひよこキッズ（育児サークル）（継続）
			当事者	こども	ココロくらぶ（育児サークル）（継続）
			当事者	こども	クローバー（育児サークル）（継続）
			当事者	こども	メリーちゃん会（育児サークル）（継続）
			ボランティア、地区社協	こども	キッズオアシスひがぼん2（育児支援）の実施（継続）
			地域ケアプラザ	こども	ポッチャ（継続）
	地域ケアプラザ	こども	キッズオアシスひがぼん（育児支援）の実施（継続）		
	区役所、地域ケアプラザ	こども	ブレババ・プレママ講座（新規）		
	区役所	こども	赤ちゃん教室（継続）		
	3 世代間のつながりがもてるような機会や場づくりをすすめます。	1 地域での行事やグループなどの交流を促進して、つながりのきっかけづくりをしていきます。	PTA、連合自治会、地区社協、福祉保健活動団体、地域ケアプラザ	一般	東本郷小学校「ヒガホンまつり」での情報交換、交流等（継続）
			連合自治会、青少年指導員、体育指導委員、民生・児童委員	一般	さわやかスポーツ（継続）
			東本郷配食サービス	高齢	ボランティアが見守りをおこなって配食、調理は福澤保育園（継続）
			ボランティアばら地域ボランティア	高齢	昼食会及び配食（継続）
			日鋼お食事会地域ボランティア	高齢	会食会及び配食（継続）
			三菱さくら会地域ボランティア	高齢	会食会（継続）
			東本郷ボランティア	高齢	昼食会（継続）
連合自治会、青少年指導員、体育指導委員、子供会			こども	スポーツレク大会（継続） ディキャンプ（継続） 体育祭（継続） 手作り教室（継続）	
地域ケアプラザ			こども	ケアプラザへ行こう（継続）	
2 公共施設などのフリースペースで、誰でも自由に参加できる「場」の活用をすすめます。			-	-	-
4	1 困ったときに身近な地域での相談先がわかるようにします。	1 事業者との連携により、相談機関等を示した啓発ポスターを掲示していきます。	地域ケアプラザ	一般	館内掲示（継続）
		2 福祉保健の総合相談窓口としての地域ケアプラザを地域にPRしていきます。	地域ケアプラザ	一般	地域活動（食事会・イベント等）でのPR実施（継続）
		地域ケアプラザ	一般	新聞「たんぼぼ」発行・HP掲載（継続）	
		3 身近な地域の福祉保健関係者の活動をPRしていきます。	地区社協	一般	ホームページ作成（継続）
		地域ケアプラザ	一般	ケアプラザ新聞「たんぼぼ」（継続） 介護者向け広報紙「ほっと便り」（継続） 特定高齢者向け「にっこり通信」（継続）	
	4 福祉保健相談の受け手をPRしていきます。	-	-	-	
	2 福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます。	1 個々の団体の活動内容を地域に効果的に広報していきます。	地区社協	一般	ホームページ作成（継続）
		2 福祉保健活動団体掲載冊子を作成し、身近な地域で利用できるようにします。	地区社協	一般	「東本郷の地域福祉の活動概況」発行（継続）
		3 社協の活動をわかりやすく周知し、地域とのかかわりを深めていきます。	地区社協	一般	地区社協ニュース等の発行（継続）

*平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

【東本郷地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
4	2 福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます。	4 住民に身近な場所で福祉保健に関する制度やサービスなどの情報提供をしていきます。	地域ケアプラザ	一般	ケアプラザ新聞「たんぼぼ」(継続) 介護者向け広報紙「ぼっと便り」(継続) 特定高齢者向け「にっこり通信」(継続) 館内掲示(継続) HP掲載(継続)
			地域ケアプラザ	一般	年を取りたくない人のための連続セミナー(新規)
		5 地域活動団体同士の交流を活性化し、情報の共有を促進します。	地域ケアプラザ、福祉保健活動団体、養護学校、区役所、区社協	一般	高齢者ボランティア交流会、障がい児・者、子育て支援団体交流会実施(継続)
			地区社協	一般	ボランティア団体交流会(継続)
		6 地域単位で障がいについての講習会や交流の機会を設け、情報を地域に提供し、地域の理解を深めます。	地域ケアプラザ	一般	「こころの病を知る」講座開催(精神障がいの理解)(継続)
			地区社協	一般	ホームページでの情報提供
	3 誰もが情報を入手しやすい環境整備をすすめます。	1 若年層、中年層、高齢層などそれぞれの年齢層に適した工夫を凝らした、多様な方法で情報発信を行っていきます。	地域ケアプラザ	一般	ホームページ・広報紙での情報提供(継続)
			地域ケアプラザ	障がい	コミュニケーションボードを受付に設置(継続)
		2 高齢者や障がい者については、相手の理解しやすい方法で情報を提供しよう心がけます。	民生委員・児童委員 地域ケアプラザ	高齢	ケアマネージャーによるよろず相談会(継続)
	4 支援が必要な人の情報を地域単位で把握しやすくしていきます	1 緊急時を含め、支援が必要な人について、個人情報保護に配慮して、地域で情報を把握できるようにしていきます。	民生委員・児童委員	高齢	ふれあい・あんしん推進事業(継続)
			地域ケアプラザ	一般	—
			—	—	—
5	1 災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるよう取り組みます。	1 災害・緊急時に備え、日ごろから支えあいの人間関係づくりをすすめます。	—	—	—
			2 災害弱者の救援対策を地域全体で考えていきます。	自治会	一般
		3 災害時・緊急時、犯罪等の情報を多様な方法で迅速に伝達していきます。	地域ケアプラザ	一般	年を取りたくない人のための連続セミナー(新規)
			地域ケアプラザ	一般	地域みんなで火の用心(新規)
	4 さまざまな工夫をした防犯パトロール活動に取り組みます。	自治会、PTA	一般	防犯パトロール活動(継続)	
		—	—	—	
	2 誰もが安心して安全に出かけられるまちづくりをすすめます。	1 点字ブロックの上に物を置かないなど、誰もが外出しやすいよう、住民同士が配慮をしていきます。	自治会	一般	ゴミだし・ゴミ置き場の管理(継続)
			東本郷まちづくり協議会 自治会	一般	避難ルート標識設置(継続)
		2 地域でのボランティアによる送迎活動やミニバス運行など高齢者や障がい児・者などの移動を地域で支えています。	東本郷まちづくり協議会 自治会	一般	ボランティア東本郷ささえ愛の会：送迎サービス(継続) ミニ巡回バスの運行(継続)
	3 誰もが心豊かで、より健やかに生活できるようにしていきます。	1 子どもの頃からの健康づくりをすすめます。	連合自治会、青少年指導委員、体育指導委員	一般	スポーツレク大会(継続) ディキャンプ(継続) 体育祭(継続)
			保健活動推進員	一般	健康体操や講座実施、各種事業への支援(継続) ヨガ教室(継続)
		2 地域で自主的な健康づくり活動を、各種保健団体と協力して広がっていきます。	福祉保健活動団体	一般	太極拳(継続)
地域ケアプラザ			高齢	「スキップ」(介護予防体操)の実施(継続)	
3 地域で介護予防活動の取り組みを充実していきます。		自治会	自治会	高齢	介護予防体操(むつみ自治会)(継続)
			地域ケアプラザ	高齢	「スキップ」(介護予防体操)の実施(継続)
		地域ケアプラザ	一般	年を取りたくない人のための連続セミナー(新規)	
東本郷ばらの自治会	一般	ラジオ体操(東本郷第一公園、通称：ぶた公園)(継続)			
自治会	高齢	さくら(介護予防体操)(新規)			

*平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

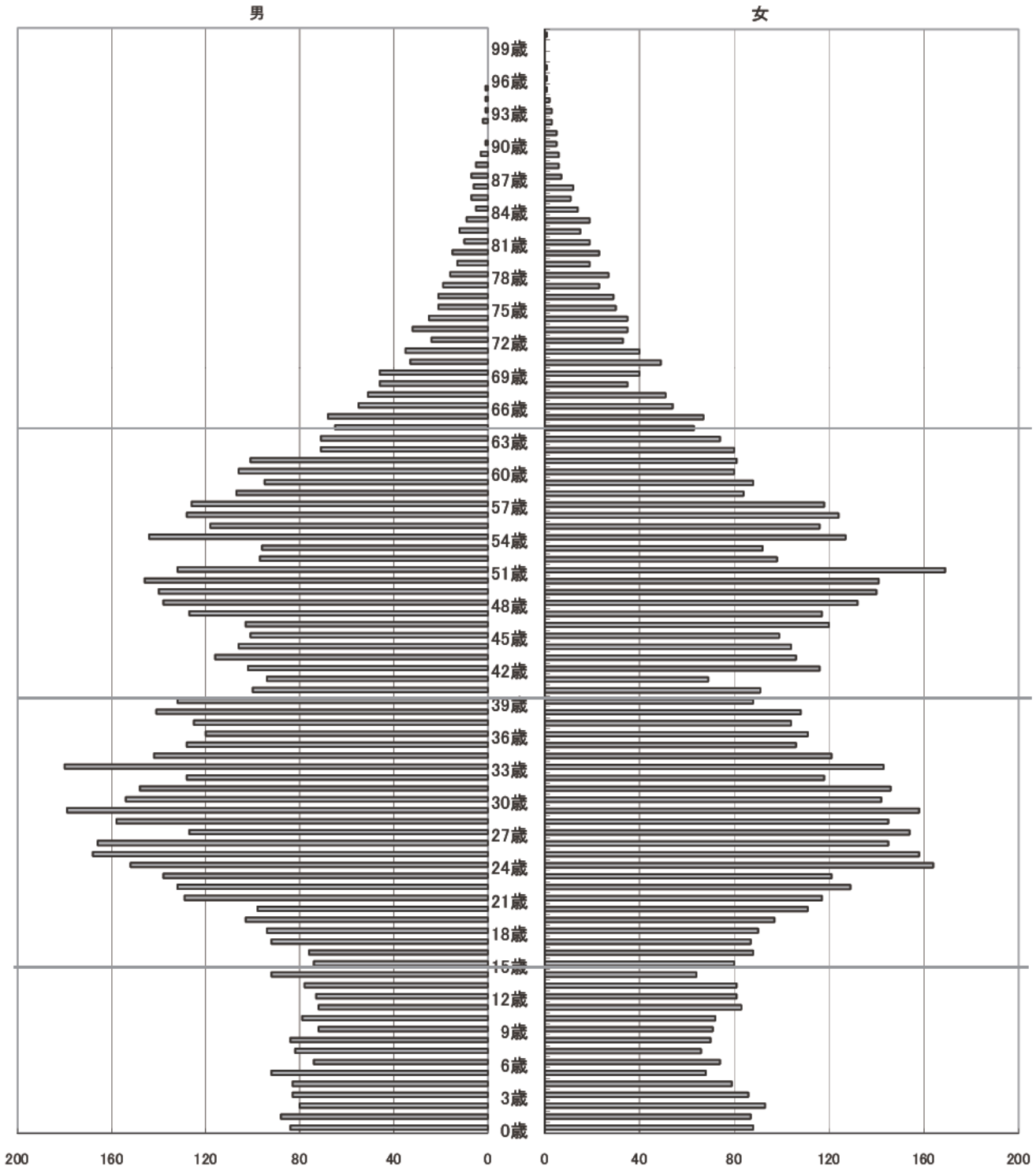
鴨居地区

<地域> 鴨居1~7丁目、鴨居町

平成10年(1998年)9月末現在の人口(単位:人)

<鴨居地区の人口動態>

	平成10年9月末(A)	平成20年9月末(B)	増減(B-A)
人口	15,364人	15,363人	▲1人
年齢区分別人口			
0~5歳	1,011人	816人	▲195人
6~14歳	1,368人	1,225人	▲143人
15~64歳	11,674人	10,769人	▲905人
65歳~	1,311人	2,553人	1,242人
高齢化率	8.53%	16.62%	8.09%
世帯数	5,882	6,657	775
上記のうち、65歳以上で1人暮らし世帯数	208	549	341



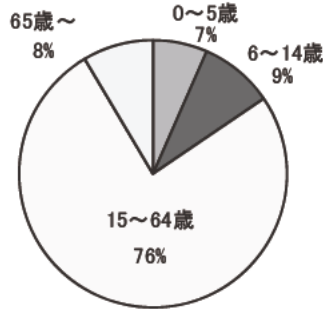
鴨居地区は、10年前と比較すると、人口に変化は見られませんが、以下の特徴があります。

- 15歳から64歳の割合 6%減少
- 65歳以上の割合 8%増加
- 高齢化率 8%増加

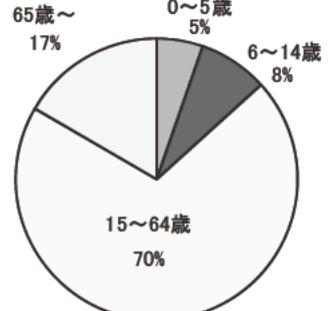
平成20年(2008年)9月末現在の人口(単位:人)

<年齢区分別人口の割合>

平成10年9月現在

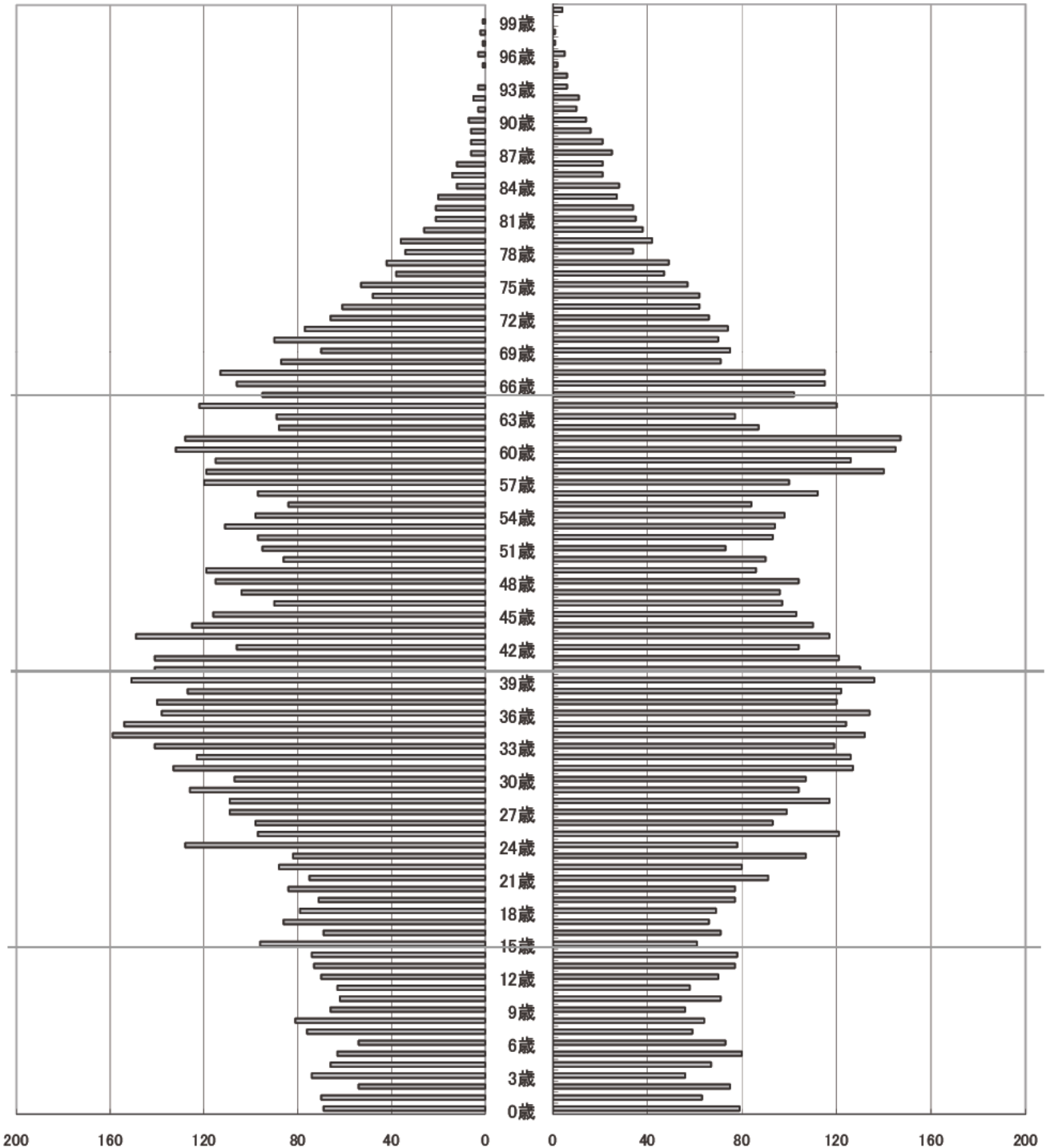


平成20年9月現在



男

女



【鴨居地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
1	1 住民同士が顔見知りとなり、地域で支えあえる関係づくりをすすめます。	1 住民同士がつながりを持つきっかけとして、あいさつや声かけが自然にできる関係づくりをすすめていきます。	自治会	一般	挨拶運動：ポスターの更新・掲示板の設置・回覧板の手渡し（継続）
		2 自治会や地区社協などの地域活動への参加促進に取り組みます。	地域ケアプラザ	一般	みどりのわ・ささえ愛プラン「エリアミーティング」の開催（新規） 鴨居地域ケアプラザ「なつまつり」（新規）
2	1 身近な地域でボランティアの仲介ができるようにします。	1 身近な地域に、ボランティア関係の相談ができる人を育て、ボランティアをしたい人、受けたい人の相談と調整ができる仕組みをつくります。	地区社協	一般	「ボランティア相談室」設置に向けた検討実施（継続）
		2 区社協（ボランティア相談コーナー）で培ったコーディネートの知識や経験を用いて、新たなコーディネーターの育成を行います。	—	—	—
	2 ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくりをすすめます。	1 ボランティアの人材募集、育成のために、区社協や各種福祉施設などで参加意欲を高めるようなプログラムを取り入れた講座や研修を行い、効果的なPRを実施します。	地区社協、福祉保健活動団体	一般	鴨居福祉まつり（継続）
		2 福祉保健活動に関する情報を手軽に得られるよう、インターネットを利用した情報提供を行います。	地域ケアプラザ	一般	ボランティア講座実施（新規）
3	障がい児・者を支援するためのボランティアを育てていきます。	1 障がいに関する知識を学び、技術を身につける研修を増やします。	福祉保健活動団体、地域ケアプラザ、区役所	一般	HP「みどり ひと・まちナビ」へ情報登録実施（継続）
		2 研修を受けた人たちが実際にボランティア活動ができるような環境を整えます。	地域ケアプラザ、障がい児・者団体、特別支援学校、区役所、区社協	障がい	障がい児者、子育て支援団体交流会実施（継続）
		3 障がい児・者の地域生活支援（余暇支援など）のボランティアが主体的にグループの運営に参加できるよう支援していきます。	地域ケアプラザ、障がい児・者団体、特別支援学校、区役所、区社協	障がい	みんなで歩こう会実行委員会（継続）
			特別支援学校・養護学校、地域ケアプラザ、地域活動ホーム、区社協、区役所	障がい	障がい児余暇支援事業（新規）
4	思いやりのある人を育てる地域をつくります。	1 学校における福祉教育を地域の人や福祉施設などの協力を得て充実させていきます。	地域ケアプラザ	障がい	かもかもクラブ（障がい者余暇支援事業）お料理教室（継続）
		2 学校、家庭、地域が連携して地域福祉保健活動を活性化していきます。	福祉保健活動団体	子ども	ハートバリアフリー実行委員会による福祉教育（継続）
		3 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	地区社協、福祉保健活動団体	一般	鴨居福祉まつり（継続）
3	1 身近な「場」を有効活用できるようにします。	1 学校、地区センター、地域ケアプラザ、地域作業所などの施設に関して、地域のニーズにあった弾力的な運用を促進します。	—	—	—
		2 多様な民間施設の有効活用をすすめます。（店舗の空き時間の活用、空きスペースの活用、企業の会議室などの活用）	—	—	—
		3 身近な地域で活動できる場についてのガイドマップを作成します。	—	—	—
		2 多様な民間施設の有効活用をすすめます。（店舗の空き時間の活用、空きスペースの活用、企業の会議室などの活用）	地区社協	一般	鴨居地域ケアプラザ開設（福祉ボランティアホール<GPホール>利用に向け継続検討）

※平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

【鴨居地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
3	2 同じような目的をもった人が集える機会や場を増やします。	1 利用する対象者の目的に合った施設情報の提供を促進します。	—	—	—
		2 集える機会を増やして活動の活性化につなげます。	ボランティア	障がい	地区リハビリ教室れんげの会（継続）
			鴨居小学校PTA 主任児童委員	一般	おやじの会：バレーボール大会・パソコンの配線（継続）
			鴨居駅周辺まちづくり研究会	一般	鴨居駅周辺のまちづくり等（継続）
			田中医院	一般	ウォーキング（継続）
			主任児童委員	一般	コガモ広場（地域の居場所づくり・人材育成）（継続）
			当事者	障がい	かもかもクラブ（障がい者対象）の活動（継続）
			特別支援学校・養護学校、地域ケアプラザ、地域活動ホーム、区社協、区役所	障がい	障がい児余暇支援事業（新規）
			地域ケアプラザ	子ども	キッズオアシスひがぼん（育児支援）の実施（継続）
			区役所、地域ケアプラザ	子ども	プレババ・プレママ講座（新規）
			主任児童委員	子ども	「手作りをたのしむ会」子どもを対象としたおやつ作り（継続）
			地域ケアプラザ	高齢	介護者のつどい（介護に関する情報交換等）の活動（継続）
			地区社協、福祉保健活動団体	一般	鴨居福祉まつり（継続）
			地区社協、福祉保健活動団体	高齢	鴨居ボランティア等会食会・配食会（継続）配食サービス
2 公共施設などのフリースペースで、誰でも自由に参加できる「場」の活用をすすめます。	—	—	—		
4	1 困ったときに身近な地域での相談先がわかるようになります。	1 事業者との連携により、相談機関等を示した啓発ポスターを掲示していきます。	—	—	—
		2 福祉保健の総合相談窓口としての地域ケアプラザを地域にPRしていきます。	地域ケアプラザ	一般	交流会等でのPR実施（継続）
			地域ケアプラザ	一般	新聞「かもネット」発行
		3 身近な地域の福祉保健関係者の活動をPRしていきます。	—	—	—
4 福祉保健相談の受け手をPRしていきます。	—	—	—		
4	2 福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます。	1 個々の団体の活動内容を地域に効果的に広報していきます。	—	—	—
		2 福祉保健活動団体掲載冊子を作成し、身近な地域で利用できるようにします。	—	—	—

※平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

【鴨居地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容	
4	2 福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます。	3 社協の活動をわかりやすく周知し、地域とのかかわりを深めていきます。	地区社協	一般	地区社協ニュース等の発行（継続） 「ゆずり葉」	
		4 住民に身近な場所で福祉保健に関する制度やサービスなどの情報提供をしていきます。	地域ケアプラザ	一般	「かもネット」発行（新規）	
		5 地域活動団体同士の交流を活性化し、情報の共有を促進します。	地域ケアプラザ、福祉保健活動団体、特別支援学校、区役所、区社協	一般	高齢者ボランティア交流会、障がい児・者、子育て支援団体交流会実施（継続）	
		6 地域単位で障がいについての講習会や交流の機会を設け、情報を地域に提供し、地域の理解を深めます。	—	—	—	
	3 誰もが情報を入手しやすい環境整備をすすめます。	1 若年層、中年層、高齢層などそれぞれの年齢層に適した工夫を凝らした、多様な方法で情報発信を行っていきます。	自治会	一般	ホームページでの情報提供（継続）	
		2 高齢者や障がい者については、相手の理解しやすい方法で情報を提供しよう心がけます。	—	—	—	
	4 支援が必要な人の情報を地域単位で把握しやすくしていきます。	1 緊急時を含め、支援が必要な人について、個人情報保護に配慮して、地域で情報を把握できるようにしていきます。	—	—	—	
		2 地域活動や行事の際に、支援の必要な人の参加を促し情報を把握していきます。	—	—	—	
		3 個人情報の取り扱いに関する啓発をすすめていきます。	—	—	—	
	5	1 災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるよう取り組みます。	1 災害・緊急時に備え、日ごろから支えあいの人間関係づくりをすすめます。	—	—	—
			2 災害弱者の救援対策を地域全体で考えていきます。	自治会	一般	ささえあいカード（要援護者把握）（継続）
			3 災害時・緊急時、犯罪等の情報を多様な方法で迅速に伝達していきます。	—	—	—
4 さまざまな工夫をした防犯パトロール活動に取り組みます。			自治会、PTA	一般	防犯パトロール活動（継続）	
2 誰もが安心して安全に出かけられるまちづくりをすすめます。		1 点字ブロックの上などに物を置かないなど、誰もが外出しやすいよう、住民同士が配慮をしていきます。	—	—	—	
		2 地域でのボランティアによる送迎活動やミニバス運行など高齢者や障がい児・者などの移動を地域で支えていきます。	—	—	—	
3 誰もが心豊かで、より健やかに生活できるようにしていきます。		1 子どもの頃からの健康づくりをすすめます。	—	—	—	
		2 地域で自主的な健康づくり活動を、各種保健団体と協力して広げていきます。	保健活動推進員	一般	健康体操や講座実施、各種事業への支援（継続）	
	3 地域で介護予防活動の取り組みを充実していきます。	地域ケアプラザ	高齢	はあちゃん会（転倒予防教室OB）体操教室「スキップ」（介護予防体操）の実施		

■平成20年度 緑区社会福祉協議会 地区社協出張研修■

研修会

「認知症の症状と対応」

～認知症の世界と現実の介護～

「AEDのサプライズ」

日時：平成21年1月31日(土) 14:00～16:00
 講師：本望 小千江氏 (介護支援専門員/居宅介護支援事業所「あゆみ」代表取締役)
 干場 氏(鴨居消防署署長)

【プログラム】
 14:00～ 開会のあいさつ
 14:10～ 「認知症の症状と対応」
 15:15～ 各種ご案内・アンケート記入
 15:35～ 「AEDのサプライズ」
 15:55～ 開会のあいさつ

※アンケート [ピンク色] はお帰りの際にお渡しください

認知症があって、生活に困っている人が多い。

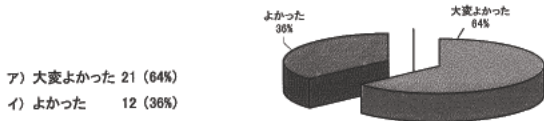
認知症の理解が広がれば、早期に対応ができるので予防につながる。

「認知症の理解は地域のキーワードの一つ」

平成20年度 鴨居地区社協出張研修(アンケート集計)

研修日時 平成21年1月31日(土) 14:00～16:00
 参加者数 38名 アンケート回答者数 33名 (男性2名・女性31名)

(1)本望さんのお話はいかがでしたか？



(2)「認知症」について、より深く知りたいことは何ですか？

- ア) 特徴・症状について
 【コメント】なし
- イ) 接し方や対応について
 【コメント】
 ・町全体で理解することで、より安心・安全な町作りにつながるのでは。
 ・今日のような知識を共有し、見守りネットワークが広がる方法について、みなさんで考えていきたいです。
 ・母の認知症をなかなか受け入れられかねないのが不安です。この先どうなっていくのだろうと不安です。
 ・事例に対して、意見交換ができる時間があたらしく良かったです。
 ・現在義父(83才)と実母(93才)が軽い認知症です。病院より薬をいただいております。
- ウ) 予防に付いて
 【コメント】
 ・症状の進行を遅らすために、カラオケが良いと聞きましたが、本当ですか？
 ・アリセプトという薬がどの程度効果があるのか？どういふことをしていると認知症になりにくいのか？
 ・詳しく知りたいです。
 ・自分の事として、予防が出来るのであれば、やはり一日でも認知症が遅くなればほしいので、予防法をよく知りたいです。
 ・初期の認知症のサインの大部分に心当たりがあるため。
 ・気づいた時は認知症を発症している場合が多いので、身近なところから取り組める予防の方法について学びたい。
 ・ならないため(少しでも遅くするような)対策があれば聞かせて欲しいです。また、早期発見についても「？」と思った時、どこで受診したらよいのでしょうか
 ・初期の予防法を特に知りたい。
 ・予防について。
 ・日頃簡単にできる運動を、施設も楽々と使える場所に。
 ・死んだ母がアルツハイマーとレビー小体型痴呆でした。たくさんのエピソードと介護の経験があります。
 ・どんな事に気がついたら良いのか。
 ・あるなら予防法をお聞きしたいです。

〈アンケートや会場の声から〉

- ・たくさんの人が認知症のことを知ってほしい、そうすれば困る前に対応できる
- ・認知症が病気だと思えることが大切
- ・医療機関などの情報も必要
- ・周りがしてあげられることはなんだろう
- ・家族の話の受けとめをしてくれるところがたくさんあればいい
- ・地域の見守りやネットワークが必要、広げていくにはどうしたらいいか
- ・認知症の予防についてどうしたらいいのかわかりたい

(3)あなたが日ごろ感じることや”あったらいいな”と思うことを教えてください

- 【コメント】
 ・地域の中での見守りや、ネットワークの充実。
 ・認知症の方の入る特別養護老人ホームが、なかなか入所するのが大変だそうですどうなのでしょう。
 ・近所の病院で認知症の検査をしてくれるところが、どこにあるか教えていただけると助かります。
 ・主人に毎日思いやりを持って接します。生け花を अच्छこちち断って心なでます。
 ・一人暮らしになった時、すぐにサポートしてくれるシステムを作してほしい(近所、役所等)
 ・専用の拠点がないとミーティングが気軽にできないし、データなど資料を保持したい。地域で支えあう事を気軽にしたい。
 ・現在認知症ではありませんが、高齢の姉と同居しています。とても良い姉なのですが、同居というだけで大変なところもあります。家族の話をしっかり受け止めてくださる場がいっぱいあるとうれしいかなと思います。
 ・若い30代、40代の方に認知症のことを知ってほしいと思います。また、若年性認知症の方を支えるよい方法があればいいなと思います。
 ・介護者の息抜きのある場所作りがあると、もっと介護者が気分的に楽になるかなと思います。
 ・近くの認知症に詳しい医療機関を知りたい。
 ・介護をしている人の見守りや思いやりも必要ではないでしょうか。
 ・年齢、集まる人を変えて話をしたらよいと思う。一回聞いてためにならないと、二回目には行かなくなる。来る方にニーズによって、話の内容を考える。生活に直結する話が良いと思う。

〈緑区高齢者支援担当より〉
 H20年度は区内3箇所「認知症予防講演会」を開催しました。H18年度認知症予防教室 OB 会が鴨居地区で活動を続けています。
 また、介護を受けない健康づくりを目的にした「みどり・はつらつ健康講座」を鴨居地域ケアプラザで開催しました。

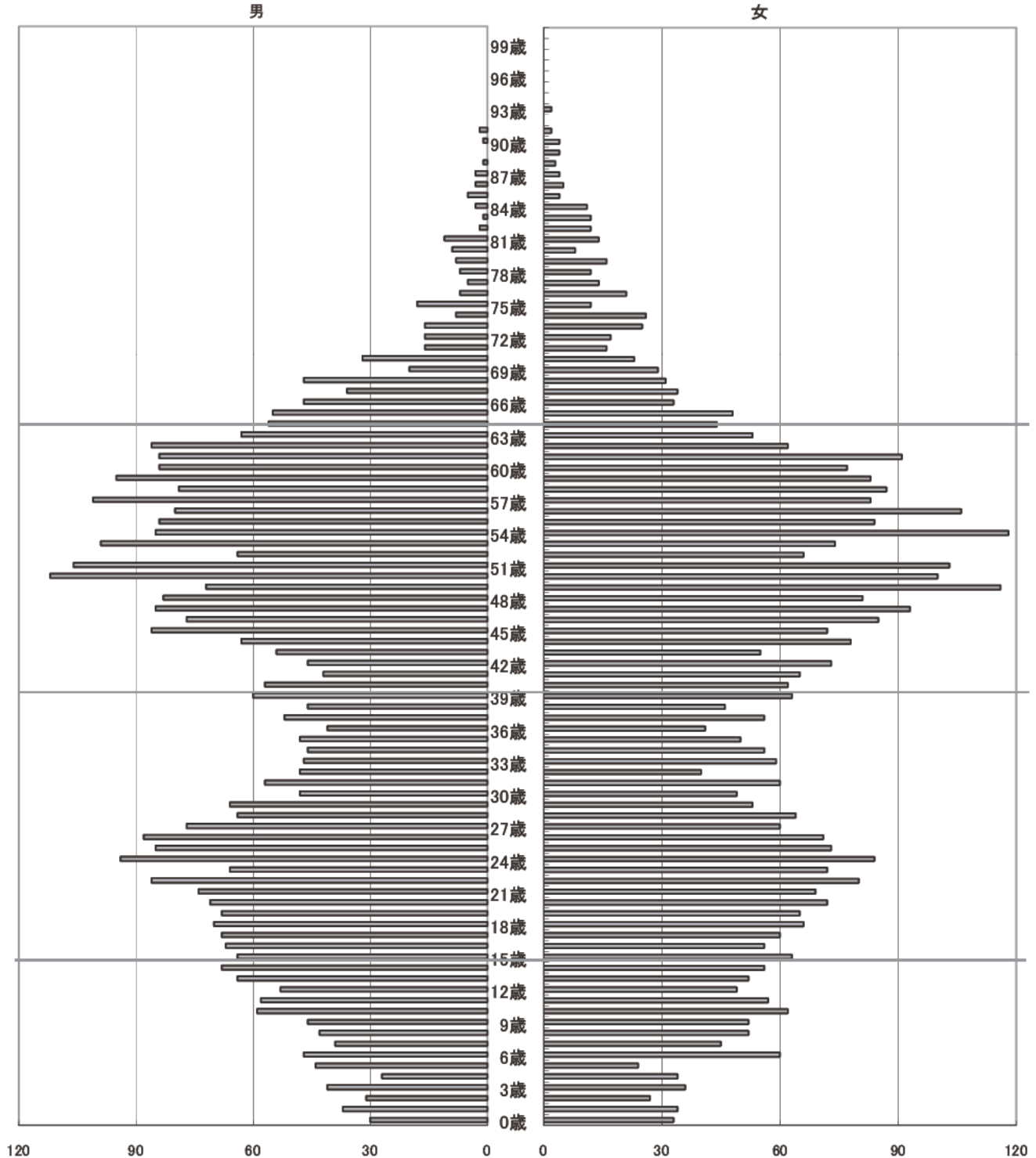
竹山地区

<地域> 竹山1~4丁目

平成10年(1998年)9月末現在の人口(単位:人)

<竹山地区の人口動態>

	平成10年9月末(A)	平成20年9月末(B)	増減(B-A)
人口	9,264人	7,947人	▲1,317人
年齢区分別人口			
0~5歳	398人	289人	▲109人
6~14歳	962人	484人	▲478人
15~64歳	7,083人	5,208人	▲1,875人
65歳~	821人	1,966人	▲1,145人
高齢化率	8.86%	24.74%	15.88%
世帯数	3,153	3,290	137
上記のうち、65歳以上で1人暮らし世帯数	117	334	217



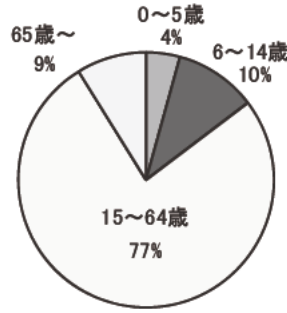
竹山地区は、10年前と比較すると人口が約14.2%減少しています。そのことに加えて以下の特徴があります。

- 6歳から14歳の割合 4%減少
- 15歳から64歳の割合 12%減少
- 65歳以上の割合 16%増加
- 高齢化率 15.9%増加

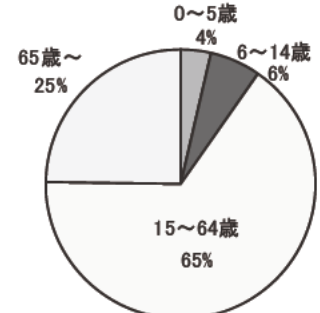
平成20年(2008年)9月末現在の人口(単位:人)

<年齢区分別人口の割合>

平成10年9月現在

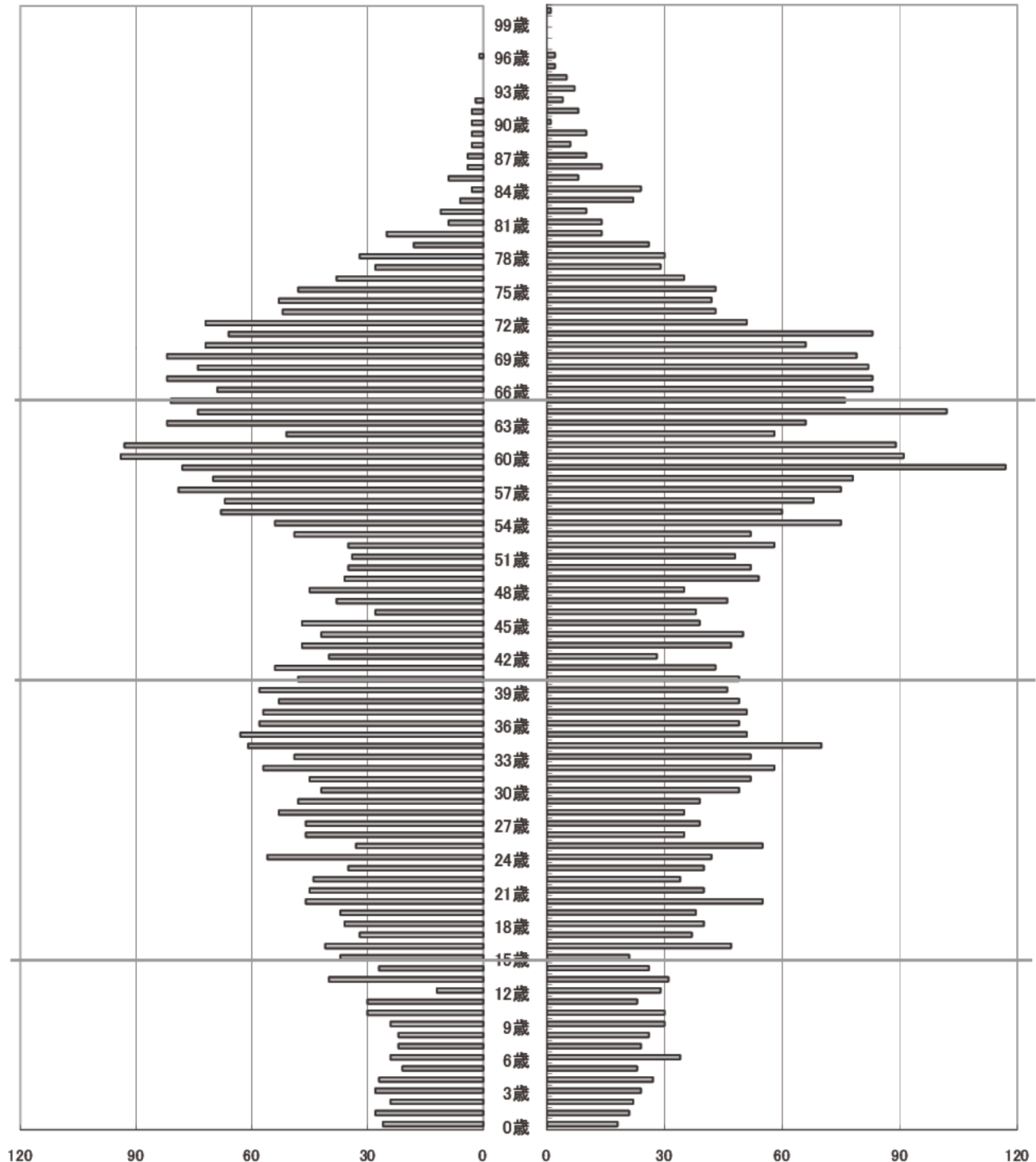


平成20年9月現在



男

女



【竹山地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
1	1 住民同士が顔見知りとなり、地域で支えあえる関係づくりをすすめます。	1 住民同士がつながりを持つきっかけとして、あいさつや声かけが自然にできる関係づくりをすすめていきます。	地域ケアプラザ、福祉保健活動団体、区役所、区社協	一般	みどりのわ・ささえ愛プラン「エリアミーティング」の開催(新規)
		2 自治会や地区社協などの地域活動への参加促進に取り組みます。	地域ケアプラザ	一般	鴨居地域ケアプラザ「なつまつり」(新規)
2	1 身近な地域でボランティアの仲介ができるようにします。	1 身近な地域に、ボランティア関係の相談ができる人を育て、ボランティアをしたい人、受けたい人の相談と調整ができる仕組みをつくります。	—	—	—
		2 区社協(ボランティア相談コーナー)で培ったコーディネートの知識や経験を用いて、新たなコーディネーターの育成を行います。	—	—	—
2	ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくりをすすめます。	1 ボランティアの人材募集、育成のために、区社協や各種福祉施設などで参加意欲を高めるようなプログラムを取り入れた講座や研修を行い、効果的なPRを実施します。	地域ケアプラザ	一般	ボランティア講座実施(新規)
		2 福祉保健活動に関する情報を手軽に得られるよう、インターネットを利用した情報提供を行います。	福祉保健活動団体、地域ケアプラザ、区役所	一般	HP「みどり ひと・まちナビ」へ情報登録実施(継続)
3	障がい児・者を支援するためのボランティアを育てていきます。	1 障がいに関する知識を学び、技術を身につける研修を増やします。	地域ケアプラザ、障がい児・者団体、特別支援学校、区役所、区社協	障がい	障がい児者、子育て支援団体交流会実施(継続)
		2 研修を受けた人たちが実際にボランティア活動ができるような環境を整えます。	地域ケアプラザ、障がい児・者団体、特別支援学校、特別支援学校・養護学校、地域ケアプラザ、地域活動ホーム、区社協、区役所	障がい	みんなで歩こう会実行委員会発足(継続)
		3 障がい児・者の地域生活支援(余暇支援など)のボランティアが主体的にグループの運営に参加できるよう支援していきます。	福祉保健活動団体	障がい	竹の子会(余暇支援、体操教室等)の活動(継続)
4	思いやりのある人を育てる地域をつくる	1 学校における福祉教育を地域の人や福祉施設などの協力を得て充実させていきます。	—	—	—
		2 学校、家庭、地域が連携して地域福祉保健活動を活性化していきます。	地区社協	一般	「竹山福祉まつり」を竹山小学校で実施(継続)
		3 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	—	—	—
3	1 身近な「場」を有効活用できるようにします。	1 学校、地区センター、地域ケアプラザ、地域作業所などの施設に関して、地域のニーズにあった弾力的な運用を促進します。	地区社協	一般	鴨居地域ケアプラザの福祉ボランティアホール<Gホール>利用に向け検討(継続)
		2 多様な民間施設の有効活用をすすめます。(店舗の空き時間の活用、空きスペースの活用、企業の会議室などの活用)	—	—	—
		3 身近な地域で活動できる場についてのガイドマップを作成します。	—	—	—
2	同じような目的をもった人が集える機会や場を増やします。	1 利用する対象者の目的に合った施設情報の提供を促進します。	—	—	—
		2 集える機会を増やして活動の活性化につなげます。	地域ケアプラザ	子ども	キッズオアシスひがぼん(育児支援)の実施(継続)
		地区社協	高齢	竹山寿会(高齢者昼食会)の活動(継続)	
		地区社協	高齢	配食サービス(配食、生活支援等)の活動(継続)	
		福祉保健活動団体	高齢	いちようの会(高齢者ミニデイ等)の活動(継続)	
		地域ケアプラザ	高齢	介護者のつどい(介護に関する情報交換等)の活動(継続)	
		地域ケアプラザ	高齢	介護者のつどい(継続)	
		区役所、地域ケアプラザ	子ども	プレババ・プレママ講座(新規)	
		福祉保健活動団体	障がい	山びこ会(中途障がい者等のリハビリ等)の活動(継続)	
		福祉保健活動団体	障がい	ふれあい教室(中途障がい者等の手作業等、ふれあいの場)の活動(継続)	
		NPO	障がい	花ようサロン(介護予防のための高齢者の場)の活動(継続)	
		福祉保健活動団体	障がい	竹の子会、うさぎグループ(余暇支援、体操教室等)の活動(継続)	
特別支援学校・養護学校、地域ケアプラザ、地域活動ホーム、区社協、区役所	障がい	障がい児余暇支援事業(新規)			

※平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

【竹山地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
3	世代間のつながりがもてるような機会や場づくりをすすめます。	1 地域での行事やグループなどの交流を促進して、つながりのきっかけづくりをしていきます。	地区社協	一般	「竹山福祉まつり」実施（継続）
			民生委員・児童委員	高齢	高齢者と児童とのふれあい（老人給食会での小学生との交流）（継続）
		2 公共施設などのフリースペースで、誰でも自由に参加できる「場」の活用をすすめます。	—	—	—
4	1 困ったときに身近な地域での相談先がわかるようにします。	1 事業者との連携により、相談機関等を示した啓発ポスターを掲示していきます。	—	—	—
		2 福祉保健の総合相談窓口としての地域ケアプラザを地域にPRしていきます。	地域ケアプラザ	一般	交流会等でのPR実施（継続）
			地域ケアプラザ	一般	新聞「たんぽぽ」「かもネット」発行（新規）
		3 身近な地域の福祉保健関係者の活動をPRしていきます。	—	—	—
		4 福祉保健相談の受け手をPRしていきます。	—	—	—
	2 福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます。	1 個々の団体の活動内容を地域に効果的に広報していきます。	—	—	—
		2 福祉保健活動団体掲載冊子を作成し、身近な地域で利用できるようにします。	—	—	—
		3 社協の活動をわかりやすく周知し、地域とのかかわりを深めていきます。	地区社協	一般	地区社協ニュース等の発行（継続）
		4 住民に身近な場所で福祉保健に関する制度やサービスなどの情報提供をしていきます。	地域ケアプラザ	一般	「ほっと便り」「かもネット」発行・HP掲載（新規）
		5 地域活動団体同士の交流を活性化し、情報の共有を促進します。	地域ケアプラザ、福祉保健活動団体、特別支援学校、区役所、区社協	一般	高齢者ボランティア交流会、障がい児・者、子育て支援団体交流会実施（継続）
		6 地域単位で障がいについての講習会や交流の機会を設け、情報を地域に提供し、地域の理解を深めます。	—	—	—
	3 誰もが情報を入手しやすい環境整備をすすめます。	1 若年層、中年層、高齢層などそれぞれの年齢層に適した工夫を凝らした、多様な方法で情報発信を行っていきます。	—	—	—
2 高齢者や障がい者については、相手の理解しやすい方法で情報を提供できるよう心がけます。		—	—	—	
4 支援が必要な人の情報を地域単位で把握しやすくしていきます。	1 緊急時を含め、支援が必要な人について、個人情報保護に配慮して、地域で情報を把握できるようにしていきます。	—	—	—	
	2 地域活動や行事の際に、支援の必要な人の参加を促し情報を把握していきます。	—	—	—	
	3 個人情報の取り扱いに関する啓発をすすめています。	—	—	—	
5	1 災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるよう取り組みます。	1 災害・緊急時に備え、日ごろから支えあいの人間関係づくりをすすめます。	—	—	—
		2 災害弱者の救援対策を地域全体で考えていきます。	—	—	—
		3 災害時・緊急時、犯罪等の情報を多様な方法で迅速に伝達していきます。	—	—	—
		4 さまざまな工夫をした防犯パトロール活動に取り組みます。	自治会、PTA	一般	防犯パトロール活動（継続）
2 誰もが安心して安全に出かけられるまちづくりをすすめます。	1 点字ブロックの上に物を置かないなど、誰もが外出しやすきよう、住民同士が配慮をしていきます。	—	—	—	
	2 地域でのボランティアによる送迎活動やミニバス運行など高齢者や障がい児・者などの移動を地域で支えています。	—	—	—	
3 誰もが心豊かで、より健やかに生活できるようにしていきます。	1 子どもの頃からの健康づくりをすすめます。	—	—	—	
	2 地域で自主的な健康づくり活動を、各種保健団体と協力して広がっていきます。	保健活動推進員	一般	健康体操や講座実施、各種事業への支援（継続）	
		食生活等改善推進員（ヘルスマイト）	一般	健康づくり推進に係る事業、講座等の実施、支援（継続）	
	3 地域で介護予防活動の取り組みを充実していきます。	地域ケアプラザ	高齢	ほろちゃん会（転倒予防教室OBI）体操教室「スキップ」（介護予防体操）の実施	

※平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

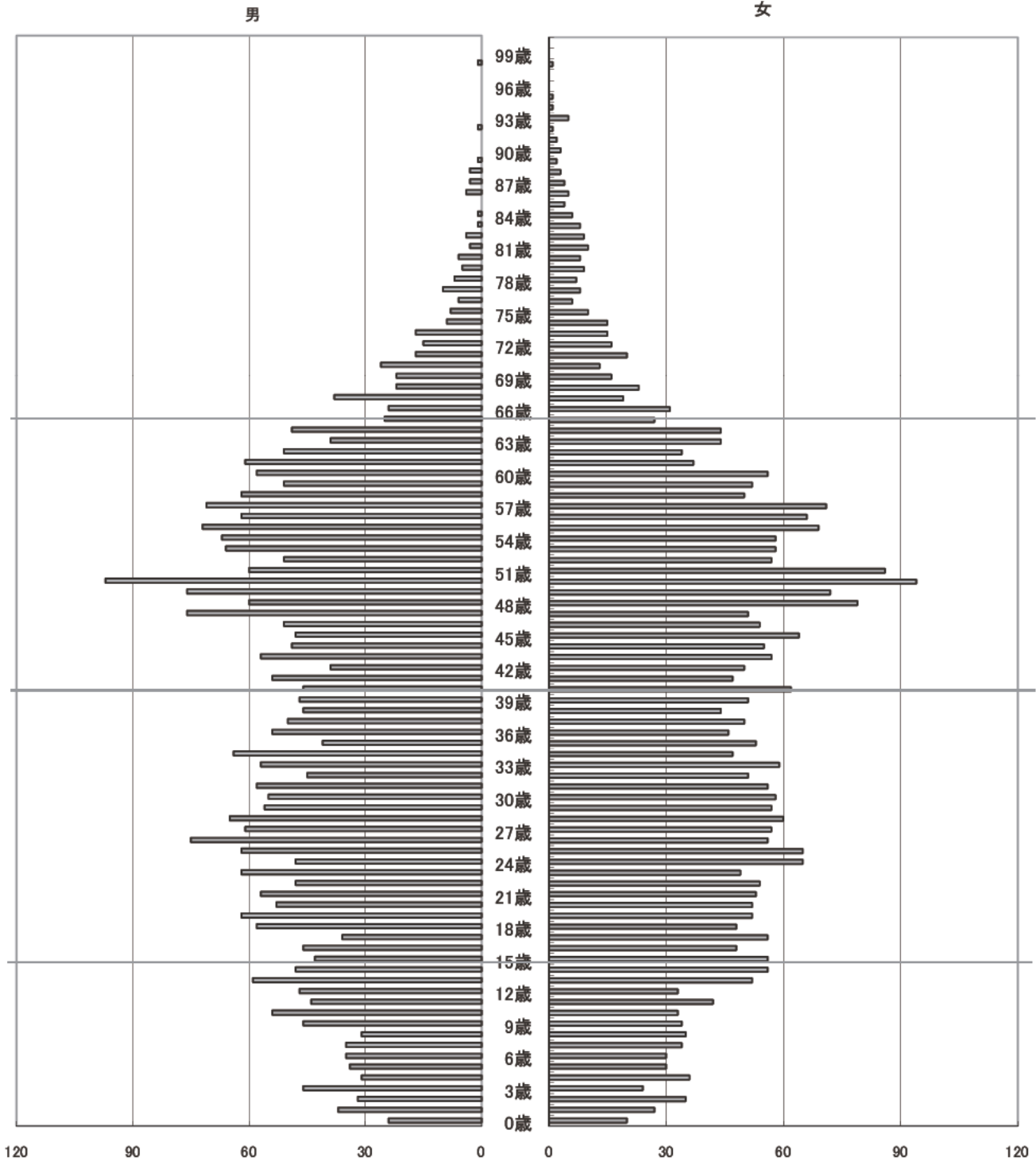
白山地区

<地域> 白山1~4丁目

平成10年(1998年)9月末現在の人口(単位:人)

<白山地区の人口動態>

	平成10年9月末(A)	平成20年9月末(B)	増減(B-A)
人口	7,343 人	10,253 人	2,910人
年齢区分別人口			
0~5歳	376 人	591 人	215人
6~14歳	748 人	1,027 人	279人
15~64歳	5,632 人	7,133 人	1,501人
65歳~	587 人	1,502 人	915人
高齢化率	7.99%	14.65%	6.66%
世帯数	2,567	4,000	1,433
上記のうち、65歳以上で1人暮らし世帯数	65	208	143

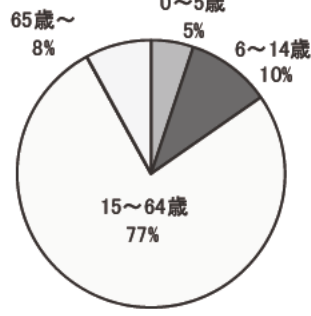


白山地区は、10年前と比較すると人口が約1.4倍となっています。そのほかに以下の特徴があります。

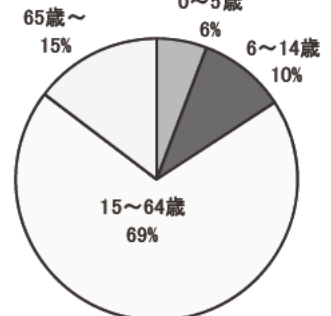
- 15歳から64歳の割合 8%減少
- 65歳以上の割合 7%増加
- 高齢化率 6.6%増加

<年齢区分別人口の割合>

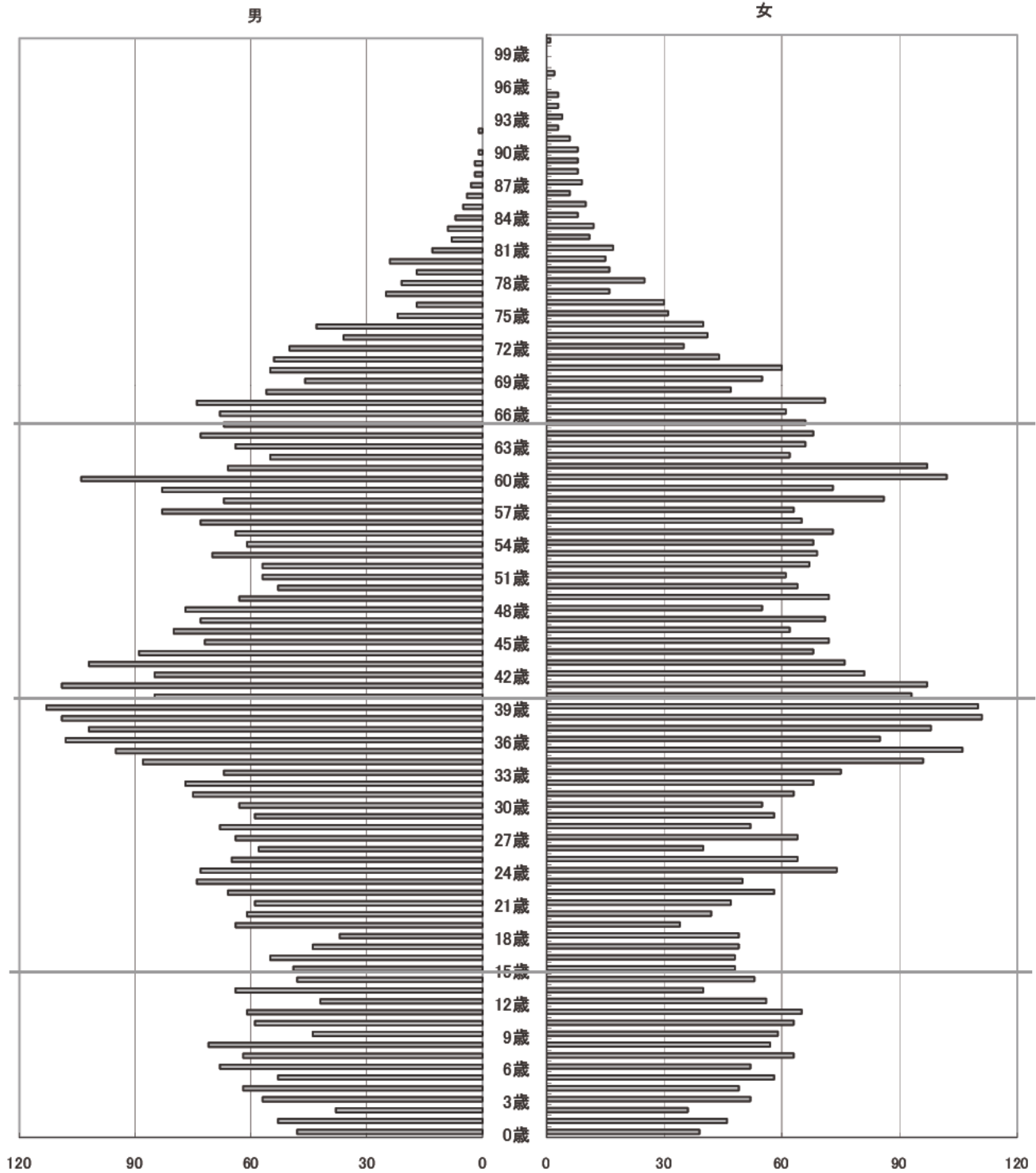
平成10年9月現在



平成20年9月現在



平成20年(2008年)9月末現在の人口(単位:人)



【白山地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容	
1	1 住民同士が顔見知りとなり、地域で支えあえる関係づくりをすすめます。	1 住民同士がつながりを持つきっかけとして、あいさつや声かけが自然にできる関係づくりをすすめていきます。	子供会	一般	あいさつ運動のポスターづくり実施（継続）	
			地区社協	一般	地区計画策定「ステップ事業」	
			地域ケアプラザ 福祉保健活動団体 区役所、区社協	一般	みどりのわ・ささえ愛プラン「エリアミーティング」の開催（新規）	
			地域ケアプラザ	一般	鶴居地域ケアプラザ「なつまつり」（新規）	
		2 自治会や地区社協などの地域活動への参加促進に取り組みます。	—	—	—	
2	1 身近な地域でボランティアの仲介ができるようにします。	1 身近な地域に、ボランティア関係の相談ができる人を育て、ボランティアをしたい人、受けたい人の相談と調整ができる仕組みをつくります。	地区社協、連合自治会	一般	「ボランティアのお願い」全戸配布（継続）	
			地区社協	一般	「ボランティア相談室」設置に向けた継続検討	
			地区社協	一般	地域の支えあい活動に向けたアンケート調査の実施（新規）	
			2 区社協（ボランティア相談コーナー）で培ったコーディネートの知識や経験を用いて、新たなコーディネーターの育成を行います。	—	—	—
	2 ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくりをすすめます。	1 ボランティアの人材募集、育成のために、区社協や各種福祉施設などで参加意欲を高めるようなプログラムを取り入れた講座や研修を行い、効果的なPRを実施します。	地区社協	一般	「白山福祉まつり（仮称）」（新規）でボランティア活動のPR実施を検討（新規）	
			地域ケアプラザ	一般	ボランティア講座実施（新規）	
			2 福祉保健活動に関する情報を手軽に得られるよう、インターネットを利用した情報提供を行います。	福祉保健活動団体、地域ケアプラザ、区役所	一般	HP「みどり ひと・まちナビ」へ情報登録実施（継続）
	3 障がい児・者を支援するためのボランティアを育てていきます。	1 障がいに関する知識を学び、技術を身につける研修を増やします。	地域ケアプラザ	一般	ボランティア講座実施（新規）	
			地域ケアプラザ、障がい児・者団体、特別支援学校、区役所、区社協	障がい	みんなで歩こう会実行委員会発足（継続）	
			特別支援学校・養護学校、地域ケアプラザ、地域活動ホーム、区社協、区役所	障がい	障がい児余暇支援事業（新規）	
		2 研修を受けた人たちが実際にボランティア活動ができるような環境を整えます。	地域ケアプラザ	障がい	かもかもクラブ（障がい者余暇学級）お料理教室（継続）	
		3 障がい児・者の地域生活支援（余暇支援など）のボランティアが主体的にグループの運営に参加できるよう支援していきます。	地域ケアプラザ	障がい	かもかもクラブ（障がい者余暇学級）お料理教室（継続）	
4 思いやりのある人を育てる地域をつくります。	1 学校における福祉教育を地域の人や福祉施設などの協力を得て充実させていきます。	—	—	—	—	
		地区社協	一般	「白山福祉まつり」実施（継続）		
		—	—	—	—	
		2 学校、家庭、地域が連携して地域福祉保健活動を活性化していきます。	—	—	—	
		3 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	—	—	—	
3	1 身近な「場」を有効活用できるようにします。	1 学校、地区センター、地域ケアプラザ、地域作業所などの施設に関して、地域のニーズにあった弾力的な運用を促進します。	地区社協	一般	鶴居地域ケアプラザの福祉ボランティアホール<GPホール>利用に向け継続検討	
			—	—	—	
			—	—	—	
		2 多様な民間施設の有効活用をすすめます。（店舗の空き時間の活用、空きスペースの活用、企業の会議室などの活用）	—	—	—	
		3 身近な地域で活動できる場についてのガイドマップを作成します。	—	—	—	

※平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

【白山地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
3	2 同じような目的をもった人が集える機会や場を増やします。	1 利用する対象者の目的に合った施設情報の提供を促進します。	—	—	—
		2 集える機会を増やして活動の活性化につなげます。	当事者	子ども	グリーン' S (育児サークル) (継続)
			当事者	子ども	はらぺこあおむし (育児サークル) (継続)
			当事者	子ども	モンブラン (育児サークル) (継続)
			当事者	子ども	わんぱくKIDS (育児サークル) (継続)
			地域ケアプラザ	子ども	キッズオアシスひがぼん (育児支援) の実施 (継続)
			区役所、地域ケアプラザ	子ども	プレパパ・プレママ講座 (新規)
			福祉保健活動団体	高齢	わかば会 (高齢者配食等) の活動 (継続)
			福祉保健活動団体	高齢	いちえ会 (高齢者昼食会等) の活動 (継続)
			福祉保健活動団体	高齢	健康教室 (白山住宅自治会館)
	地域ケアプラザ		高齢	介護者のつどい (介護に関する情報交換等) の活動 (継続)	
	福祉保健活動団体	障がい	友遊会 (障がい・難病等の当事者グループ) (継続)		
	特別支援学校・養護学校、地域ケアプラザ、地域活動ホーム、区社協、区役所	障がい	障がい児余暇支援事業 (新規)		
	3 世代間のつながりがもてるような機会や場づくりをすすめます。	1 地域での行事やグループなどの交流を促進して、つながりのきっかけづくりをしていきます。	地区社協	一般	福祉まつりの実施
			地区社協	高齢	お茶のみサロン (白山緑自治会館)
地域活動団体			一般	白山親猿会 (継続)	
	2 公共施設などのフリースペースで、誰でも自由に参加できる「場」の活用をすすめます。	—	—	—	
4	1 困ったときに身近な地域での相談先がわかるようにします。	1 事業者との連携により、相談機関等を示した啓発ポスターを掲示していきます。	地域ケアプラザ	一般	交流会等でのPR実施 (継続)
		2 福祉保健の総合相談窓口としての地域ケアプラザを地域にPRしていきます。	地域ケアプラザ	一般	新聞「かもネット」発行
		3 身近な地域の福祉保健関係者の活動をPRしていきます。	地区社協	一般	「ボランティアのお願い」全戸配布 (継続)
		4 福祉保健相談の受け手をPRしていきます。	—	—	—
	2 福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます。	1 個々の団体の活動内容を地域に効果的に広報していきます。	—	—	—
		2 福祉保健活動団体掲載冊子を作成し、身近な地域で利用できるようにします。	—	—	—
		3 社協の活動をわかりやすく周知し、地域とのかかわりを深めていきます。	地区社協	一般	地区社協たより全戸配布 (新規)

※平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

【白山地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
4	2 福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます。	4 住民に身近な場所で福祉保健に関する制度やサービスなどの情報提供をしていきます。	地域ケアプラザ	一般	「かもネット」発行
		5 地域活動団体同士の交流を活性化し、情報の共有を促進します。	地域ケアプラザ 福祉保健活動団体 区役所、区社協	一般	高齢者ボランティア交流会、障がい児・者、子育て支援団体交流会実施（継続）
		6 地域単位で障がいについての講習会や交流の機会を設け、情報を地域に提供し、地域の理解を深めます。	地区社協	一般	「白山福祉まつり（仮称）」での交流の場実施検討（新規）
	3 誰もが情報を入手しやすい環境整備をすすめます。	1 若年層、中年層、高齢層などそれぞれの年齢層に適した工夫を凝らした、多様な方法で情報発信を行っていきます。	—	一般	地区社協たよりに全戸配布（新規）
		2 高齢者や障がい者については、相手の理解しやすい方法で情報を提供するよう心がけます。	—	—	—
	4 支援が必要な人の情報を地域単位で把握しやすくしていきます。	1 緊急時を含め、支援が必要な人について、個人情報保護に配慮して、地域で情報を把握できるようにしていきます。	—	—	—
		2 地域活動や行事の際に、支援の必要な人の参加を促し情報を把握していきます。	—	—	—
		3 個人情報の取り扱いに関する啓発をすすめています。	—	—	—
	5	1 災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるよう取り組みます。	1 災害・緊急時に備え、日ごろから支えあいの人間関係づくりをすすめます。	自治会、地区社協	一般
2 災害弱者の救援対策を地域全体で考えていきます。			—	—	—
3 災害時・緊急時、犯罪等の情報を多様な方法で迅速に伝達していきます。			—	—	—
4 さまざまな工夫をした防犯パトロール活動に取り組みます。			自治会、PTA	一般	防犯パトロール活動（継続）
2 誰もが安心して安全に出かけられるまちづくりをすすめます。		1 点字ブロックの上に物を置かないなど、誰もが外出しやすいよう、住民同士が配慮をしていきます。	—	—	—
		2 地域でのボランティアによる送迎活動やミニバス運行など高齢者や障がい児・者などの移動を地域で支えていきます。	—	—	—
3 誰もが心豊かで、より健やかに生活できるようにしていきます。		1 子どもの頃からの健康づくりをすすめます。	—	—	—
		2 地域で自主的な健康づくり活動を、各種保健団体と協力して広げていきます。	保健活動推進員	一般	健康体操や講座実施、各種事業への支援（継続）
	食生活等改善推進員（ヘルスマイト）		一般	健康づくり推進に係る事業、講座等の実施、支援（継続）	
3 地域で介護予防活動の取り組みを充実していきます。	地域ケアプラザ	高齢	けあちゃん会（転倒予防教室OB）体操教室「スキップ」（介護予防体操）の実施		

※平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

白山地区社協の取組み

福祉まつりでアンケートを実施しました！



福祉まつりで、携帯カイトに「白山地区社協」のラベルを貼り、アンケートに答えてくださった方に進呈しました。

当日は寒かったのも幸い？して多くの方が協力してくださいました。

安心して暮らせるまちづくりをめざして

白山地区社会福祉協議会 のアンケートにご協力お願いします。

※該当する番号に「○」を付けてください。

- 1 あなたの「年代」と「性別」を教えてください。
性別：①男性 ②女性
年代：①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代 ⑧80代 ⑨90代
- 2 「どちらに」お住まいですか？
①白山1丁目 ②白山2丁目 ③白山3丁目 ④白山4丁目 ⑤白山以外の緑区 ⑥緑区外
- 3 「白山福祉まつり」をどうやって知りましたか？
① 広報・チラシ ② 掲示板 ③ 学校から ④ 知人から ⑤ その他 ()
- 4 日頃から「近所づきあいをしている人」はいらっしゃいますか？
① かなりいる ② 少しいる ③ ほとんどいない ④ 全くいない
- 5 あなたは、ご近所の人と「どの程度のおつきあい」がありますか？
最も近い関係を **1つ** 選んでください。
① 困りごとを相談しあうなど家族同様のつきあい。
② 普段から簡単な頼みごとができるつきあい。
③ 普段それほどつきあいはないが、いざというときには助け合える関係。
④ 顔を合わせたとき挨拶をする程度のつきあい。
⑤ ほとんどつきあっていない
⑥ その他 (具体的に)
- 6 あなたは、日常生活の困りごとを「誰に」相談しますか？ **該当するもの全て** を選んでください。
① 家族 ② 親戚 ③ 友人・知人 ④ 近所の人 ⑤ 職場の上司、同僚
⑥ 自治会等の役員 ⑦ 民生委員・児童委員 ⑧ 地区社会福祉協議会
⑨ 区役所 ⑩ 地域ケアプラザ ⑪ かかりつけ医 ⑫ 保育士や教師
⑬ その他 (具体的に)
⑭ 相談しない ⑮ 相談できる相手がいない
- 7 安心して暮らせるまちづくりを実現していくうえで、「必要なこと」は何だと思いますか？
該当するもの全て を選んでください。
① 挨拶や近所づきあい ② 身近な地域で集まれる場づくり ③ 地域で楽しめる活動
④ ボランティア活動への参加 ⑤ 高齢者や子ども、障がい児・者の見守り
⑥ 介護している人への支援 ⑦ 地域のことがわかる情報 ⑧ 防犯活動
⑨ 災害時のたすけあい・防災活動 ⑩ ゴミがないきれいなまちづくり
⑪ その他 (具体的に)

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

白山地区社会福祉協議会

アンケートは「本部デント」(クラウド)までお持ちください。
粗品をプレゼントいたします！

《アンケートの結果 トップ3》

* ご近所とのおつきあいの程度

「簡単な頼みごとができる」「挨拶程度」「いざというときには助け合える」

* 困りごとの相談

「家族」「友人・知人」「親戚」 近所の方は4位

* 安心して暮らせるまちづくりの実現のために必要なこと

「挨拶や近所づきあい」「地域で楽しめる活動」「身近な地域で集まれる場づくり」

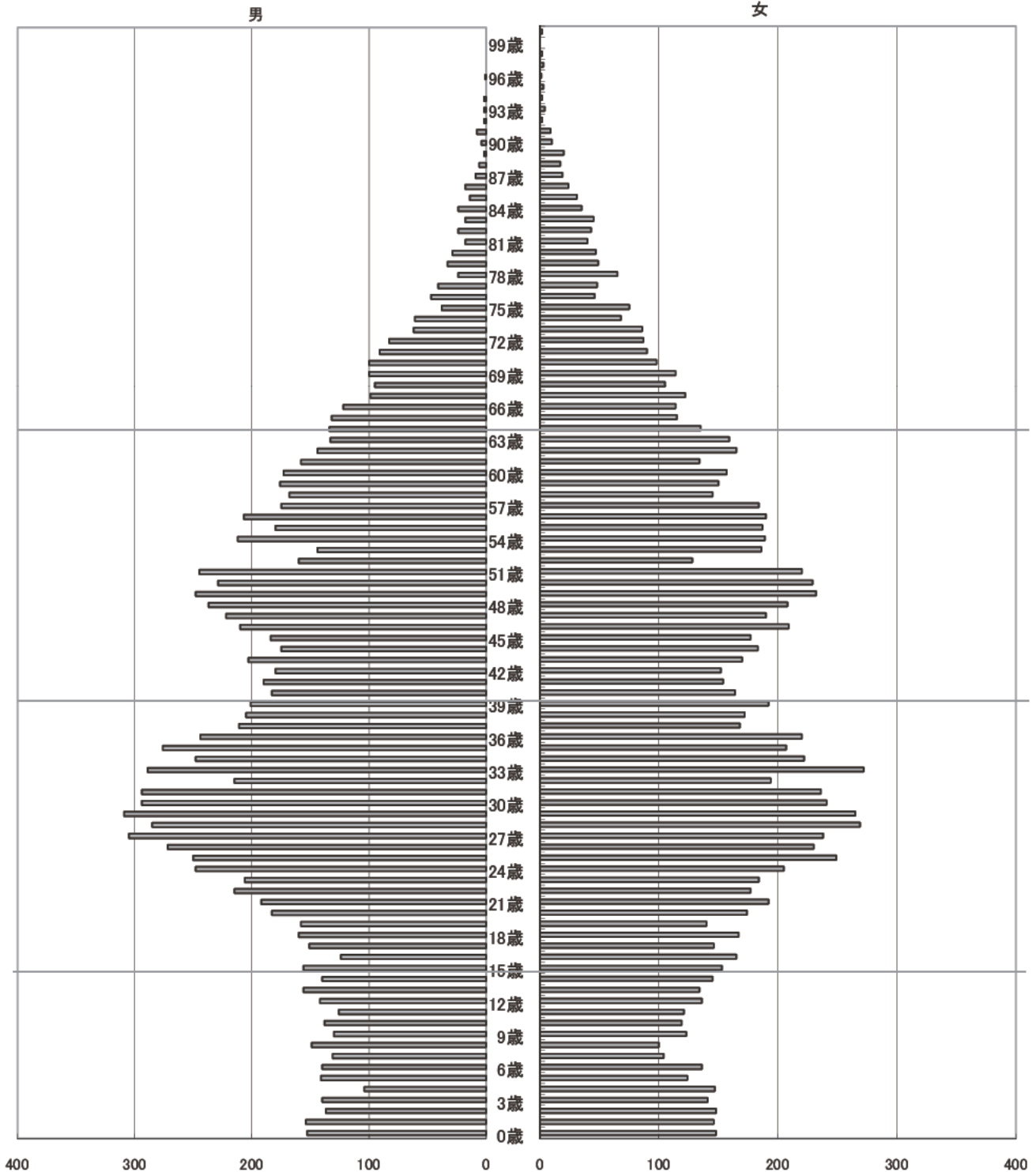
新治中部地区

<地域> 中山町、上山1～3丁目、寺山町
森の台、台村町

平成10年(1998年)9月末現在の人口(単位:人)

<新治中部地区の人口動態>

	平成10年9月末(A)	平成20年9月末(B)	増減(B-A)
人口	26,839人	31,904人	5,065人
年齢区分別人口			
0～5歳	1,683人	2,087人	404人
6～14歳	2,370人	2,849人	479人
15～64歳	19,836人	21,961人	2,125人
65歳～	2,950人	5,007人	2,057人
高齢化率	10.99%	15.69%	4.70%
世帯数	10,670	13,727	3,057
上記のうち、65歳以上で1人暮らし世帯数	536	1,076	540



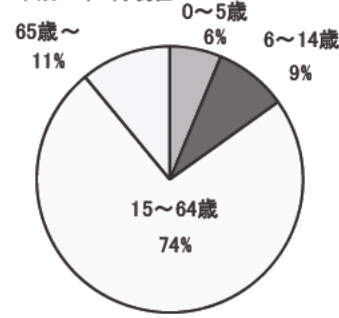
新治中部地区は、10年前と比較すると人口が約18.9%増加しています。そのほかに以下の特徴があります。

- 15歳から64歳の割合 5%減少
- 65歳以上の割合 5%増加
- 高齢化率 4.7%増加

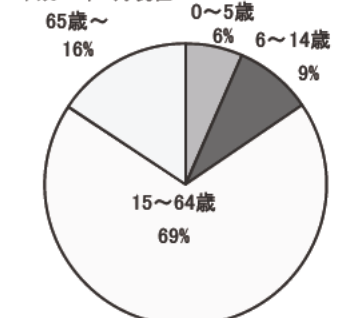
平成20年(2008年)9月末現在の人口(単位:人)

<年齢区分別人口の割合>

平成10年9月現在

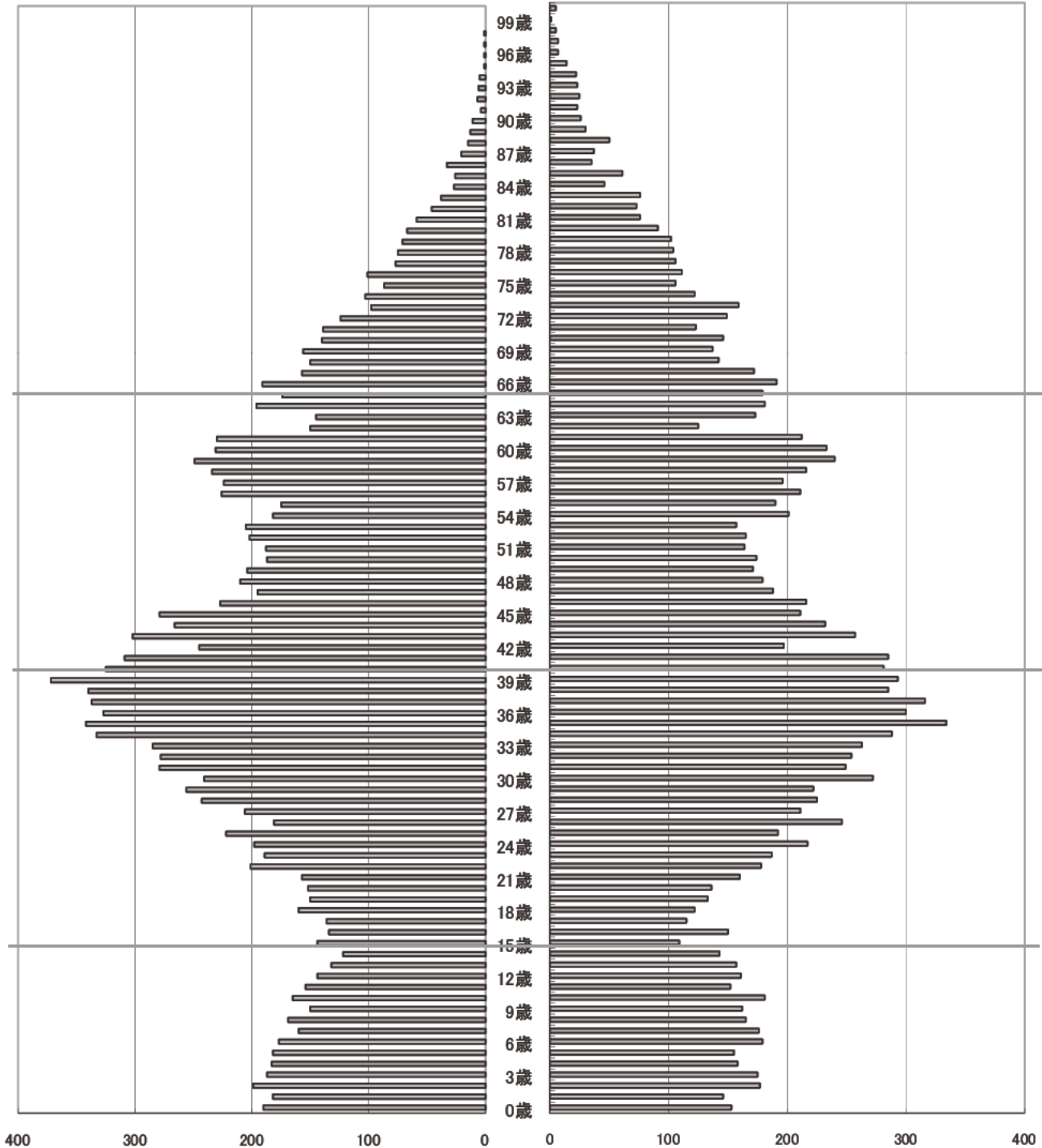


平成20年9月現在



男

女



【新治中部地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
1	1 住民同士が顔見知りとなり、地域で支えあえる関係づくりをすすめます。	1 住民同士がつながりを持つきっかけとして、あいさつや声かけが自然にできる関係づくりをすすめていきます。	地区社協、連合自治会、上山・中山・森の台の各小学校、中山中学校と学地地連	一般	生徒と住民と一緒に地域活動を作り上げる「花いっぱい活動」「中山町まつり」等（継続）
		2 自治会や地区社協などの地域活動への参加促進に取り組みます。	—	—	—
2	1 身近な地域でボランティアの仲介ができるようにします。	1 身近な地域に、ボランティア関係の相談ができる人を育て、ボランティアをしたい人、受けたい人の相談と調整ができる仕組みをつくります。	地区社協、連合自治会、	一般	「役員研修」「全員研修」での施設見学や講師を招いてのグループワーク等を実施（継続）
		2 区社協（ボランティア相談コーナー）で培ったコーディネートの知識や経験を用いて、新たなコーディネーターの育成を行います。	—	—	—
	2 ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくりをすすめます。	1 ボランティアの人材募集、育成のために、区社協や各種福祉施設などで参加意欲を高めるようなプログラムを取り入れた講座や研修を行い、効果的なPRを実施します。	地域ケアプラザ 福祉保健活動団体 地域ケアプラザ	一般	ボランティア交流会（継続） 高齢者疑似体験（ハーモニーふれあいまつり）（新規） 認知症キャラバンメイトの共催（新規）
		2 福祉保健活動に関する情報を手軽に得られるよう、インターネットを利用した情報提供を行います。	区社協 市民活動支援センター 地域ケアプラザ	一般	ボランティア保険講座（新規） 中山地域地域ケアプラザホームページの立ち上げ（新規）
3 障がい児・者を支援するためのボランティアを育てていきます。	1 障がいに関する知識を学び、技術を身につける研修を増やします。	地区社協、福祉保健活動団体	障がい	ミドリリンピックへ、リハ教室「ぬくもり」参加（継続）	
	2 研修を受けた人たちが実際にボランティア活動ができるような環境を整えます。	—	—	—	
	3 障がい児・者の地域生活支援（余暇支援など）のボランティアが主体的にグループの運営に参加できるよう支援していきます。	地域ケアプラザ 障がい者当事者	障がい	余暇支援「ハーモナイズ中山」（継続） 「森の台鼓」（継続：自主化）	
4 思いやりのある人を育てる地域をつくります。	1 学校における福祉教育を地域の人や福祉施設などの協力を得て充実させていきます。	地域ケアプラザ 福祉保健活動団体	高齢 こども	「なかよし会」中山小学校との次世代交流（継続） ハートバリアフリー実行委員会による福祉教育（継続）	
	2 学校、家庭、地域が連携して地域福祉保健活動を活性化していきます。	地区社協、連合自治会、上山・中山・森の台の各小学校、中山中学校と学地地連	こども	中山中学校「地域ふれあいフェスティバル」調理実習交流等実施 中山小学校「ふれあいフェスティバル」（継続）	
	3 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	—	—	—	
3 1 身近な「場」を有効活用できるようにします。	1 学校、地区センター、地域ケアプラザ、地域作業所などの施設に関して、地域のニーズにあった弾力的な運用を促進します。	地区社協、地域ケアプラザ	一般	介護者の集い「すずらん会」地区リハ「ぬくもり」等、事業を協働実施（継続）	
	2 多様な民間施設の有効活用をすすめます。（店舗の空き時間の活用、空きスペースの活用、企業の会議室などの活用）	地域ケアプラザ	高齢	高齢者住宅・マンションにおける健康教室（新規）	
	3 身近な地域で活動できる場についてのガイドマップを作成します。	—	—	—	

※平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

【新治中部地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
3	2 同じような目的をもった人が集える機会や場を増やします。	1 利用する対象者の目的に合った施設情報の提供を促進します。	地域ケアプラザ	一般	施設スペース（貸し部屋）利用説明会（継続）
		2 集える機会を増やして活動の活性化につなげます。	地域ケアプラザ、区役所、区社協	一般	当事者団体、育児サークル等の仲間作り、セルフヘルプグループ等への会場提供（継続）
			地区社協、連合自治会、上山・中山・森の台の各小学校、中山中学校と学地連	一般	生徒と住民と一緒に地域活動を作り上げる「運動会」「各町会まつり」等実施（継続）
			区役所、地域ケアプラザ	こども	プレパパ・プレママ講座（新規）
3	3 世代間のつながりがもてるような機会や場づくりをすすめます。	1 地域での行事やグループなどの交流を促進して、つながりのきっかけづくりをしていきます。	地区社協	一般	餅つき体験（継続）
		2 公共施設などのフリースペースで、誰でも自由に参加できる「場」の活用をすすめます。	—	—	—
4	1 困ったときに身近な地域での相談先がわかるようにします。	1 事業者との連携により、相談機関等を示した啓発ポスターを掲示していきます。	地域ケアプラザ	高齢	特定高齢者把握事業PRポスター（新規）
		2 福祉保健の総合相談窓口としての地域ケアプラザを地域にPRしていきます。	地域ケアプラザ	一般	広報誌の発行（継続）
		3 身近な地域の福祉保健関係者の活動をPRしていきます。	区社協	一般	各種事業、分科会、地域でのイベント等でPRコーナー設置等実施（継続）
		4 福祉保健相談の受け手をPRしていきます。	—	—	—
	2 福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます。	1 個々の団体の活動内容を地域に効果的に広報していきます。	地域ケアプラザ	一般	すすらん会活動内容チラシ配布（新規）
		2 福祉保健活動団体掲載冊子を作成し、身近な地域で利用できるようにします。	—	—	—
		3 社協の活動をわかりやすく周知し、地域とのかかわりを深めます。	地区社協	一般	地区社協だよりの発行（継続）
		4 住民に身近な場所で福祉保健に関する制度やサービスなどの情報提供をしていきます。	地域ケアプラザ	一般	民児協、市民活動センター、高齢者住宅、自治会館、地区行事などで介護保険制度等説明（継続）
		5 地域活動団体同士の交流を活性化し、情報の共有を促進します。	—	—	—
		6 地域単位で障がいについての講習会や交流の機会を設け、情報を地域に提供し、地域の理解を深めます。	—	—	—
	3 誰もが情報を入手しやすい環境整備をすすめます。	1 若年層、中年層、高齢層などそれぞれの年齢層に適した工夫を凝らした、多様な方法で情報発信を行っていきます。	地区社協	一般	一人暮らし等高齢者への訪問活動を強化（継続）
		2 高齢者や障がい者については、相手の理解しやすい方法で情報を提供できるよう心がけます。	—	—	—

※平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

【新治中部地区】

基本 目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
4	4 支援が必要な人の情報を地域単位で把握しやすくしていきます。	1 緊急時を含め、支援が必要な人について、個人情報保護に配慮して、地域で情報を把握できるようにしていきます。	自治会、民生児童委員	一般	防災ささえあいカード（継続）
		2 地域活動や行事の際に、支援の必要な人の参加を促し情報を把握していきます。	—	—	—
		3 個人情報の取り扱いに関する啓発をすすめていきます。	—	—	—
5	1 災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるよう取り組みます。	1 災害・緊急時に備え、日ごろから支えあいの人間関係づくりをすすめます。	連合自治会、地区社協、区社協、学校、地域ケアプラザ	一般	地域防災拠点での研修と防災訓練の定期実施（継続）
		2 災害弱者の救援対策を地域全体で考えていきます。	地区社協、自治会	一般	防災体験学習会（新規）
		3 災害時・緊急時、犯罪等の情報を多様な方法で迅速に伝達していきます。	自治会、民生児童委員	一般	「防災ささえあいカード」の取り組み（新規）
		4 さまざまな工夫をした防犯パトロール活動に取り組みます。	各自治会	一般	防犯パトロール活動（継続）
	2 誰もが安心して安全に出かけられるまちづくりをすすめます。	1 点字ブロックの上に物を置かないなど、誰もが外出しやすいよう、住民同士が配慮をしていきます。	—	—	—
		2 地域でのボランティアによる送迎活動やミニバス運行など高齢者や障がい児・者などの移動を地域で支えていきます。	—	—	—
	3 誰もが心豊かで、より健やかに生活できるようにしていきます。	1 子どもの頃からの健康づくりをすすめます。	連合自治会、地区社協、老人会、PTA、学校	子ども	地域ふれあいフェスティバル（継続）
			ヘルスマイト、地域ケアプラザ	子ども	「子育てひろば」での食育活動の推進（継続）
		2 地域で自主的な健康づくり活動を、各種保健団体と協力して広げていきます。	連合自治会、地区社協、老人会、PTA	一般	町ぐるみ健康づくり事業（継続）
			保健活動推進員	一般	区民祭りにて、保健活動の推進（継続）
		3 地域で介護予防活動の取り組みを充実していきます。	地区社協、地域ケアプラザ、地域福祉活動団体	高齢	介護者の集い、介護教室、体操教室（継続）
			保健活動推進員	高齢	老人会における健康チェック（新規）

「中山地域支えあい連絡会」の紹介

※緑区の「地域支えあい連絡会」については、緑区社会福祉協議会のホームページでもご覧になれます。
URL : <http://www.midori-shakyo.jp/renrakukai/index.html>

「年をとっても、障がいがあっても、その人らしく生き生きと暮らせる地域にするために」、地域の福祉保健活動に関わっている人たちがネットワークをつくり、在宅生活を支援していこうと発足されたのが地域支えあい連絡会です。今年度は団塊の世代の方に地域の行事やイベント等を知ってもらい地域活動の参加につながるようハンドブックの作成を主に行いました。支えあい委員及び地域の方のご協力とともに来年度の発行に向けて準備中です。

「中山地域支えあい連絡会」の取り組み

構成メンバー

新治中部地区社会福祉協議会、新治中部地区民生委員、三保地区民生委員、保健活動推進員、友愛活動推進員、中山商店街共同組合、隣友会、中山食事会、ボランティア三保、なかよし会、新治中部リハ教室「ぬくもり」（以上11名の委員で構成）

平成20年度の取り組み

団塊の世代向けの「地域の情報冊子」の発行に向けてメンバーで話しあい！
〈話しあいの内容〉
掲載内容の検討→表題の検討→冊子の大きさの検討→情報収集・整理→編集作業→（発行：H21年度）

ハーモニーみどりにて定例開催！



身近で手軽に参加できそうな地域の情報を収集→「地元知っ得！ハンドブック」とネーミング！！

「地元知っ得！ハンドブック」

表紙

中山町・上山・寺山町
台村町・森の台・三保町

団塊世代の方必見!!

地元知っ得！
ハンドブック



- 知って、参加し、楽しめる！
- 今すぐ参加できる行事が満載！
- 地元があなたを待っている！

- ☆ わが街マップ付き
- ☆ あなたの街別に参加できる内容を掲載

無料（0円）
ご自由にお持ちください

掲載内容

- ・地域の行事、イベント紹介
- ・ボランティア団体の活動紹介
- ・相談機関（中山地区センター、中山地域ケアプラザ、市民活動支援センター、区社協、区福祉保健センター）の紹介
- ・わが街マップ付き

平成21年5月頃に、
中山地域ケアプラザ等で
配布予定です！

掲載例



上山自治会
「盆踊り大会」、「運動会」の様子



寺山町自治会「学援隊」の皆様
（学童の登下校見守りを実施）



台村森の台自治会
「グラウンドゴルフ」の様子
（森の台中の谷公園で練習）



中山町「中山食事会」の活動
（高齢者対象の食事会を開催）

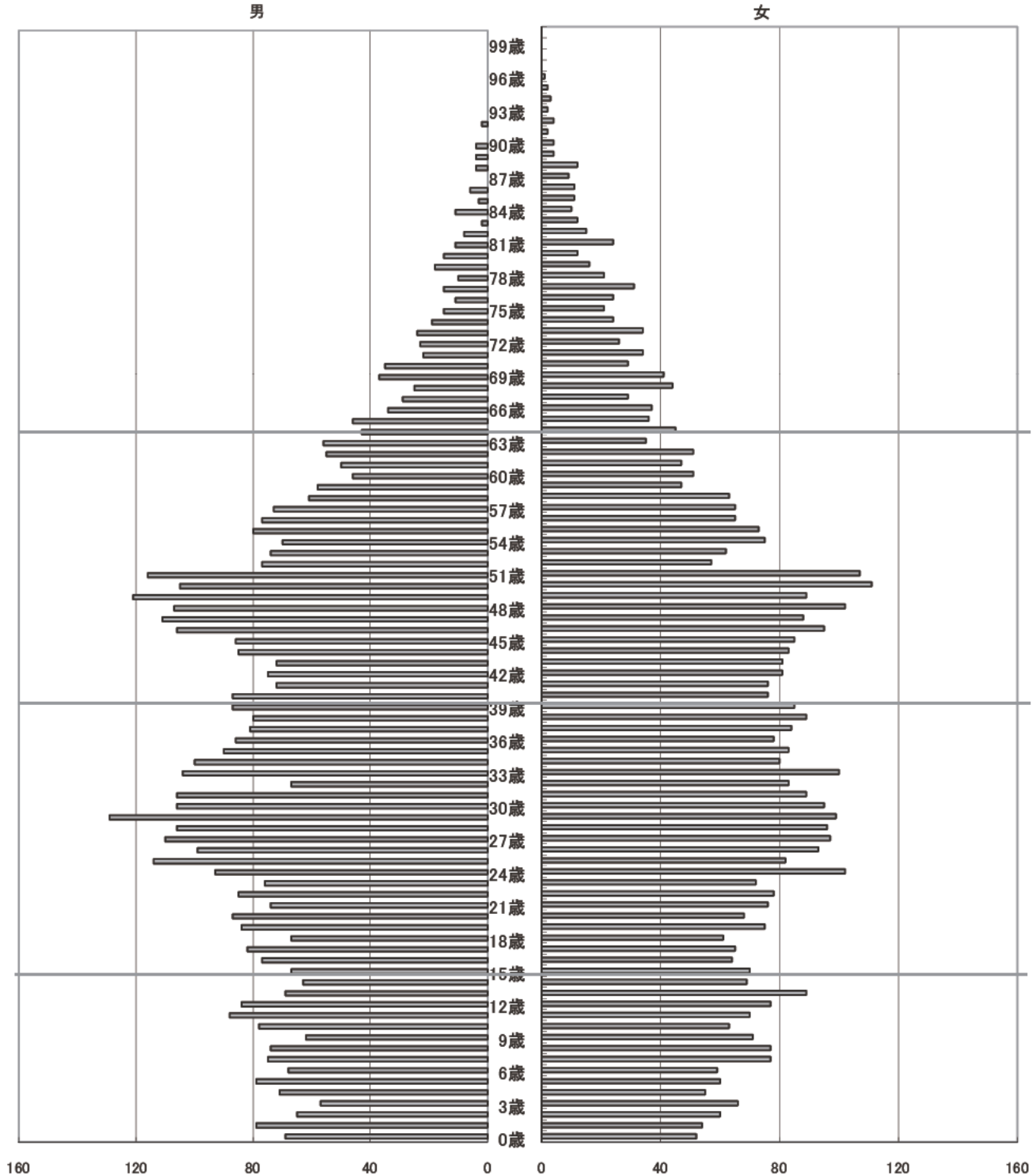
三保地区

<地域> 三保町

平成10年(1998年)9月末現在の人口(単位:人)

<三保地区の人口動態>

	平成10年9月末(A)	平成20年9月末(B)	増減(B-A)
人口	11,192人	13,940人	2,748人
年齢区分別人口			
0～5歳	767人	983人	216人
6～14歳	1,313人	1,461人	148人
15～64歳	8,094人	9,557人	1,463人
65歳～	1,018人	1,939人	921人
高齢化率	9.10%	13.91%	4.81%
世帯数	4,021	5,434	1,413
上記のうち、65歳以上で1人暮らし世帯数	215	485	270



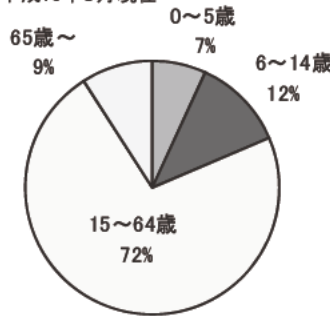
三保地区は、10年前と比較すると人口が約24.5%増加しています。そのほかに以下の特徴があります。

- 15歳から64歳の割合 3%減少
- 65歳以上の割合 5%増加
- 高齢化率 4.8%増加

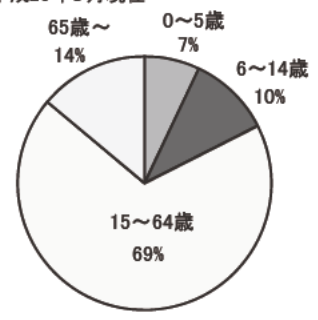
平成20年(2008年)9月末現在の人口(単位:人)

<年齢区分別人口の割合>

平成10年9月現在

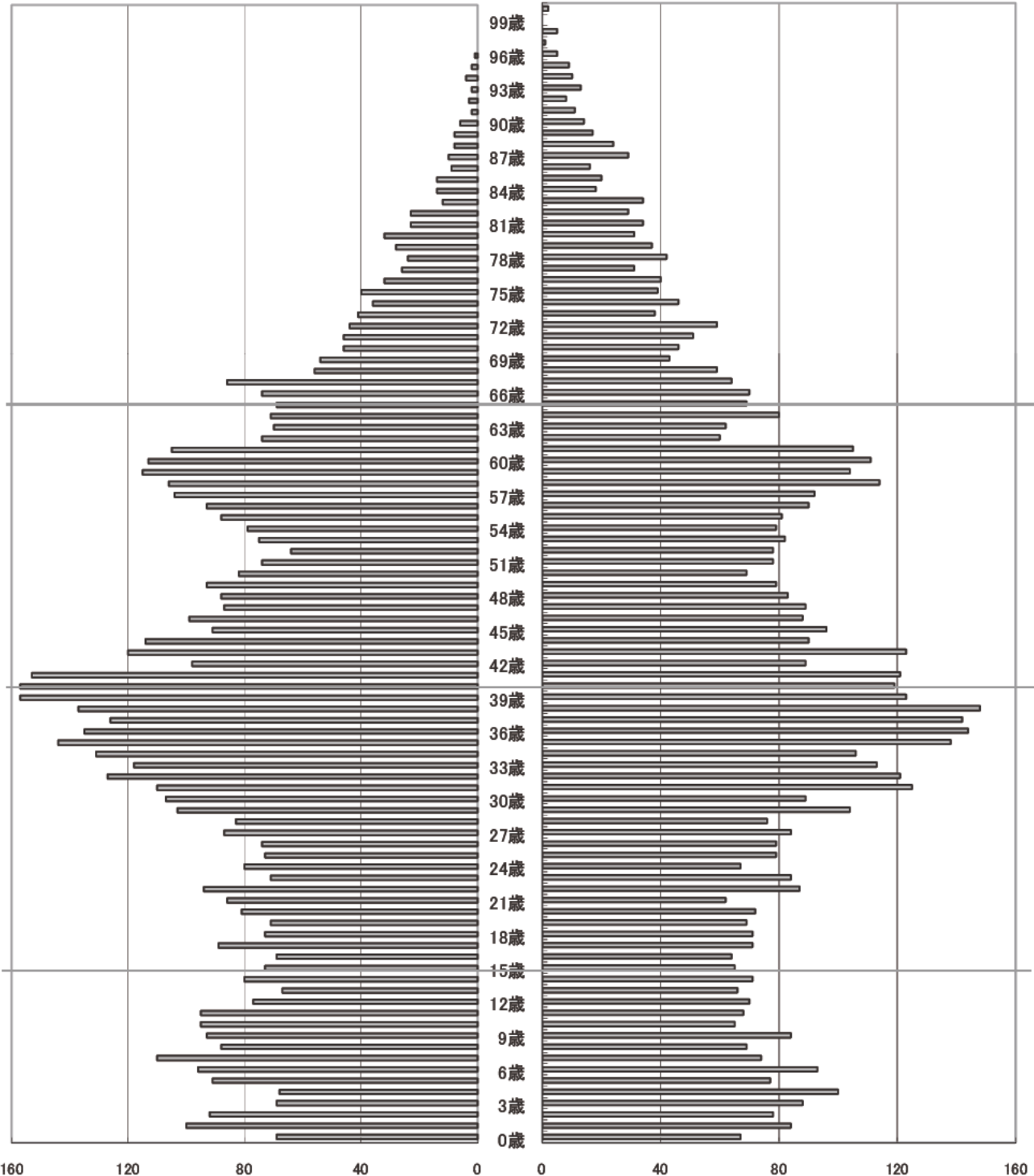


平成20年9月現在



男

女



【三保地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
1	1 住民同士が顔見知りとなり、地域で支えあえる関係づくりをすすめます。	1 住民同士がつながりを持つきっかけとして、あいさつや声かけが自然にできる関係づくりをすすめていきます。	地区社協、青年指導員、子ども会、連合自治会	子ども	伝承遊びなどで住民との世代間交流（継続）
		2 自治会や地区社協などの地域活動への参加促進に取り組みます。	地区社協、連合自治会	一般	地区社協や学校関係事業の周知、参加募集協力等実施（継続）
2	1 身近な地域でボランティアの仲介ができるようにします。	1 身近な地域に、ボランティア関係の相談ができる人を育て、ボランティアをしたい人、受けたい人の相談と調整ができる仕組みをつくります。	地区社協、連合自治会、三保小学校、学家地連とPTA、子ども会、老人会	一般	「ちょこっとサポーター」ボランティア募集など、三保小学校学習カリキュラム協力者を地区社協が窓口として、受付と企画調整を実施（継続）
		2 区社協（ボランティア相談コーナー）で培ったコーディネート知識や経験を用いて、新たなコーディネーターの育成を行います。	—	—	—
	2 ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくりをすすめます。	1 ボランティアの人材募集、育成のために、区社協や各種福祉施設などで参加意欲を高めるようなプログラムを取り入れた講座や研修を行い、効果的なPRを実施します。	地区社協、連合自治会、十日市場中学校、学家地連とPTA	子ども	中山地域ケアプラザでの夏休み・中学生ボランティア体験学習の実施（継続）
		2 福祉保健活動に関する情報を手軽に得られるよう、インターネットを利用した情報提供を行います。	地域ケアプラザ	一般	高齢者疑似体験（ハーモニーみどりふれあいまつり）（新規） 認知症キャラバンメイトの共催（新規）
3 障がい児・者を支援するためのボランティアを育てていきます。	1 障がいに関する知識を学び、技術を身につける研修を増やします。	2 研修を受けた人たちが実際にボランティア活動ができるような環境を整えます。	—	—	—
		3 障がい児・者の地域生活支援（余暇支援など）のボランティアが主体的にグループの運営に参加できるよう支援していきます。	地区社協	障がい	新治特別支援学校支援など「隣友会」活動への支援協力（継続）
			地域ケアプラザ	障がい	ボランティアみほの活動支援（新規）
4 思いやりのある人を育てる地域をつくります。	1 学校における福祉教育を地域の人や福祉施設などの協力を得て充実させていきます。	地区社協、連合自治会、三保小学校、学家地連とPTA	子ども	「ちょこっとサポーター」ボランティア募集（継続）	
		福祉保健活動団体	子ども	ハートバリアフリー実行委員会による福祉教育（継続）	
		2 学校、家庭、地域が連携して地域福祉保健活動を活性化していきます。	地区社協、連合自治会、三保小学校、学家地連とPTA、老人クラブ	高齢	児童の招待による地域高齢者との「ふれあい給食会」（継続）
3 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	3 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	地区社協、区社協、地域ケアプラザ	一般	地区社協出張研修（新規）	
		3 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	—	—	
3	1 身近な「場」を有効活用できるようにします。	1 学校、地区センター、地域ケアプラザ、地域作業所などの施設に関して、地域のニーズにあった弾力的な運用を促進します。	地区社協、地域ケアプラザ	一般	介護者の集い「すずらん会」地区リハ「ぬくもり」等、事業を協働実施（継続） 介護者の集い（コスモスの会）実施（新規） 地区リハ（ボランティアみほ ふれあい教室）実施（継続）
		2 多様な民間施設の有効活用をすすめます。（店舗の空き時間の活用、空きスペースの活用、企業の会議室などの活用）	地域ケアプラザ	高齢	高齢者住宅におけるミニデイサービス（新規）

※平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

【三保地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
3	1 身近な「場」を有効活用できるようにします。	3 身近な地域で活動できる場についてのガイドマップを作成します。	—	—	—
	2 同じような目的をもった人が集える機会や場を増やします。	1 利用する対象者の目的に合った施設情報の提供を促進します。	地域ケアプラザ	一般	施設スペース（貸し部屋）利用説明会（継続）
		2 集える機会を増やして活動の活性化につなげます。	地域ケアプラザ	一般	当事者団体、育児サークル等の仲間づくり、セルフヘルプグループ等への会場提供（継続）
			区役所、地域ケアプラザ	子ども	プレパパ・プレママ講座（新規）
	3 世代間のつながりがもてるような機会や場づくりをすすめます。	1 地域での行事やグループなどの交流を促進して、つながりのきっかけづくりをしていきます。	地区社協	一般	ウォークラリー、スポーツイベント（継続）
		2 公共施設などのフリースペースで、誰でも自由に参加できる「場」の活用をすすめます。	—	—	—
4	1 困ったときに身近な地域での相談先がわかるようにします。	1 事業者との連携により、相談機関等を示した啓発ポスターを掲示していきます。	—	—	—
		2 福祉保健の総合相談窓口としての地域ケアプラザを地域にPRしていきます。	地域ケアプラザ	一般	広報紙の発行（継続）
		3 身近な地域の福祉保健関係者の活動をPRしていきます。	区社協	一般	各種事業、分科会 地域でのイベント等でPRコーナー設置等実施（継続）
		4 福祉保健相談の受け手をPRしていきます。	—	—	—
	2 福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます。	1 個々の団体の活動内容を地域に効果的に広報していきます。	地域ケアプラザ	一般	ずずらん会活動内容チラシ配布（新規）
		2 福祉保健活動団体掲載冊子を作成し、身近な地域で利用できるようにします。	—	—	—
		3 社協の活動をわかりやすく周知し、地域とのかかわりを深めていきます。	地区社協	一般	広報紙「三保社協」の発行（継続）
		4 住民に身近な場所で福祉保健に関する制度やサービスなどの情報提供をしていきます。	—	—	—
		5 地域活動団体同士の交流を活性化し、情報の共有を促進します。	—	—	—
		6 地域単位で障がいについての講習会や交流の機会を設け、情報を地域に提供し、地域の理解を深めます。	地区社協、地域福祉活動団体	—	新治特別支援学校支援など「隣友会」学習発表会、施設見学活動への支援協力（継続）
	3 誰もが情報を入手しやすい環境整備をすすめます。	1 若年層、中年層、高齢層などそれぞれの年齢層に適した工夫を凝らした、多様な方法で情報発信を行っていきます。	—	—	—
		2 高齢者や障がい者については、相手の理解しやすい方法で情報を提供できるよう心がけます。	—	—	—

※平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

【三保地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
4	4 支援が必要な人の情報を地域単位で把握しやすくしていきます。	1 緊急時を含め、支援が必要な人について、個人情報保護に配慮して、地域で情報を把握できるようにしていきます。	—	—	—
		2 地域活動や行事の際に、支援の必要な人の参加を促し情報を把握していきます。	—	—	—
		3 個人情報の取り扱いに関する啓発をすすめていきます。	—	—	—
5	1 災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるよう取り組みます。	1 災害・緊急時に備え、日ごろから支えあいの人間関係づくりをすすめます。	—	—	—
		2 災害弱者の救援対策を地域全体で考えていきます。	—	—	—
		3 災害時・緊急時、犯罪等の情報を多様な方法で迅速に伝達していきます。	—	—	—
		4 さまざまな工夫をした防犯パトロール活動に取り組みます。	自治会、PTA	一般	防犯パトロール活動（継続）
	2 誰もが安心して安全に出かけられるまちづくりをすすめます。	1 点字ブロックの上に物を置かないなど、誰もが外出しやすいよう、住民同士が配慮をしていきます。	—	—	—
		2 地域でのボランティアによる送迎活動やミニバス運行など高齢者や障がい児・者などの移動を地域で支えていきます。	地域ケアプラザ	高齢	ボランティアみほ送迎サービス（継続）
	3 誰もが心豊かで、より健やかに生活できるようにしていきます。	1 子どもの頃からの健康づくりをすすめます。	運動こども会、青少年指導員、体育指導委員	こども	ウォークラリー、キックボール等スポーツイベント（継続）
			地域ケアプラザ、保健活動推進員	こども	子育て広場での食育活動（継続）
			保健活動推進員	一般	区民祭りにおける保健活動推進（継続）
		2 地域で自主的な健康づくり活動を、各種保健団体と協力して広がっていきます。	地区社協・地域福祉活動団体	高齢	「ボランティアみほ」等による、在宅福祉分野での見守り活動の強化（継続）
			地区社協、地域ケアプラザ、地域福祉活動団体	高齢	介護者の集い、介護教室、体操教室（継続）
			地区社協、地域ケアプラザ、地域福祉活動団体	高齢	三保ミニデイ（新規）

※平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

三保地区社会福祉協議会の紹介



三保地区社協

※三保地区社会福祉協議会の紹介については、緑区社会福祉協議会のホームページでもご覧になれます。URL : http://www.midori-shakyo.jp/chiku/chiku_07.html

地区社会福祉協議会(地区社協)は、直接そこに住む区民が中心となって、地域において福祉保健活動に取り組むための任意の団体です。三保地区社協は、「みんなで創ろう三保ふれあいの街福祉の街」をスローガンに、地域住民に最も身近な福祉の組織を目指して活動しています。

三保地区社協 事業の紹介

広報活動

広報誌「三保地区社協」の発行

運営

理事会、総会、事務局会議、部会、事業別担当者会議等の開催

交流活動

ボランティア団体「ボランティアみほ」、「隣友会」との交流

地域福祉・在宅福祉活動

在宅福祉活動、地区リハビリ教室、特別養護老人ホームでのボランティア活動

研修・学習活動

夏休み中学生ボランティア体験学習の実施

「こどもフェスティバル」でお年寄りと子どもの「昔遊び」による交流

ふれあい給食で高齢者と小学生の交流

●「ボランティアみほ」
～平成5年発足～
在宅支援(家事一般、話し相手等)及び、第3火曜日ふれあい教室において高齢者、障がい者とゲーム、唄などの活動をしています。
●「隣友会」
～平成2年発足～
新治特別支援学校の手伝い及び、第4日曜日ふれあいサロンでフラワーアレンジメント、パッチワーク等の活動をしています。

平成20年度の取り組み例紹介

「地区社協出張研修」を実施！(緑区社協の地区社協運営支援)



★メンタルヘルスをテーマに講演会を開催
(地区社協と地区民生委員児童員協議会の共催)
テーマ:「ストレスとの別れ」
講師:横浜労災病院 勤労者メンタルヘルスセンター長
山本 晴義 先生

家庭や地域における人間関係等のストレス解消法として

呼吸方法、健康習慣についての解説、実演を通しての講義!

【参加無料】
講演会
ストレスとの別れ
講師: 山本 晴義氏
日時: 12月3日(水) 13:30~15:30
会場: フォレストハウス
対象: 三保町にお住まいの方とご来賓
定員: 50名

★申し込み・お問い合わせ:
● 三保町民生委員協議会 総務課 電話: 054-922-2251
● 三保町社会福祉協議会 総務課 電話: 054-922-2257

開催PR用ちらし



12月3日 フォレストハウス集会所で開催

・回覧と口コミで53名もの方が出席!
・アンケートの95%から「大変よかった」、「よかった」との回答を得ました!

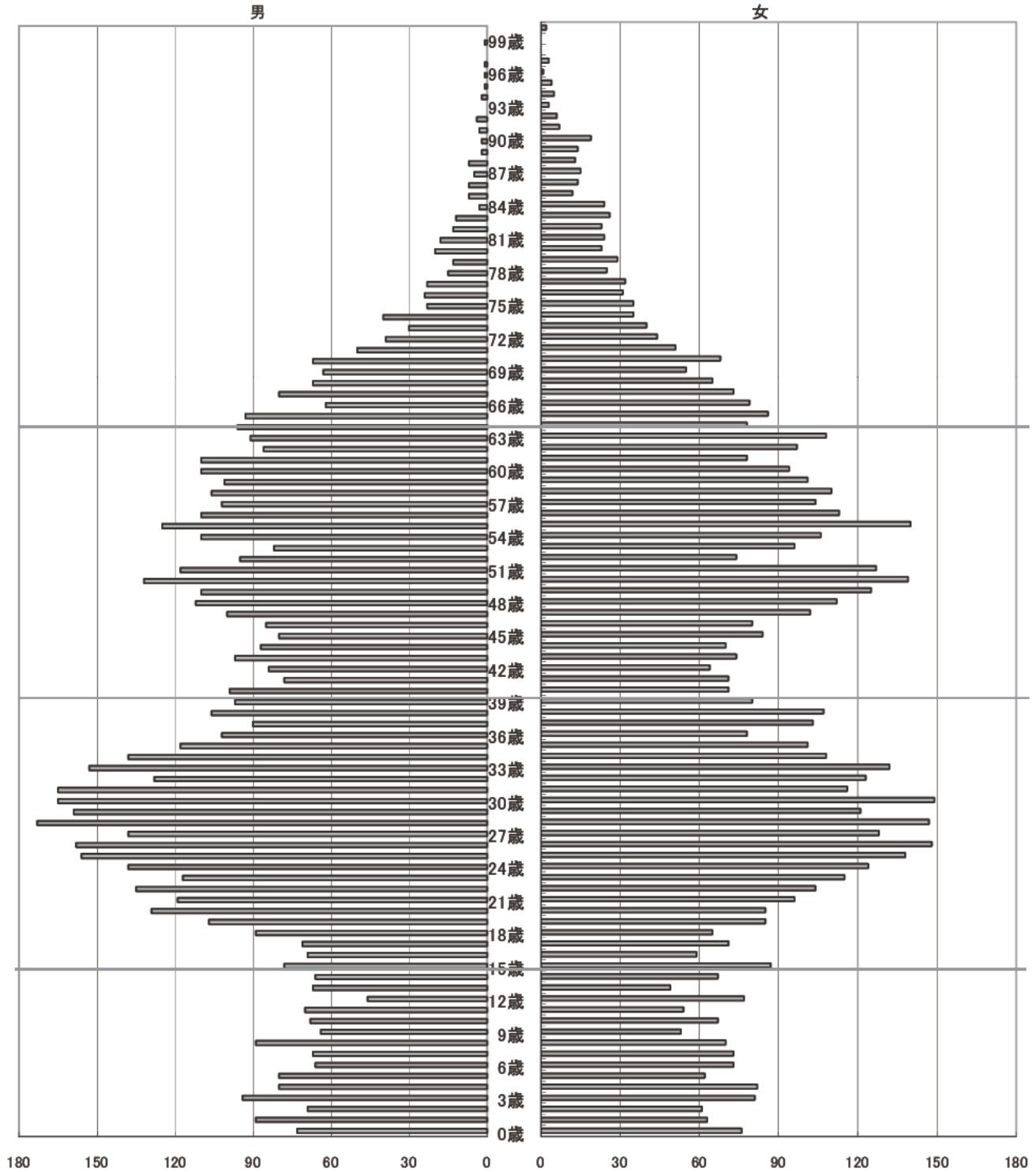
山下地区

<地域> 西八朔町、北八朔町、小山町、青砥町

平成10年(1998年)9月末現在の人口(単位:人)

<山下地区の人口動態>

	平成10年9月末(A)	平成20年9月末(B)	増減(B-A)
人口	14,572人	16,279人	1,707人
年齢区分別人口			
0~5歳	910人	863人	▲47人
6~14歳	1,186人	1,591人	405人
15~64歳	10,692人	10,436人	▲256人
65歳~	1,784人	3,389人	1,605人
高齢化率	12.24%	20.82%	8.58%
世帯数	5,593	7,013	1,420
上記のうち、65歳以上で1人暮らし世帯数	361	767	406



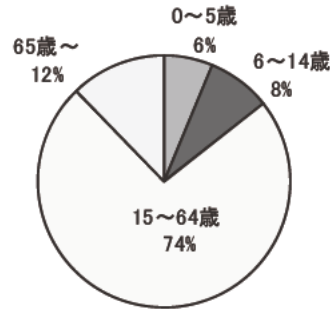
山下地区は、10年前と比較すると人口が約11.7%増加しています。そのほかに以下の特徴があります。

- 15歳から64歳の割合 10%減少
- 65歳以上の割合 9%増加
- 高齢化率 8.6%増加

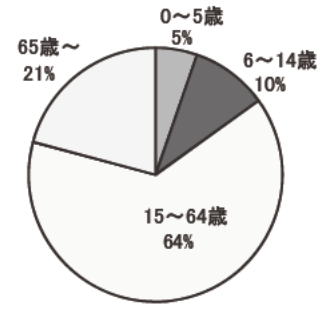
平成20年(2008年)9月末現在の人口(単位:人)

<年齢区分別人口の割合>

平成10年9月現在

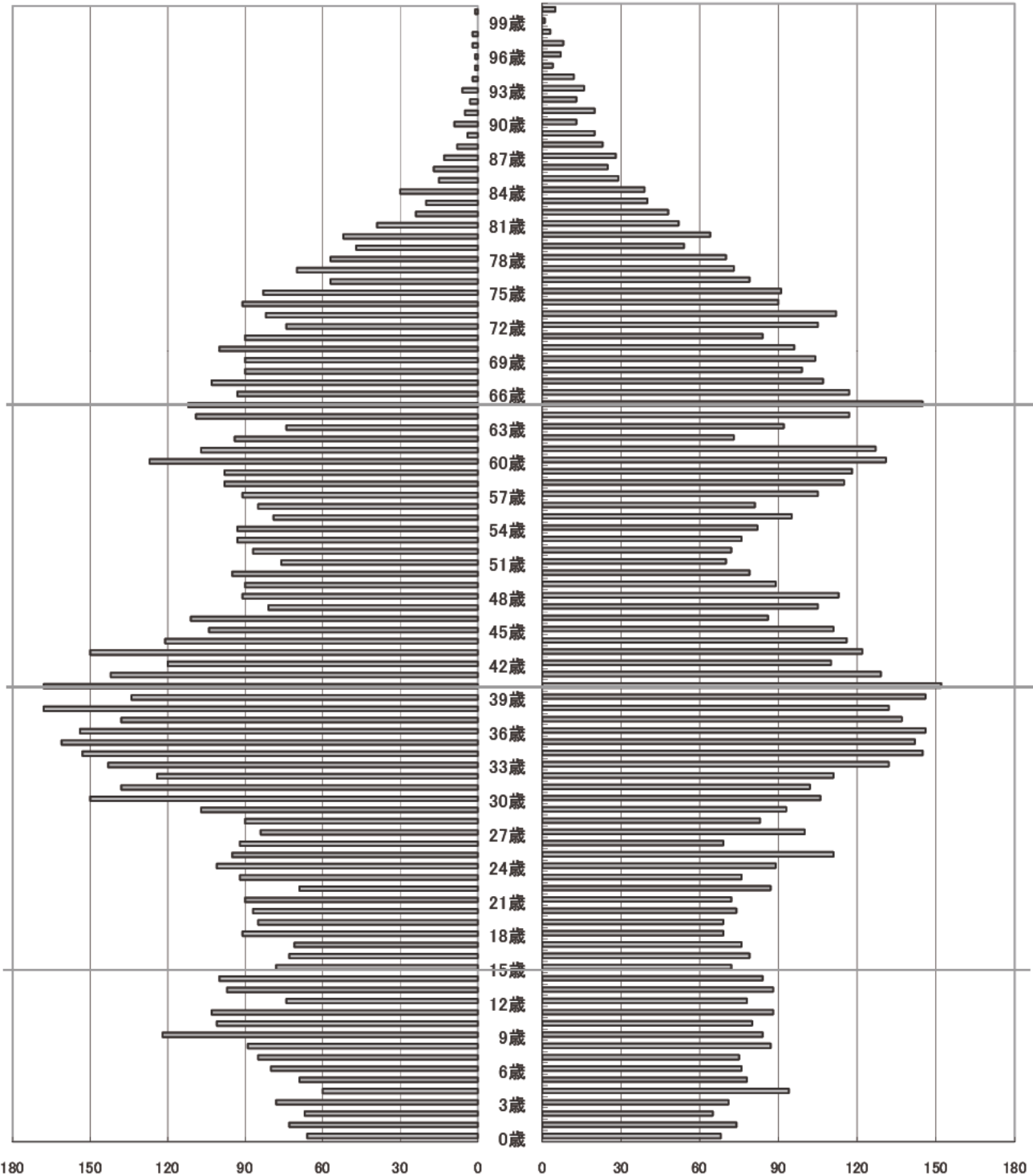


平成20年9月現在



男

女



【山下地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
1	1 住民同士が顔見知りとなり、地域で支えあえる関係づくりをすすめます。	1 住民同士がつながりを持つきっかけとして、あいさつや声かけが自然にできる関係づくりをすすめていきます。	愛のフェスティバル実行委員会（福祉施設 愛）	一般	愛のフェスティバル（継続）
			みどりの家	一般	みどりの家「夏祭り」、「餅つき」（継続）
		2 自治会や地区社協などの地域活動への参加促進に取り組みます。	—	—	—
2	1 身近な地域でボランティアの仲介ができるようにします。	1 身近な地域に、ボランティア関係の相談ができる人を育て、ボランティアをしたい人、受けたい人の相談と調整ができる仕組みをつくります。	地区社協	一般	地区社協事業化に向けてボランティアの集い開催（新規）
		2 区社協（ボランティア相談コーナー）で培ったコーディネートの知識や経験を用いて、新たなコーディネーターの育成を行います。	区社協	一般	地区ボランティアコーディネーターを対象に勉強会を実施（新規）
2	ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくりをすすめます。	1 ボランティアの人材募集、育成のために、区社協や各種福祉施設などで参加意欲を高めるようなプログラムを取り入れた講座や研修を行い、効果的なPRを実施します。	地域福祉保健活動団体	一般	ボランティア育成講座実施「山下地域支え合いの会」（継続）
		2 福祉保健活動に関する情報を手軽に得られるよう、インターネットを利用した情報提供を行います。	区社協 地区社協	一般	区社協ホームページに地区社協情報を掲載（継続）
3	障がい児・者を支援するためのボランティアを育てていきます。	1 障がいに関する知識を学び、技術を身につける研修を増やします。	—	—	—
		2 研修を受けた人たちが実際にボランティア活動ができるような環境を整えます。	地区社協	一般	「山下地域支え合いの会」ボランティアの集いで登録カードの呼びかけ（新規）
		3 障がい児・者の地域生活支援（余暇支援など）のボランティアが主体的にグループの運営に参加できるよう支援していきます。	—	—	—
4	思いやりのある人を育てる地域をつくります。	1 学校における福祉教育を地域の人や福祉施設などの協力を得て充実させていきます。	山下小学校 地区社協	子ども	地区社協の高齢者昼食会事業に山下小学校児童が訪問・交流（継続）
			福祉保健活動団体	子ども	ハートバリアフリー実行委員会による福祉教育（継続）
		2 学校、家庭、地域が連携して地域福祉保健活動を活性化していきます。	山下みどり台小学校	一般	食事会（学校応援隊メンバー、地域の読み聞かせ講師等を招き、食事会をしながら感謝の気持ちを伝える）（継続）
	3 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	地域福祉保健活動団体	高齢	「山下地域ささえ合いの会」（高齢者のためのボランティア組織）（継続）	
3	1 身近な「場」を有効活用できるようにします。	1 学校、地区センター、地域ケアプラザ、地域作業所などの施設に関して、地域のニーズにあった弾力的な運用を促進します。	—	—	—
		2 多様な民間施設の有効活用をすすめます。（店舗の空き時間の活用、空きスペースの活用、企業の会議室などの活用）	自治会	一般	学生寮との共同防災訓練（新規）
		3 身近な地域で活動できる場についてのガイドマップを作成します。	—	—	—

※平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

【山下地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容	
3	2 同じような目的をもった人が集える機会や場を増やします。	1 利用する対象者の目的に合った施設情報の提供を促進します。	—	—	—	
		2 集える機会を増やして活動の活性化につなげます。	地区社協	高齢	山下地区リハビリ教室Aコース健康維持のための体操、レクリエーション（継続）	
			地区社協	障がい	山下地区リハビリ教室Bコースリハビリ、レクリエーション（継続）	
			当事者、ボランティア、民児協、区役所	子ども	山下おやこの広場おやこが集える場（手遊び、交流）（継続）	
			地域ボランティア、保健活動推進員	高齢	書道教室、レクリエーション（継続）	
			区役所、保健活動推進員	子ども	赤ちゃん教室（継続）	
			連合自治会	一般	総合型スポーツクラブ事業実施（継続）	
		区役所、地域ケアプラザ	子ども	プレパパ・プレママ講座（新規）		
	3	世代間のつながりがもてるような機会や場づくりをすすめます。	1 地域での行事やグループなどの交流を促進して、つながりのきっかけづくりをしていきます。	地区社協	高齢	昼食会、山下みどり台小・山下小児童との交流会食（継続）
			2 公共施設などのフリースペースで、誰でも自由に参加できる「場」の活用をすすめます。	北八朔公園愛護会	一般	公園まつり（1/年）、季節に応じたイベント（第2、4土曜日）実施（継続）
4	1 困ったときに身近な地域での相談先がわかるようにします。	1 事業者との連携により、相談機関等を示した啓発ポスターを掲示していきます。	—	—	—	
		2 福祉保健の総合相談窓口としての地域ケアプラザを地域にPRしていきます。	地域ケアプラザ	一般	自治会での福祉講座の実施、地域ケアプラザのPR（継続）	
		3 身近な地域の福祉保健関係者の活動をPRしていきます。	—	—	—	
		4 福祉保健相談の受け手をPRしていきます。	区社協	高齢	「緑区社協あんしんセンター」出張説明（新規）	
	2 福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます。	1 個々の団体の活動内容を地域に効果的に広報していきます。	—	—	—	
		2 福祉保健活動団体掲載冊子を作成し、身近な地域で利用できるようにします。	—	—	—	
		3 社協の活動をわかりやすく周知し、地域とのかかわりを深めていきます。	地区社協	一般	「地区社協だより」を発行（新規）	
		4 住民に身近な場所で福祉保健に関する制度やサービスなどの情報提供をしていきます。	地域ケアプラザ	一般	自治会への福祉講座の実施 地域ケアプラザのちらしの配布（継続）	
		5 地域活動団体同士の交流を活性化し、情報の共有を促進します。	地域ケアプラザ	一般	支えあい連絡会の実施（継続）	
		6 地域単位で障がいについての講習会や交流の機会を設け、情報を地域に提供し、地域の理解を深めます。	—	—	—	

※平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

【山下地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
4	3 誰もが情報を入手しやすい環境整備をすすめます。	1 若年層、中年層、高齢層などそれぞれの年齢層に適した工夫を凝らした、多様な方法で情報発信を行っていきます。	—	—	—
		2 高齢者や障がい者については、相手の理解しやすい方法で情報を提供できるよう心がけます。	—	—	—
	4 支援が必要な人の情報を地域単位で把握しやすくしていきます。	1 緊急時を含め、支援が必要な人について、個人情報保護に配慮して、地域で情報を把握できるようにしていきます。	—	—	—
		2 地域活動や行事の際に、支援の必要な人の参加を促し情報を把握していきます。	山下エリアグループホーム連絡会	高齢	山下エリア内のグループホームの情報共有（継続）
		3 個人情報の取り扱いに関する啓発をすすめています。	地区社協、区社協	一般	個人情報保護法に関する講義の実施（継続）
	5	1 災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるよう取り組みます。	1 災害・緊急時に備え、日ごろから支えあいの人間関係づくりをすすめます。	地区社協	一般
2 災害弱者の救援対策を地域全体で考えていきます。			自治会	一般	「防災ささえあいカード」の取り組み（継続・一部新規）
3 災害時・緊急時、犯罪等の情報を多様な方法で迅速に伝達していきます。			—	—	—
4 ささまざまな工夫をした防犯パトロール活動に取り組みます。			山下地域支え合いの会 P T A	一般	学校応援隊など防犯パトロール活動（継続）
2 誰もが安心して安全に出かけられるまちづくりをすすめます。		1 点字ブロックの上に物を置かないなど、誰もが外出しやすいよう、住民同士が配慮をしていきます。	—	—	—
		2 地域でのボランティアによる送迎活動やミニバス運行など高齢者や障がい児・者などの移動を地域で支えています。	—	—	—
3 誰もが心豊かで、より健やかに生活できるようにしていきます。		1 子どもの頃からの健康づくりをすすめます。	—	—	—
		2 地域で自主的な健康づくり活動を、各種保健団体と協力して広がっていきます。	保健活動推進員	一般	健康体操、ウォーキング、健康講座等（継続）
		3 地域で介護予防活動の取り組みを充実していきます。	地域ケアプラザ	高齢	自治会への介護講座、認知症予防教室（継続）

地域包括支援センター

「ふじ寿か園」の紹介



[住所] 〒226-0024

神奈川県横浜市緑区西八朔町773-2

[営業日]：月、火、水、木、金、土

[休業日]：日曜、祝日及び12/29～1/3

[電話] 045-931-1187

山下地区に位置する地域包括支援センター「ふじ寿か園」は、地域住民が安心して暮らし続けていくために福祉・保健の専門の相談員が相談を無料でお受けし、情報提供や関係機関との連絡調整を行っています。

ここでは、「ふじ寿か園」の包括支援センターとしての4つの業務と山下地区における地域での取り組みの一部を紹介します。

4つの業務紹介

1. 介護予防ケアマネジメント

介護が必要な状態になることを予防するために、地域において介護予防サービスの利用計画を作成し、実施後の評価や必要に応じて計画の見直しを行います。これは介護保険の申請にて、要支援1・2と判定された方や、申請していないが介護や支援が必要になるおそれのある方を対象にしています。

2. 総合相談支援

高齢者のみなさんや地域住民の方から様々な相談を受け、必要に応じてどのような支援が必要か把握し適切なサービスや機関につないでいきます。



3. 権利擁護

虐待や訪問販売などの消費被害の防止、成年後見制度の活用など、権利を擁護するために動きます。

4. 包括的・継続的ケアマネジメント

介護に携わる方々を対象に、地域の充実したケア体制を作るために、様々な機関との連携や調整などを行います。これら4つの業務は単独で動いていくものではなく、連携し合って活動しています。

地域における取り組み紹介



「認知症予防教室」でウォーキングの企画を検討！

「介護予防啓発」を谷津田原第二住宅で実施！



「介護予防啓発」を北八朔老人会で実施！

「ふじ寿か園」の外観と館内写真



建物外観



館内

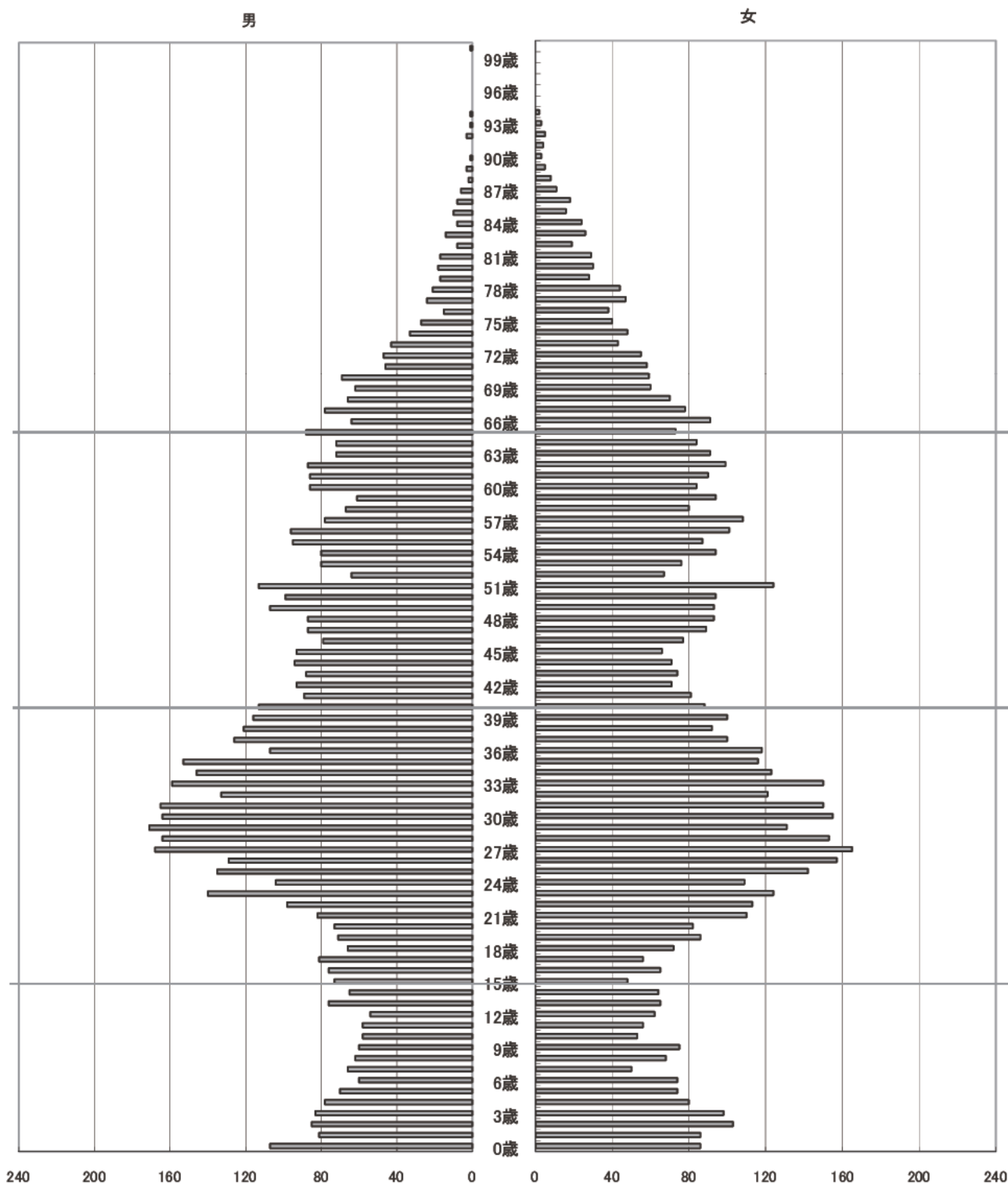
＜新治西部・十日市場団地区の人口動態＞

	平成10年9月末(A)	平成20年9月末(B)	増減(B-A)
人口	14,194人	19,802人	5,608人
年齢区分別人口			
0～5歳	1,031人	1,141人	110人
6～14歳	1,126人	1,884人	758人
15～64歳	10,201人	12,761人	2,560人
65歳～	1,836人	4,016人	2,180人
高齢化率	12.94%	20.28%	7.34%
世帯数	5,949	9,074	3,125
上記のうち、65歳以上で1人暮らし世帯数	359	1,040	681

＜地域＞ 新治町、十日市場町、長津田みなみ台7丁目の一部

平成10年(1998年)9月末現在の人口(単位:人)

注)平成10年度は新治町、十日市場町のデータ、平成20年度は、新治町、十日市場町及び長津田みなみ台7丁目のデータを集計しています。



注)平成10年度のデータについては新治町、十日市場町の数値を集計しています。

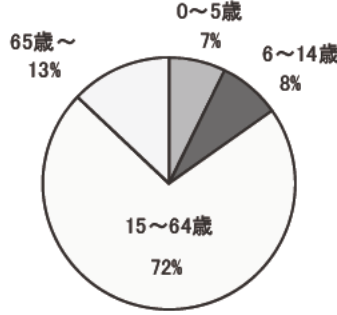
新治西部・十日市場団地地区は、10年前と比較すると人口が約40%増加しています。そのほかに以下の特徴があります。

- 15歳から64歳の割合 8%減少
- 65歳以上の割合 7%増加
- 高齢化率 7.3%増加

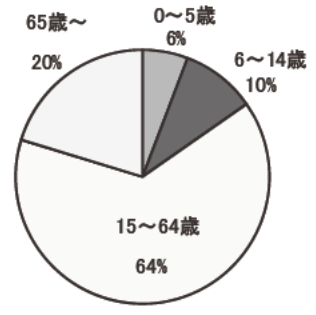
平成20年(2008年)9月末現在の人口(単位:人)

<年齢区分別人口の割合>

平成10年9月現在

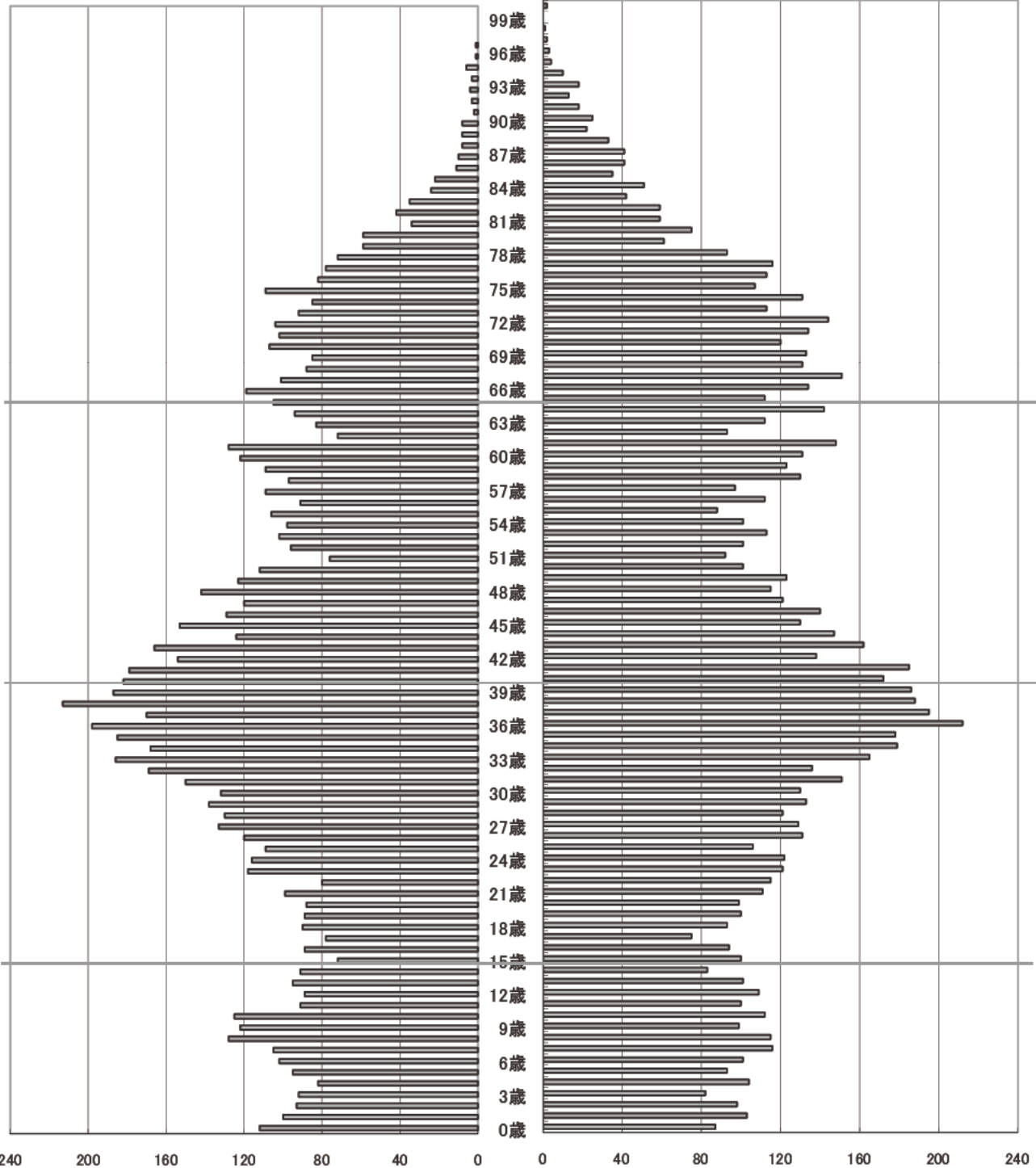


平成20年9月現在



男

女



※平成20年度については、新治町、十日市場町及び長津田みなみ台7丁目の数値を集計しています。

【新治西部地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
1	1 住民同士が顔見知りとなり、地域で支えあえる関係づくりをすすめます。	1 住民同士がつながりを持つきっかけとして、あいさつや声かけが自然にできる関係づくりをすすめていきます。	十日市場中学校地域交流実行委員会	一般	生徒と地域の人たちが知り合い、一緒に地域活動に参加し、顔の見える関係作り（継続）
			自治会 氏子会	一般	日向山神社こども神輿(新規) お祭り(継続)
			自治会	一般	盆踊り大会(継続)
			自治会	一般	恩田川清掃(継続)
			自治会 公園愛護会	一般	町内一斉清掃(継続)
			自治会	一般	餅つき大会(継続)
			自治会	一般	芋煮会(継続)
			自治会 老人会	一般	クリーンアップ運動(継続)
			自治会	一般	日帰り親睦旅行(継続)
		2 自治会や地区社協などの地域活動への参加促進に取り組みます。	自治会	一般	自治会だより(継続)
2	1 身近な地域でボランティアの仲介ができるようにします。	1 身近な地域に、ボランティア関係の相談ができる人を育て、ボランティアをしたい人、受けたい人の相談と調整ができる仕組みをつくります。	地域ケアプラザ	一般	ボランティア相談・調整・連絡(継続)
			区社協	一般	ボランティアコーディネーター研修(継続)
	2 区社協（ボランティア相談コーナー）で培ったコーディネートの知識や経験を用いて、新たなコーディネーターの育成を行います。	—	—	—	
	2 ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくりをすすめます。	1 ボランティアの人材募集、育成のために、区社協や各種福祉施設などで参加意欲を高めるようなプログラムを取り入れた講座や研修を行い、効果的なPRを実施します。	地域ケアプラザ	一般	はまちゃん体操リーダー養成講座(新規)
			2 福祉保健活動に関する情報を手軽に得られるよう、インターネットを利用した情報提供を行います。	—	—
	3 障がい児・者を支援するためのボランティアを育てていきます。	1 障がいに関する知識を学び、技術を身につける研修を増やします。	地域ケアプラザ 福祉保健活動団体	一般	手話ボランティア入門講座(新規)（手話サークルやよい）
2 研修を受けた人たちが実際にボランティア活動ができるような環境を整えます。			地域ケアプラザ 福祉保健活動団体	一般	手話ボランティア入門講座(新規)（手話サークルやよい）
3 障がい児・者の地域生活支援（余暇支援など）のボランティアが主体的にグループの運営に参加できるよう支援していきます。			—	—	—
4 思いやりのある人を育てる地域をつくります。	1 学校における福祉教育を地域の人や福祉施設などの協力を得て充実させていきます。	十日市場中学校地域交流実行委員会	一般	生徒と地域の人たちが知り合い、一緒に地域活動に参加し、顔の見える関係作り（継続）	
		2 学校、家庭、地域が連携して地域福祉保健活動を活性化していきます。	小学校 PTA 自治会	こども	新治小学校ワクワクデー(継続)
		3 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	福祉保健活動団体	一般	梅田川清掃(継続) 里山保全活動(継続)
			小学校 福祉保健活動団体 自治会	こども	福刈り・田植え実習(継続)
連合自治会 保護司	一般	社会を明るくするミニ集会(継続)			

※平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

【新治西部地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容		
3	1 身近な「場」を有効活用できるようにします。	1 学校、地区センター、地域ケアプラザ、地域作業所などの施設に関して、地域のニーズにあった弾力的な運用を促進します。	地域ケアプラザ	一般	自治会での認知症講演(継続)		
		2 多様な民間施設の有効活用をすすめます。(店舗の空き時間の活用、空きスペースの活用、企業の会議室などの活用)	—	—	—		
3 身近な地域で活動できる場についてのガイドマップを作成します。		福祉保健活動団体 区役所 区社協	こども	子育てお助けBOOK(継続)			
2	同じような目的をもった人が集える機会や場を増やします。	1 利用する対象者の目的に合った施設情報の提供を促進します。	地域ケアプラザ	一般	たんぼぼ(介護者の集い)(継続)		
		2 集える機会を増やして活動の活性化につなげます。	地域ケアプラザ	一般	介護者の集い たんぼぼ(介護者の交流会)(継続)		
		福祉保健活動団体	高齢	新治西部民生委員昼食会(一人暮らし対象の昼食会)(継続)			
		福祉保健活動団体	高齢	えいゆう会(映画上映会)(継続)			
		地域ケアプラザ	高齢	サロン(外出機会の少ない高齢者のサロン)(継続)			
		地域ケアプラザ	高齢	ららら・歌の会(外出機会の少ない高齢者の集まり)(継続)			
		地域ケアプラザ	高齢	ごきげん・くらぶ(高齢者のミニサービス)(継続)			
		地域ケアプラザ	高齢	おたのしみ会(高齢者、障がい者の手作り作品講習)(継続)			
		地域ケアプラザ	高齢	いきいき笑顔の広場(昭和大ボランティア部と協働)(継続)			
		福祉保健活動団体	こども	たまごっち(継続)			
		福祉保健活動団体	こども	クッキー、モンキー(育児サークル)(継続)			
		福祉保健活動団体	こども	おさるのしっぽ(育児サークル)(継続)			
		福祉保健活動団体	こども	すくすくキッズ(継続)十日市場地区センターで実施			
		地域ケアプラザ	こども	よちよち園A、B、S(未就学、乳児親子支援)(継続)			
		福祉保健活動団体、地域ケアプラザ、区役所	障がい	緑十友会(中途障がい者の集い)(継続)			
		区役所 保健活動推進委員 民生・児童委員	こども	赤ちゃん教室(継続)			
		区役所 地域ケアプラザ	こども	プレパパ・プレママ教室(継続)			
		3	世代間のつながりがもてるような機会や場づくりをすすめます。	1 地域での行事やグループなどの交流を促進して、つながりのきっかけづくりをしていきます。	地区社協 事業者	障がい	みどり福祉ホーム合同昼食会(高齢者と福祉ホームの合同昼食会)(継続)
					特別支援学校	障がい	新治特別支援学校コンサート(継続)
					地域ケアプラザ	一般	脳トレ多世代交流「あおむしクラブ」(継続)
連合自治会 子供会 青少年指導委員 体育指導委員	こども				紙飛行機大会(継続)		
2 公共施設などのフリースペースで、誰でも自由に参加できる「場」の活用をすすめます。	—			—	—		

※平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

【新治西部地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
4	1 困ったときに身近な地域での相談先がわかるようにします。	1 事業者との連携により、相談機関等を示した啓発ポスターを掲示していきます。	地域ケアプラザ	一般	薬局・病院・商店等にチラシ・ポスターの配布(新規)
		2 福祉保健の総合相談窓口としての地域ケアプラザを地域にPRしていきます。	地域ケアプラザ	一般	制度や事業についてチラシやケアプラ新聞で広報(継続)
		3 身近な地域の福祉保健関係者の活動をPRしていきます。	地域ケアプラザ	一般	ケアプラ新聞で活動紹介(継続)
		4 福祉保健相談の受け手をPRしていきます。	—	—	—
	2 福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます。	1 個々の団体の活動内容を地域に効果的に広報していきます。	—	—	—
		2 福祉保健活動団体掲載冊子を作成し、身近な地域で利用できるようにします。	—	—	—
		3 社協の活動をわかりやすく周知し、地域とのかかわりを深めていきます。	—	—	—
		4 住民に身近な場所で福祉保健に関する制度やサービスなどの情報提供をしていきます。	—	—	—
		5 地域活動団体同士の交流を活性化し、情報の共有を促進します。	福祉保健活動団体・地域作業所・地域ケアプラザ・図書館・ほのほの荘	一般	バザーフェスタ(継続)
		6 地域単位で障がいについての講習会や交流の機会を設け、情報を地域に提供し、地域の理解を深めます。	—	—	—
	3 誰もが情報を入手しやすい環境整備をすすめます。	1 若年層、中年層、高齢層などそれぞれの年齢層に適した工夫を凝らした、多様な方法で情報発信を行っていきます。	—	—	—
		2 高齢者や障がい者については、相手の理解しやすい方法で情報を提供できるよう心がけます。	—	—	—
	4 支援が必要な人の情報を地域単位で把握しやすくしていきます。	1 緊急時を含め、支援が必要な人について、個人情報保護に配慮して、地域で情報を把握できるようにしていきます。	—	—	—
		2 地域活動や行事の際に、支援の必要な人の参加を促し情報を把握していきます。	民生・児童委員 地区社協	高齢	昼食会(継続)
			自治会 民生・児童委員 地区社協	高齢	敬老会(継続)
			民生・児童委員 地区社協	高齢	カラオケ大会(継続)
3 個人情報の取り扱いに関する啓発をすすめていきます。	—	—	—		
5 1 災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるよう取り組みます。	1 災害・緊急時に備え、日ごろから支えあいの人間関係づくりをすすめます。	連合自治会	一般	防災訓練・防災・防火講演会(継続)	
		民生・児童委員	高齢	ふれあい・あんしん推進事業(継続)	
	2 災害弱者の救援対策を地域全体で考えていきます。	自治会	一般	災害時要援護者の把握(継続)(後谷自治会)	
	3 災害時・緊急時、犯罪等の情報を多様な方法で迅速に伝達していきます。	—	—	—	
4 さまざまな工夫をした防犯パトロール活動に取り組みます。	自治会、PTA、消防団	一般	防犯パトロール活動(継続)		

※平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

【新治西部地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
5	2 誰もが安心して安全に出かけられるまちづくりをすすめます。	1 点字ブロックの上に物を置かないなど、誰もが外出しやすいよう、住民同士が配慮をしていきます。	自治会	一般	外灯の整備(継続)
		2 地域でのボランティアによる送迎活動やミニバス運行など高齢者や障がい児・者などの移動を地域で支えていきます。	—	—	—
3	誰もが心豊かで、より健やかに生活できるようにしていきます。	1 子どもの頃からの健康づくりをすすめます。	連合自治会 子供会 青少年指導員 体育指導委員	一般	ウォークラリー(継続)
			連合自治会 子供会 青少年指導員 体育指導委員	一般	健民祭(継続)
		2 地域で自主的な健康づくり活動を、各種保健団体と協力して広げていきます。	保健活動推進員	一般	健康体操、講座実施、各種事業支援(継続)
		3 地域で介護予防活動の取り組みを充実していきます。	福祉保健活動団体	高齢	転倒予防教室びちびちOB会(継続)
			福祉保健活動団体	高齢	木曜会(継続)
地域ケアプラザ ほのほの荘	高齢	健康運動教室(介護予防体操)(継続)			

～後谷自治会の防犯灯マップと防災マップの取り組みが紹介されています～



後谷自治会の防犯灯と防災マップの活動は横浜市町内会連合会の「ハマの元気印自治会町内会」のいきいき活動事例編でも取り上げられ、紹介されました。



自治会加入率は98%以上の高さを誇っています。15～20歳を一つの「分区」(他自治会の組・班に相当)として役員を各1名おき、毎半期に交代し新役員で副会長以下の役職を互選しています。ただし、会費は地域のいろいろな団体や行政との関係づくりにより必要となるため、費財年費を減らすことにはしていません。おそれなく役員からこの仕組みだということですが、全ての世代が必ず役員を経験すること、自治会に対する理解度が深まり、協力的な雰囲気や生活の質が上がるのメリットと考えます。高齢者の事情で役員を志願するのが難しい場合は分区内で話し合い、順番から出すなどの対応をしています。

平成17年度に防災を目的の会費補助金を実施しました。80%の回収率でしたが100%じゃなかったことが残念なくらいです(笑)。「高齢者1人1冊」とか「要介助者1冊」といった要領構成の冊、災害が起きた場合に力を貸して頂けるよう、医療・建設関係者(車椅子を含む)の有無も調査し、その情報を蓄として「防災マップ」を作りました。ガールズが関わったとき、被災者の情報の確認や救出に変えていくことが出来るよう、定期的な調査とアンケートの更新をこれからも続けていく予定です。防災役員に必要な情報は共有していますが、大切な個人情報ですので管理はしっかりとやっています。

昭和47年に市電車軌の軌跡を受け、後谷公園に設置しました。役員会などの集会所として利用すると同時に、車内に会員から寄せられた本を並べて図書館(市電文庫)にしてみました。自治会館の建設に伴い昭和60年に市電廃止しましたが、図書館は自治会館に引継ぎ、現在は「市電文庫」として自治会活動の重要な役割を担っています。平成18年度は、お話し会・ブランチシアター・グラウンドハーブとフルーツのミニコンサート等を開催しました。文化事業を自治会の新しい魅力にと考えています。

※平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

【十日市場団地地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
1	1 住民同士が顔見知りとなり、地域で支えあえる関係づくりをすすめます。	1 住民同士がつながりを持つきっかけとして、あいさつや声かけが自然にできる関係づくりをすすめていきます。	十日市場中学校地域交流実行委員会	一般	生徒と地域の人たちが知り合い、一緒に地域活動に参加し、顔の見える関係作り（継続）
			連合自治会	一般	夏祭り（盆踊り）（継続）
			連合自治会	一般	バスハイク（継続）
	2 自治会や地区社協などの地域活動への参加促進に取り組みます。	地区社協	一般	連合自治会の機関紙に近況や計画を掲載し、広報活動実施（継続）	
		連合自治会	一般	自治会通信（継続）	
2	1 身近な地域でボランティアの仲介ができるようにします。	1 身近な地域に、ボランティア関係の相談ができる人を育て、ボランティアをしたい人、受けたい人の相談と調整ができる仕組みをつくります。	区社協	一般	ボランティアコーディネーター研修（継続）
		2 区社協（ボランティア相談コーナー）で培ったコーディネートの知識や経験を用いて、新たなコーディネーターの育成を行います。	—	—	—
	2 ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくりをすすめます。	1 ボランティアの人材募集、育成のために、区社協や各種福祉施設などで参加意欲を高めるようなプログラムを取り入れた講座や研修を行い、効果的なPRを実施します。	地域ケアプラザ	一般	ボランティア相談・調整・連絡（継続）
			区社協	一般	ボランティアコーディネーター研修（継続）
			地域ケアプラザ	一般	はまちゃん体操リーダー養成講座（新規）
		2 福祉保健活動に関する情報を手軽に得られるよう、インターネットを利用した情報提供を行います。	—	—	—
3 障がい児・者を支援するためのボランティアを育てていきます。	1 障がいに関する知識を学び、技術を身につける研修を増やします。	地域ケアプラザ 福祉保健活動団体	一般	手話ボランティア入門講座（新規）（手話サークルやよい）	
	2 研修を受けた人たちが実際にボランティア活動ができるような環境を整えます。	地域ケアプラザ 福祉保健活動団体	一般	手話ボランティア入門講座（新規）（手話サークルやよい）	
	3 障がい児・者の地域生活支援（余暇支援など）のボランティアが主体的にグループの運営に参加できるよう支援していきます。	—	—	—	
4 思いやりのある人を育てる地域をつくります。	1 学校における福祉教育を地域の人や福祉施設などの協力を得て充実させていきます。	十日市場中学校地域交流実行委員会	一般	生徒と地域の人たちが知り合い、一緒に地域活動に参加し、顔の見える関係作り（継続）	
	2 学校、家庭、地域が連携して地域福祉保健活動を活性化していきます。	—	—	—	
	3 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	—	—	—	
3	1 身近な「場」を有効活用できるようにします。	1 学校、地区センター、地域ケアプラザ、地域作業所などの施設に関して、地域のニーズにあった弾力的な運用を促進します。	地域ケアプラザ	一般	自治会での認知症講演（継続）
		2 多様な民間施設の有効活用をすすめます。（店舗の空き時間の活用、空きスペースの活用、企業の会議室などの活用）	—	—	—
	3 身近な地域で活動できる場についてのガイドマップを作成します。	福祉保健活動団体 区役所 区社協	こども	子育てお助けBOOK（継続）	

【十日市場団地地区】

基本 目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
3	2 同じような目的をもった人が集える機会や場を増やします。	1 利用する対象者の目的に合った施設情報の提供を促進します。	地域ケアプラザ	一般	たんぼぼ(介護者の集い) (継続)
		2 集える機会を増やして活動の活性化につなげます。	福祉保健活動団体	高齢	ヒルタウン昼食会：十日市場団地地区自治会・地区社協による昼食会(継続)
福祉保健活動団体		高齢	ヒルタウン親睦会：十日市場団地在住のボランティアによる昼食会(継続)		
福祉保健活動団体		高齢	えいゆう会：高齢者の映画同好会。閉じこもりを防ぐ。(継続)		
福祉保健活動団体		高齢	ぴちぴちOB会：転倒予防教室修了者による自主的な体操教室(継続)		
福祉保健活動団体		高齢	遊人会：健康づくり、仲間づくりを目的とした集い(継続)		
福祉保健活動団体		高齢	緑はればれ2000：シニア世代の仲間の集い。ボランティア活動を通じた交流を実施(継続)		
地域ケアプラザ ほのぼの荘		高齢	健康運動教室：介護予防体操(継続)		
地域ケアプラザ		高齢	サロン：外出の機会の少ない高齢者のためのサロン。折り紙、編み物、囲碁など趣味活動が中心。(継続)		
地域ケアプラザ		高齢	ららら♪うたの会：外出の機会の少ない高齢者のためのサロン。童謡や唱歌など懐かしい歌をうたう会(継続)		
地域ケアプラザ		高齢	たんぼぼ：高齢者の家族介護者の集い(継続)		
地域ケアプラザ		高齢	ごきげん・くらぶ：ミニデイサービス(継続)		
地域ケアプラザ		高齢	いきいき笑顔の広場：ミニデイサービス(継続)		
地域ケアプラザ		高齢	おたのしみ会：障がい者・高齢者を対象にした手作り作品講習会(継続)		
地域ケアプラザ		こども	よちよち園A：親子の交流を目的してプログラムとミニサロン(継続)		
地域ケアプラザ		こども	よちよち園B：親子のためのフリースペース(継続)		
地域ケアプラザ		こども	よちよち園S：乳児と親のサロン(継続)		
			区役所 保健活動推進委員 民生・児童委員	こども	赤ちゃん教室(継続)
			区役所 地域ケアプラザ	こども	プレパパ・プレママ教室(継続)
		福祉保健活動団体、地域 ケアプラザ、区役所	障がい	緑十友会(地域リハビリ教室) (継続)	
3	3 世代間のつながりがもてるような機会や場づくりをすすめます。	1 地域での行事やグループなどの交流を促進して、つながりのきっかけづくりをしていきます。	地区社協	こども	高齢者とこどもの交流会(継続)
		2 公共施設などのフリースペースで、誰でも自由に参加できる「場」の活用をすすめます。	地域作業所 地域ケアプラザ 図書館	一般	属だまり喫茶(新規)

【十日市場団地地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
4	1 困ったときに身近な地域での相談先がわかるようになります。	1 事業者との連携により、相談機関等を示した啓発ポスターを掲示していきます。	地域ケアプラザ	一般	薬局・病院・商店等にチラシ・ポスターの配布(新規)
		2 福祉保健の総合相談窓口としての地域ケアプラザを地域にPRしていきます。	地域ケアプラザ	一般	制度や事業についてチラシやケアプラ新聞で広報(継続)
		3 身近な地域の福祉保健関係者の活動をPRしていきます。	地区社協	一般	連合自治会の機関紙に近況や計画を掲載し、広報活動実施(継続)
			地域ケアプラザ	一般	ケアプラ新聞で活動紹介(継続)
		4 福祉保健相談の受け手をPRしていきます。	—	—	—
	2 福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます。	1 個々の団体の活動内容を地域に効果的に広報していきます。	—	—	—
		2 福祉保健活動団体掲載冊子を作成し、身近な地域で利用できるようにします。	—	—	—
		3 社協の活動をわかりやすく周知し、地域とのかかわりを深めていきます。	—	—	—
		4 住民に身近な場所で福祉保健に関する制度やサービスなどの情報提供をしていきます。	—	—	—
		5 地域活動団体同士の交流を活性化し、情報の共有を促進します。	福祉保健活動団体・地域作業所・地域ケアプラザ・図書館・ほのほの荘	一般	バザーフェスタ(継続)
		6 地域単位で障がいについての講習会や交流の機会を設け、情報を地域に提供し、地域の理解を深めます。	—	—	—
	3 誰もが情報を入手しやすい環境整備をすすめます。	1 若年層、中年層、高齢層などそれぞれの年齢層に適した工夫を凝らした、多様な方法で情報発信を行っていきます。	—	—	—
		2 高齢者や障がい者については、相手の理解しやすい方法で情報を提供できるよう心がけます。	—	—	—
	4 支援が必要な人の情報を地域単位で把握しやすくしていきます。	1 緊急時を含め、支援が必要な人について、個人情報保護に配慮して、地域で情報を把握できるようにしていきます。	地域防災拠点運営委員会 連合自治会、区役所 民生・児童委員	一般	ささえあいカード(災害時要援護者把握)(継続)
			民生委員・児童委員	高齢	ふれあい・あんしん推進事業(継続)
		2 地域活動や行事の際に、支援の必要な人の参加を促し情報を把握していきます。	—	—	—
	3 個人情報の取り扱いに関する啓発をすすめていきます。	—	—	—	
5 1 災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるよう取り組みます。	1 災害・緊急時に備え、日ごろから支えあいの人間関係づくりをすすめます。	民生・児童委員 地域ケアプラザ	高齢	地区民生・児童委員協議会(継続)	
		自治会	一般	AED取り扱い訓練(新規)	
	2 災害弱者の救援対策を地域全体で考えていきます。	地域防災拠点運営委員会 連合自治会、区役所 民生・児童委員	一般	防災ささえあいカード 防災訓練において、ささえあいカード登録要援護者の避難訓練実施(継続)	
	3 災害時・緊急時、犯罪等の情報を多様な方法で迅速に伝達していきます。	—	—	—	
	4 ささまざまな工夫をした防犯パトロール活動に取り組みます。	自治会、PTA	一般	防犯パトロール活動(継続)	

※平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

【十日市場団地地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
5	2 誰もが安心して安全に出かけられるまちづくりをすすめます。	1 点字ブロックの上に物を置かないなど、誰もが外出しやすいよう、住民同士が配慮をしていきます。	—	—	—
		2 地域でのボランティアによる送迎活動やミニバス運行など高齢者や障がい児・者などの移動を地域で支えていきます。	—	—	—
	3 誰もが心豊かで、より健やかに生活できるようにしていきます。	1 子どもの頃から健康づくりをすすめます。	—	—	—
		2 地域で自主的な健康づくり活動を、各種保健団体と協力して広がっていきます。	連合自治会、区役所 保健活動推進委員	一般	町ぐるみ健康づくり事業への取組 (継続)
		3 地域で介護予防活動の取り組みを充実していきます。	ボランティア 地域ケアプラザ	一般	はまちゃん体操の普及活動 (新規)
			地域ケアプラザ 区役所	高齢	老人会での出前出張介護予防 講座(新規)
福祉保健活動団体	高齢	転倒予防教室びちびち〇Ｂ会 (継続)			

～毎月発行！全世帯に配布！十日市場団地連合自治会「住連通信」～

40年以上渡って続く、十日市場団地の通信「住連通信」。団地の建替えの時も途切れることなく発行され、仮住宅に住む住民にも届けられました。現在も全世帯に配布され続けており、地域のこと、団地のことなど、タイムリーな情報が届けられています。



※平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

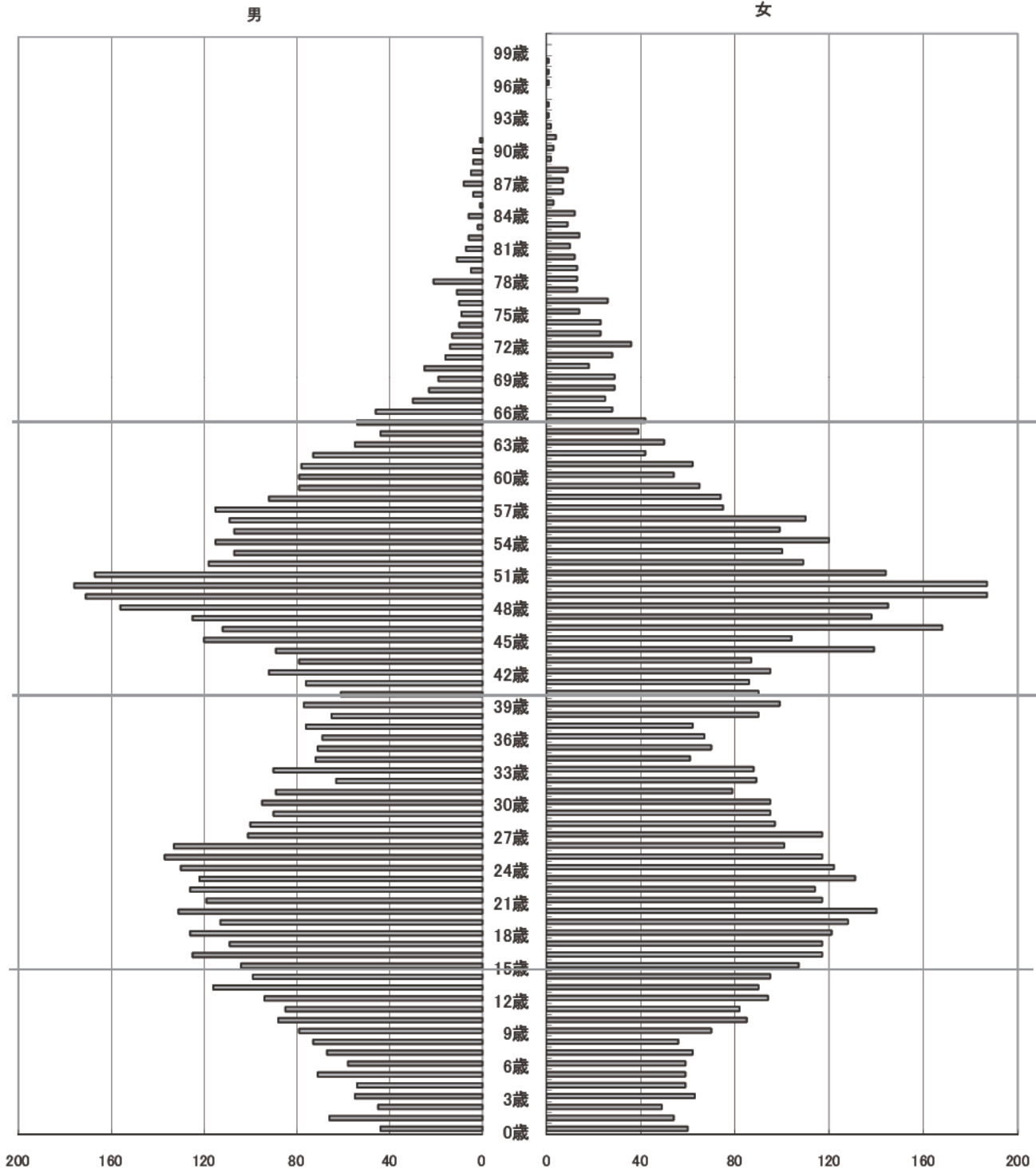
霧が丘地区

<地域> 霧が丘1~6丁目

平成10年(1998年)9月末現在の人口(単位:人)

<霧が丘地区の人口動態>

	平成10年9月末(A)	平成20年9月末(B)	増減(B-A)
人口	13,193人	12,271人	▲922人
年齢区分別人口			
0~5歳	679人	600人	▲79人
6~14歳	1,452人	1,026人	▲426人
15~64歳	10,238人	8,705人	▲1,533人
65歳~	824人	1,940人	1,116人
高齢化率	6.25%	15.81%	9.56%
世帯数	4,383	4,725	342
上記のうち、65歳以上で1人暮らし世帯数	99	326	227

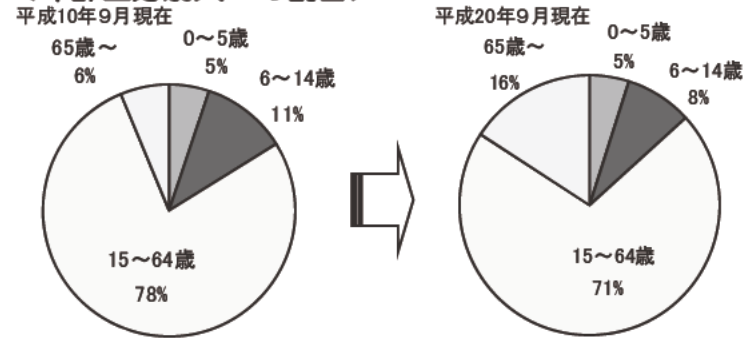


霧が丘地区は、10年前と比較すると人口が約7%減少しています。そのほかに以下の特徴があります。

- 15歳から64歳の割合 7%減少
- 65歳以上の割合 10%増加
- 高齢化率 9.5%増加

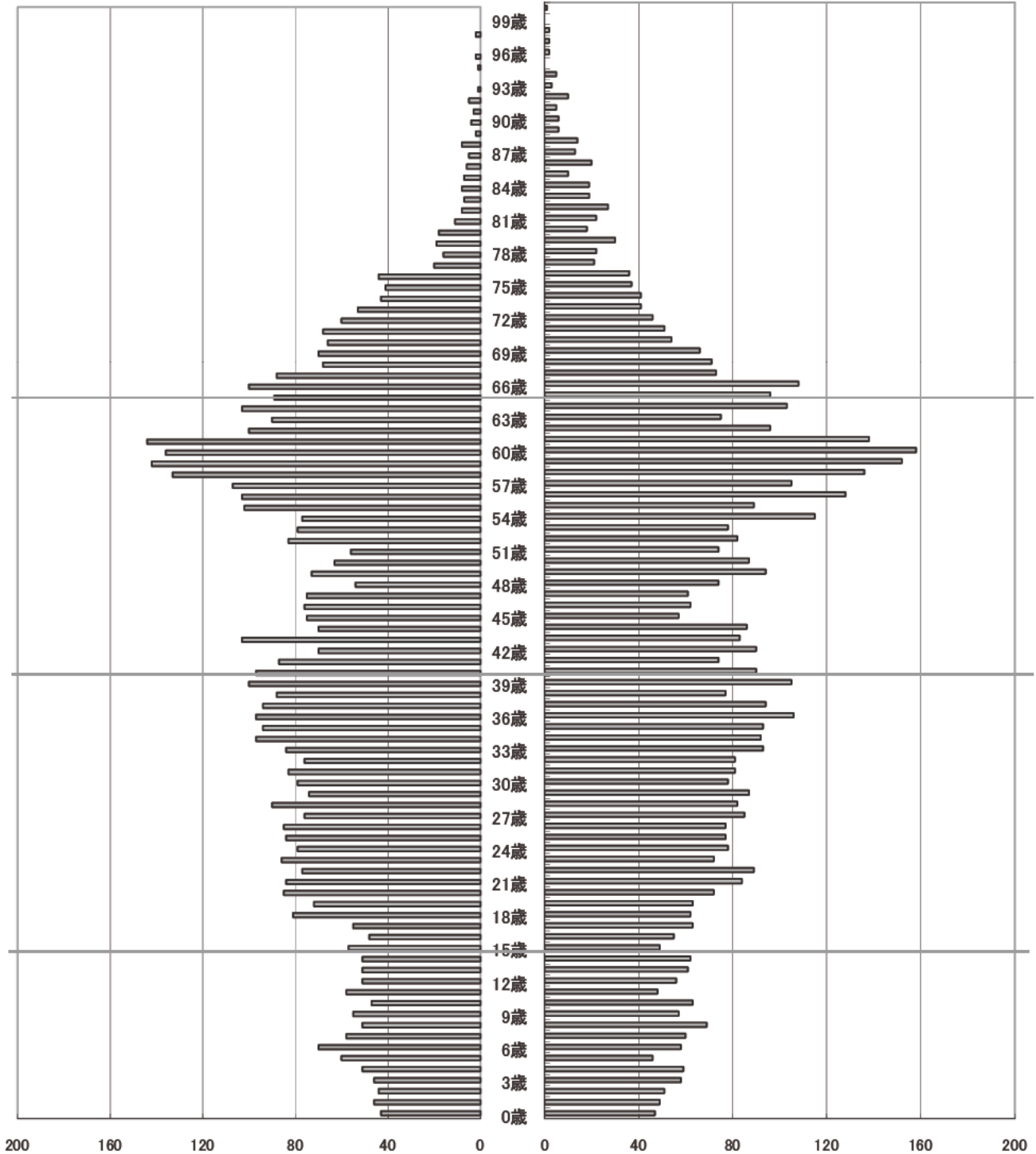
平成20年(2008年)9月末現在の人口(単位:人)

<年齢区分別人口の割合>



男

女



【霧が丘地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
1	1 住民同士が顔見知りとなり、地域で支えあえる関係づくりをすすめます。	1 住民同士がつながりを持つきっかけとして、あいさつや声かけが自然にできる関係づくりをすすめていきます。	—	—	—
		2 自治会や地区社協などの地域活動への参加促進に取り組みます。	—	—	—
2	1 身近な地域でボランティアの仲介ができるようにします。	1 身近な地域に、ボランティア関係の相談ができる人を育て、ボランティアをしたい人、受けたい人の相談と調整ができる仕組みをつくります。	地区社協	一般	ボランティア相談室設置
		2 区社協（ボランティア相談コーナー）で培ったコーディネートの知識や経験を用いて、新たなコーディネーターの育成を行います。	—	—	—
2	ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくりをすすめます。	1 ボランティアの人材募集、育成のために、区社協や各種福祉施設などで参加意欲を高めるようなプログラムを取り入れた講座や研修を行い、効果的なPRを実施します。	—	—	—
		2 福祉保健活動に関する情報を手軽に得られるよう、インターネットを利用した情報提供を行います。	—	—	—
3	障がい児・者を支援するためのボランティアを育てていきます。	1 障がいに関する知識を学び、技術を身につける研修を増やします。	—	—	—
		2 研修を受けた人たちが実際にボランティア活動ができるような環境を整えます。	—	—	—
		3 障がい児・者の地域生活支援（余暇支援など）のボランティアが主体的にグループの運営に参加できるよう支援していきます。	区社協	障がい	ひまわり教室（中途障がい者リハビリ教室）（継続）
4	思いやりのある人を育てる地域をつくります。	1 学校における福祉教育を地域の人や福祉施設などの協力を得て充実させていきます。	福祉保健活動団体	子ども	ハートバリアフリー実行委員会による福祉教育(継続)
		2 学校、家庭、地域が連携して地域福祉保健活動を活性化していきます。	—	—	—
		3 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	地域ケアプラザ	一般	健康チェックの日（共催：霧が丘保健活動推進委員会）（新規）
3	1 身近な「場」を有効活用できるようにします。	1 学校、地区センター、地域ケアプラザ、地域作業所などの施設に関して、地域のニーズにあった弾力的な運用を促進します。	—	—	—
		2 多様な民間施設の有効活用をすすめます。（店舗の空き時間の活用、空きスペースの活用、企業の会議室などの活用）	—	—	—
		3 身近な地域で活動できる場についてのガイドマップを作成します。	—	—	—
2	同じような目的を持った人が集える機会や場を増やします。	1 利用する対象者の目的に合った施設情報の提供を促進します。	—	—	—
		2 集える機会を増やして活動の活性化につなげます。	地区社協 緑会	一般 高齢	古典朗読会（継続） 太極拳、ゲートボール、グラウンドゴルフ、ベタンク、歩こう会、童謡を歌う会、書道（継続）

【霧が丘地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
3	2 同じような目的をもった人が集える機会や場を増やします。	2 集える機会を増やして活動の活性化につなげます。	地区社協、民生・児童委員	こども	霧が丘子育てサロン（3歳児までの子育て中の人のサロン）（継続）平成20年5月から霧が丘地域ケアプラザで開催
			区役所、児童委員、保健活動推進員	こども	すくすく教室赤ちゃん教室（継続）平成20年7月から霧が丘地域ケアプラザで開催
			福祉保健活動団体	こども	リフレッシュサロン（新規）乳児親子のティータイムと交流
			福祉保健活動団体、地区社協	高齢	霧が丘会食会（高齢者の昼食会）（継続）
			地区社協	高齢	談話会（高齢者のサロン）（継続）
			地区社協	障がい	霧が丘ひまわり教室（中途障がい者リハ教室）（継続）
			地域ケアプラザ	こども	もくもく会（新規）
			地域ケアプラザ	高齢	コーラスサロン（新規）
			地域ケアプラザ	高齢	歌声広場（新規）
			地域ケアプラザ	一般	介護者の集い（介護者の交流会）（新規）
	地域ケアプラザ	高齢	囲碁の日（共催：霧が丘囲碁愛好会）		
	3 世代間のつながりがもてるような機会や場づくりをすすめます。	1 地域での行事やグループなどの交流を促進して、つながりのきっかけづくりをしていきます。	学校、地区社協	高齢	昔のくらし（霧が丘小学生と高齢者の会食会）（継続）
			学校、地区社協	高齢	昔あそび（高齢者が1年生に昔遊びを教える）（継続）
学校、地区社協			高齢	ふれあいパーティー（霧が丘小学生と高齢者の談話会）（継続）	
4 困ったときに身近な地域での相談先がわかるようにします。	2 公共施設などのフリースペースで、誰でも自由に参加できる「場」の活用をすすめます。	—	—	—	
		1 事業者との連携により、相談機関等を示した啓発ポスターを掲示していきます。	—	—	
		2 福祉保健の総合相談窓口としての地域ケアプラザを地域にPRしていきます。	—	—	
		3 身近な地域の福祉保健関係者の活動をPRしていきます。	—	—	
4 福祉保健相談の受け手をPRしていきます。	4 福祉保健相談の受け手をPRしていきます。	—	—	—	
		—	—	—	
		—	—	—	
		—	—	—	

※平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

【霧が丘地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
4	福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます。	1 個々の団体の活動内容を地域に効果的に広報していきます。	—	—	—
		2 福祉保健活動団体掲載冊子を作成し、身近な地域で利用できるようにします。	—	—	—
		3 社協の活動をわかりやすく周知し、地域とのかかわりを深めていきます。	—	—	—
		4 住民に身近な場所で福祉保健に関する制度やサービスなどの情報提供をしていきます。	—	—	—
		5 地域活動団体同士の交流を活性化し、情報の共有を促進します。	—	—	—
		6 地域単位で障がいについての講習会や交流の機会を設け、情報を地域に提供し、地域の理解を深めます。	—	—	—
3	誰もが情報を入手しやすい環境整備をすすめます。	1 若年層、中年層、高齢層などそれぞれの年齢層に適した工夫を凝らした、多様な方法で情報発信を行っていきます。	地域ケアプラザ	一般	霧が丘地域ケアプラザホームページ（新規）
		2 高齢者や障がい者については、相手の理解しやすい方法で情報を提供しよう心がけます。	—	—	—
4	支援が必要な人の情報を地域単位で把握しやすくしていきます。	1 緊急時を含め、支援が必要な人について、個人情報保護に配慮して、地域で情報を把握できるようにしていきます。	—	—	—
		2 地域活動や行事の際に、支援の必要な人の参加を促し情報を把握していきます。	—	—	—
		3 個人情報の取り扱いに関する啓発をすすめていきます。	—	—	—
5	災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるよう取り組みます。	1 災害・緊急時に備え、日ごろから支えあいの人間関係づくりをすすめます。	自治会	一般	防災訓練（夜間宿泊訓練も含む防災訓練）（継続）
		2 災害弱者の救援対策を地域全体で考えていきます。	—	—	—
		3 災害時・緊急時、犯罪等の情報を多様な方法で迅速に伝達していきます。	—	—	—
		4 ささまざまな工夫をした防犯パトロール活動に取り組みます。	—	—	—
2	誰もが安心して安全に出かけられるまちづくりをすすめます。	1 点字ブロックの上に物を置かないなど、誰もが外出しやすいうよう、住民同士が配慮をしていきます。	—	—	—
		2 地域でのボランティアによる送迎活動やミニバス運行など高齢者や障がい児・者などの移動を地域で支えていきます。	—	—	—
3	誰もが心豊かで、より健やかに生活できるようにしていきます。	1 子どもの頃からの健康づくりをすすめます。	—	—	—
		2 地域で自主的な健康づくり活動を、各種保健団体と協力して広がっていきます。	保健活動推進員	一般	健康体操、講座実施、各種事業支援（継続）
		3 地域で介護予防活動の取り組みを充実していきます。	地域ケアプラザ	高齢	フレスコ体操（新規）

※平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

霧が丘地区社協の取組み

たくさんある中からご紹介します

* 新しい『霧の里』を会場に「社協ふれあいまつりとバザー」を開催しました！

霧が丘地区社会福祉協議会広報紙 平成20年11月20日発行(1)

十月二十六日(日)、新しい「霧の里」の裏が丘地区スポーツ広場を会場に恒例の「第24回社協ふれあいまつりとバザー」が開催されました。

バザーは霧が丘の新しいお心尽くしの福話、シッ・ポル、陶器、食品、雑貨と、質・量ともに例年以上のお品が並びました。時間満了は一時で完了。

入場第一
母のかたは新しいタオル
三組お買い上げでした。①

ふれあいまつり
は指輪、竹とんぼの飾り、紅毛入、毛もも、編んだ毛糸を見せました。②

ふれあいまつり
サートは霧が丘中学校の音楽部、吹奏楽部と霧が丘高校の合唱部の皆さんの出演で盛りだくさん。③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

社協ふれあいまつりとバザー

第29号
発行責任者 霧が丘地区社会福祉協議会
会長 萩原 健二

社協助成金のお願い

社協の活動費は、霧が丘の住民一人一人(二口以内)と、社協関係(医療者と法人二口以内)の協賛、またバザーなどの事業収益金および市区社協の助成金でまかなっております。平成20年度の協賛金自治会を通じてお願いいたします。平素より協力くださるようお願い申し上げます。

募込先▼〒成田211月12月

益誦じ文室
萩原 洋子

連合自治会連年の益誦り大会は今年も秋葉を出させて頂き「福話そば、じやがシツク、ヨリヨリ釣り、短距離選手作りの「福話、ハ」を販売しました。他地域の花火大会などとは違い、心配しませんが、二口も中々売れ、思っていた以上の収益を上げる事が出来ました。お買い上げ下さいました皆さん、感謝申し上げます。収益金は協会の活動に充てさせていただきます。

下りました皆さん、御協力下さいました方には、御礼申し上げます。

今後共々協力の程よろしくお願い申し上げます。

敬者の口を開く
萩原 洋子

霧が丘在住の十七歳以上八十九歳の方々に、お祝い品として、小・中・高校生のお手紙、厚生委員重委員の方々の勇気をいただきました。心こもったお返事を一人一人受け取りたいと思います。

特に子ども達のお手紙には、先生方の返事もあわせて、いつも感動を覚えます。おまかせ学校等に感謝の言葉を添え、また、お返事を添えたいという方もおられました。

ボランティア相談室
萩原 小川 京子

霧が丘にお住まいの方で、日中生活が孤独の方をお探しをしております。

☆ボランティア活動をしたがいかなる経験をさせていただきます。

◆連絡先◆
OOO(03)6111-0000
(平日のみの受付時間)

話を聞いた後、申す・高齢者、アイマスク、手話の四コマに分かれた。体感した生徒は次のような感想を述べています。

「体が重く動きも遅く、歩くと転びそうでした。杖を使わずに歩くのは大変な思いをしました。」

「アイマスクをして歩くのは、歩きたまは、ちんぷんが落ちてくるので、少しづつ歩いていくのが怖かったです。視力障害の人が安心して生活できるようにできたらいいなと思いました。」

「も、困っているかいた、できることをしたいと思います。その時に何かお手伝いしましょうか。この場が必要になります。誰もがこの気持ちを伝えるようにしたいと思っています。」

「中学生の心臓が何かが芽生えた感じがします。」

「利用が少ないのは必要がないから？」

「霧が丘の配食サービスを考えよう。」

* 配食サービスについて検討をしています
年末たすけあい募金配分金のお届けにあわせ、アンケートを実施しました

配食(食事)を中心にお話を伺いました。

〈結果をみて考えたこと〉

- ・現在 配食サービスを受けている人は4パーセントと少ない
- ・食事は自分で作っている人がほとんど
- ・重い物の買い物に困っている人がいることが、ききとりから確認できた
- ・週末は娘さんが来てくれるなど、家族の支援が届いている世帯が多い

みんなで検討中です！

利用が少ないのは必要がないから？

霧が丘の配食サービスを考えよう。

長津田地区

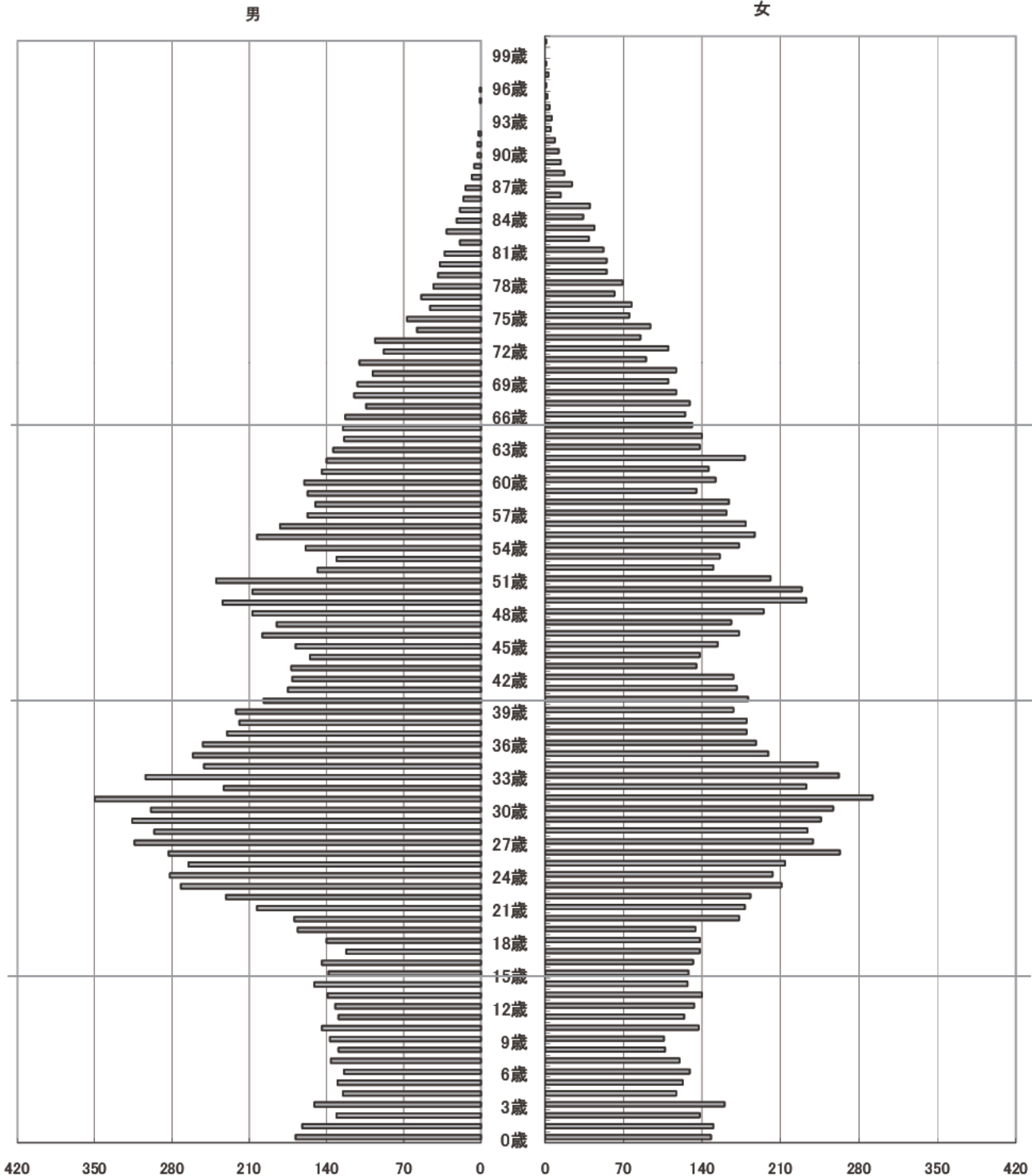
<地域> 長津田1～7丁目、長津田町、いぶき野
長津田みなみ台1～6丁目・7丁目の一部

平成10年(1998年)9月末現在の人口(単位:人)

<長津田地区の人口動態>

	平成10年9月末(A)	平成20年9月末(B)	増減(B-A)
人口	26,843 人	34,584 人	7,741 人
年齢区分別人口			
0～5歳	1,703 人	2,441 人	738 人
6～14歳	2,344 人	3,018 人	674 人
15～64歳	19,480 人	23,997 人	4,517 人
65歳～	3,316 人	5,128 人	1,812 人
高齢化率	12.35%	14.83%	2.48%
世帯数	10,851	15,011	4,160
上記のうち、65歳以上で1人暮らし世帯数	554	1,102	548

注)平成20年において、長津田みなみ台7丁目のデータについては、新治西部・十日町地地区へ集計しています。



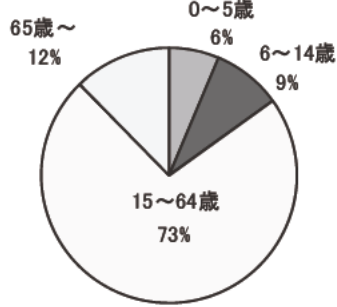
長津田地区は、10年前と比較すると人口が約28.8%増加しています。そのほかに以下の特徴があります。

- 15歳から64歳の割合 4%減少
- 65歳以上の割合 3%増加
- 高齢化率 2.5%増加

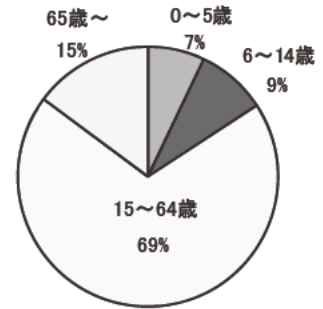
平成20年(2008年)9月末現在の人口(単位:人)

<年齢区分別人口の割合>

平成10年9月現在

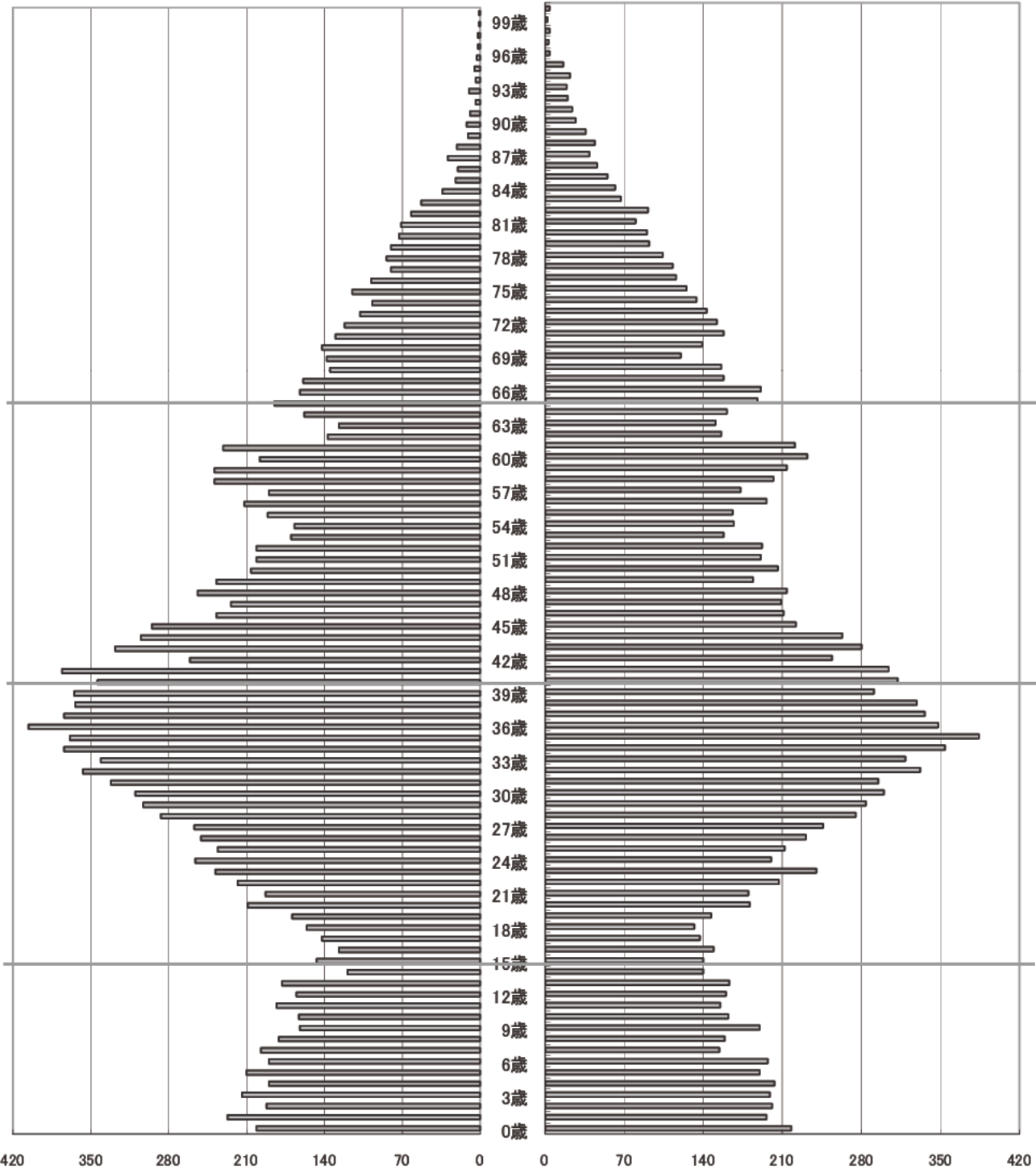


平成20年9月現在



男

女



注) 長津田みなみ台7丁目のデータについては、新治西部・十日市場団地地区へ集計しています。

【長津田地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容		
1	1 住民同士が顔見知りとなり、地域で支えあえる関係づくりをすすめます。	1 住民同士がつながりを持つきっかけとして、あいさつや声かけが自然にできる関係づくりをすすめていきます。	自治会、各種団体等	一般	単位自治会における防犯パトロールの実施（継続）		
			地域ケアプラザ	高齢	配食ボランティアグループ「たんぼぼ」による高齢者等への配食（継続）		
			PTA、地域住民、主任児童委員、民児協	子ども	通学路でのパトロール（継続）		
			地区計画策定ステップ事業実行委員会	子ども	ステップ事業（子どもとその家族に対する支援について検討、長津田地区計画策定のステップとする）（新規）		
		2 自治会や地区社協などの地域活動への参加促進に取り組みます。	子供会	子ども	子供会活動の活性化（継続）		
			地区社協	子ども	福祉作文コンクールの実施（継続）		
2	1 身近な地域でボランティアの仲ができるようにします。	1 身近な地域に、ボランティア関係の相談ができる人を育て、ボランティアをしたい人、受けたい人の相談と調整ができる仕組みをつくります。	地区社協	一般	毎月1回リサイクル活動でのボランティア受け入れ（継続）		
			地域ケアプラザ	一般	ボランティアの相談・連絡・調整（継続）		
			区社協	一般	ボランティアコーディネーター研修（継続）		
		2 区社協（ボランティア相談コーナー）で培ったコーディネート知識や経験を用いて、新たなコーディネーターの育成を行います。	—	—	—		
			2 ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくりをすすめます。	1 ボランティアの人材募集、育成のために、区社協や各種福祉施設などで参加意欲を高めるようなプログラムを取り入れた講座や研修を行い、効果的なPRを実施します。	—	—	—
				2 福祉保健活動に関する情報を手軽に得られるよう、インターネットを利用した情報提供を行います。	—	—	—
	3 障がい児・者を支援するためのボランティアを育てていきます。	1 障がいに関する知識を学び、技術を身につける研修を増やします。	—	—	—		
			2 研修を受けた人たちが実際にボランティア活動ができるような環境を整えます。	地域ケアプラザ 区社協	障がい	障がい者青年学級（継続）	
				地域ケアプラザ	障がい	「遊遊クラブ」50代・60代の中途障がい者の集い（継続）	
		3 障がい児・者の地域生活支援（余暇支援など）のボランティアが主体的にグループの運営に参加できるよう支援していきます。	地区社協	障がい	リハビリ教室月1回を2カ所で開催（継続）		
			4 思いやりのある人を育てる地域をつくります。	1 学校における福祉教育を地域の人や福祉施設などの協力を得て充実させていきます。	地域ケアプラザ	子ども	地域の保育園との交流事業、小・中・高校での「福祉」をテーマにした学習への協力（継続）
					福祉保健活動団体	子ども	ハートバリアフリー実行委員会による福祉教育（継続）
2 学校、家庭、地域が連携して地域福祉保健活動を活性化していきます。	2 学校、家庭、地域が連携して地域福祉保健活動を活性化していきます。	地区社協	子ども	福祉作文コンクールの実施（継続）			
		地区計画策定ステップ事業実行委員会	子ども	ステップ事業（子どもとその家族に対する支援について検討、長津田地区計画策定のステップとする）（新規）			
		3 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	3 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	地区社協	子ども	敬老会の中学生のボランティア（継続）	

※平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

【長津田地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
3	1 身近な「場」を有効活用できるようにします。	1 学校、地区センター、地域ケアプラザ、地域作業所などの施設に関して、地域のニーズにあった弾力的な運用を促進します。	地区社協	一般	集会所を活用した福祉団体の交流（継続）
			地域ケアプラザ	一般	運営協議会開催、地域住民との対話の機会（継続）、部屋の貸出（継続）
2 多様な民間施設の有効活用をすすめます。（店舗の空き時間の活用、空きスペースの活用、企業の会議室などの活用）		地区社協	一般	集会所を活用した福祉団体の交流（継続）	
		3 身近な地域で活動できる場についてのガイドマップを作成します。	福祉保健活動団体 区役所 区社協	こども	子育てお助けBOOK（継続）
2	同じような目的をもった人が集える機会や場を増やします。	1 利用する対象者の目的に合った施設情報の提供を促進します。	地域ケアプラザ	こども	布絵本・布おもちゃ貸出事業（継続）
			地域ケアプラザ	一般	エントランスに「介護情報閲覧コーナー」設置（継続）
		2 集える機会を増やして活動の活性化につなげます。	地区社協、連合自治会、健康で心ゆたかに過ごすまちづくりの会 地域ケアプラザ	一般	主催担当団体との協働による事業の実施（継続）
			自治会	高齢	ふれあい喫茶「もちーふ」つたのは学園家族会とボランティアによる喫茶室（継続）
			自治会	高齢	長津田団地「茶話おしゃべりの会」（継続）
			自治会	高齢	杉山原老人昼食会（継続）
			福祉保健活動団体	高齢	長津田北屋食会（新規）
			福祉保健活動団体	高齢	いぶき野「おしゃべりサロン」高齢者茶話会（継続）
			福祉保健活動団体	高齢	「いぶきの会」高齢者食事会（継続）
			老人会	高齢	杉山原誠会高齢者食事会・ミニデイサービス（継続）
			老人会	高齢	長津田団地「あざみ会」高齢者食事会・ミニデイサービス（継続）
			地区社協	高齢	「日曜日ハピリ教室（長津田駅北側エリア在住者）」（継続）
			地区社協	高齢	「南長津田ふれあいの会（長津田駅南側エリア在住者）」（継続）
			地域ケアプラザ	高齢	「すっきり健康体操」高齢者の介護予防の集い（継続）
			地域ケアプラザ	高齢	「おたのしみくらぶ」高齢者ミニデイ（継続）
			福祉保健活動団体	こども	「ビーンズ（障がい児対象子育てサロン）」（継続）
			福祉保健活動団体	こども	「汽車ぼっぼ」（継続）
			地域ケアプラザ	こども	親子サロン「ほっと・るむ長津田」未就園児と親の集い（継続）
			地域ケアプラザ	障がい	「遊遊クラブ」50代・60代の中途障がい者の集い（継続）
			地域ケアプラザ 区社協	障がい	障がい者青年学級「えがお」青年層の知的障がい者の集い（継続）
			区役所 地域ケアプラザ	こども	プレパパ・プレママ教室（継続）
			保育園 区役所	こども	「みどりっこ」（継続）

※平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

【長津田地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
3	3 世代間のつながりがもてるような機会や場づくりをすすめます。	1 地域での行事やグループなどの交流を促進して、つながりのきっかけづくりをしていきます。	地域ケアプラザ	高齢	保育園生と通所介護利用者との交流（継続）
			地域ケアプラザ	一般	地域作業所「あしたば工芸」による製造・販売のための出店支援
		2 公共施設などのフリースペースで、誰でも自由に参加できる「場」の活用をすすめます。	地域ケアプラザ	一般	エントランスにチラシ掲示やラックの設置（継続）
4	1 困ったときに身近な地域での相談先がわかるようにします。	1 事業者との連携により、相談機関等を示した啓発ポスターを掲示していきます。	地域ケアプラザ	一般	エントランスにチラシ掲示やラックの設置 各種パンフレットの作成（継続）
		2 福祉保健の総合相談窓口としての地域ケアプラザを地域にPRしていきます。	地域ケアプラザ	—	長津田地区ケアマネジャー連絡会（継続）
		3 身近な地域の福祉保健関係者の活動をPRしていきます。	地域ケアプラザ	高齢	協力医による健康相談（継続）
		4 福祉保健相談の受け手をPRしていきます。	地区社協	一般	「地区社協だより」の発行（継続）
	2 福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます。	1 個々の団体の活動内容を地域に効果的に広報していきます。	地域ケアプラザ	一般	長津田地域ケアプラザ新聞の発行（継続）
		2 福祉保健活動団体掲載冊子を作成し、身近な地域で利用できるようにします。	地区社協	一般	「地区社協だより」の発行（継続）
		3 社協の活動をわかりやすく周知し、地域とのかかわりを深めていきます。	地域ケアプラザ	一般	「介護を学ぶひまわりの会」（継続）
		4 住民に身近な場所で福祉保健に関する制度やサービスなどの情報提供をしていきます。	地域ケアプラザ	一般	エントランスに「介護情報閲覧コーナー」設置（継続）
			地域ケアプラザ 福祉保健活動団体	一般	ふれあい喫茶「もちーふ」（つたのは学園家族会とボランティアによる喫茶室運営（継続）
		5 地域活動団体同士の交流を活性化し、情報の共有を促進します。	—	—	—
6 地域単位で障がいについての講習会や交流の機会を設け、情報を地域に提供し、地域の理解を深めます。	地域ケアプラザ	一般	暮らしに役立つ講座の各種開催（継続）		
3 誰もが情報を入手しやすい環境整備をすすめます。	1 若年層、中年層、高齢層などそれぞれの年齢層に適した工夫を凝らした、多様な方法で情報発信を行っていきます。	—	—	—	
	2 高齢者や障がい者については、相手の理解しやすい方法で情報を提供できるよう心がけます。	地域防災運営委員会 長津田自治連合会 民生・児童委員	一般	防災ささえあいカードによる要援護者の把握・支援(新規)	
4 支援が必要な人の情報を地域単位で把握しやすくしていきます。	1 緊急時を含め、支援が必要な人について、個人情報保護に配慮して、地域で情報を把握できるようにしていきます。	民生・児童委員	高齢	ふれあい・あんしん推進事業(継続)	
	2 地域活動や行事の際に、支援の必要な人の参加を促し情報を把握していきます。	—	—	—	
	3 個人情報の取り扱いに関する啓発をすすめていきます。	地域防災運営委員会 自治連合 民生・児童委員	一般	防災ささえあいカードによる要援護者の把握・支援(新規)	

※平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

【長津田地区】

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
5	1 災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるよう取り組みます。	1 災害・緊急時に備え、日ごろから支えあいの人間関係づくりをすすめます。	—	—	—
		2 災害弱者の救援対策を地域全体で考えていきます。	—	—	—
		3 災害時・緊急時、犯罪等の情報を多様な方法で迅速に伝達していきます。	自治会、各種団体等	一般	単位自治会における防犯パトロールの実施（継続）
		4 さまざまな工夫をした防犯パトロール活動に取り組みます。	—	—	—
	2 誰もが安心して安全に出かけられるまちづくりをすすめます。	1 点字ブロックの上に物を置かないなど、誰もが外出しやすいよう、住民同士が配慮をしていきます。	地区社協	高齢	送迎サービス事業（継続）
		2 地域でのボランティアによる送迎活動やミニバス運行など高齢者や障がい児・者などの移動を地域で支えていきます。	—	—	—
	3 誰もが心豊かで、より健やかに生活できるようにしていきます。	1 子どもの頃からの健康づくりをすすめます。	地区社協、連合自治会 健康で心ゆたかに過ごすまちづくりの会	一般	町ぐるみ健康づくり教室（継続）
			福祉保健活動団体	高齢	転倒骨折予防教室OB会「上田体操ほほえみクラブ」（継続）
		2 地域で自主的な健康づくり活動を、各種保健団体と協力して広がっていきます。	地域ケアプラザ、区役所	高齢	地域支援事業の実施（継続）
			地域ケアプラザ、区役所	高齢	老人会での健康講座実施（継続）
		3 地域で介護予防活動の取り組みを充実していきます。	福祉保健活動団体	高齢	認知症予防なごみ会（新規）
			地域ケアプラザ、区役所	高齢	認知症予防教室実施（継続）
地域ケアプラザ	高齢	「すっきり健康体操」高齢者の介護予防の集い（継続）			

※平成20年12月現在、みどりのわ・ささえ愛プラン推進ワーキング会議が把握している情報のみを掲載しています。

2 区全体での取り組み状況（区役所、区社協、拠点）

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容	
1	1 住民同士が顔見知りとなり、地域で支えあえる関係づくりをすすめます。	1 住民同士がつながりを持つきっかけとして、あいさつや声かけが自然にできる関係づくりをすすめていきます。	地域子育て支援拠点「いっぽ」	子ども	「いっぽ」 なつまつり・クリスマス会	
			緑区生活支援センター みどり地域活動ホーム 「あおぞら」	一般	秋祭り「みどりコスモスフェスタ」	
		2 自治会や地区社協などの地域活動への参加促進に取り組みます。	緑区社会福祉協議会	一般	地区計画策定「ステップ事業」	
			緑区社会福祉協議会 緑区役所（福祉保健課） 地域ケアプラザ	一般	みどりのわ・ささえ愛プラン・「エリアミーティング」の開催	
2	1 身近な地域でボランティアの仲介ができるようにします。	1 身近な地域に、ボランティア関係の相談ができる人を育て、ボランティアをしたい人、受けたい人の相談と調整ができる仕組みをつくりまします。	緑区社会福祉協議会	一般	地域ボランティア相談室の支援	
			緑区役所（福祉保健課）	一般	地域ボランティア相談室の設置への支援	
			緑区役所（サービス課）	子ども	ほっとホームスティ・サポート事業	
	2 区社協（ボランティア相談コーナー）で培ったコーディネートの知識や経験を用いて、新たなコーディネーターの育成を行います。	2 区社協（ボランティア相談コーナー）で培ったコーディネートの知識や経験を用いて、新たなコーディネーターの育成を行います。	緑区社会福祉協議会	一般	地域ボランティア相談コーディネーターの研修事業	
			緑区社会福祉協議会	一般	地区社協、ケアプラザと共催した各種ボランティア講座	
			地域子育て支援拠点「いっぽ」	一般	保育支援者養成講座	
	2 ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくりをすすめます。	1 ボランティアの人材募集、育成のために、区社協や各種福祉施設などで参加意欲を高めるようなプログラムを取り入れた講座や研修を行い、効果的なPRを実施します。	緑区社会福祉協議会	一般	地区社協、ケアプラザと共催した各種ボランティア講座	
			地域子育て支援拠点「いっぽ」	一般	保育支援者養成講座	
		2 福祉保健活動に関する情報を手軽に得られるよう、インターネットを利用した情報提供を行います。	2 福祉保健活動に関する情報を手軽に得られるよう、インターネットを利用した情報提供を行います。	緑区社会福祉協議会	一般	地区社協情報を区社協ホームページへアップ
				緑区役所（サービス課）	子ども	ふたごちゃんサポートボランティア研修
3 障がい児・者を支援するためのボランティアを育てていきます。	1 障がいに関する知識を学び、技術を身につける研修を増やします。	緑区社会福祉協議会	一般	地域ケアプラザ、緑区生活支援センター、みどり地域活動ホームと共催したボランティア講座		
		地域子育て支援拠点「いっぽ」		発達相談の日の定期開催		
		地域子育て支援拠点「いっぽ」	一般	「発達と障がいを考える」「気になる子どもたちと就労」など講座各種		
		緑区役所（サービス課） 緑区生活支援センター 緑区社会福祉協議会	一般	精神保健ボランティア講座		
	2 研修を受けた人たちが実際にボランティア活動ができるような環境を整えます。	2 研修を受けた人たちが実際にボランティア活動ができるような環境を整えます。	-	-	-	
			緑区社会福祉協議会 地域ケアプラザ	一般	学齢障がい児余暇支援事業のボランティアリーダーの育成の共催	
			みどり地域活動ホーム 「あおぞら」	一般	ボランティア交流会	
4 思いやりのある人を育てる地域をつくりまします。	1 学校における福祉教育を地域の人や福祉施設などの協力を得て充実させていきます。	緑区社会福祉協議会	子ども	夏休み福祉体験事業		
		緑区役所（サービス課）	子ども	中学生と赤ちゃんのふれあい体験		
	2 学校、家庭、地域が連携して地域福祉保健活動を活性化していきます。	2 学校、家庭、地域が連携して地域福祉保健活動を活性化していきます。	緑区社会福祉協議会	子ども	福祉教育学校助成金	
			緑区役所（地域振興課）	子ども	学校・地域連携支援事業（中学生の職場体験・学習活動支援）	
			緑区役所（地域振興課）	一般	市民活動/パワーアップ支援事業（団塊世代に向け地域活動参加に向けて）	
緑区役所（地域振興課）	一般	地域課題チャレンジ提案事業（区と協働し地域課題に取り組む団体へ支援と補助金交付）				

2 区全体での取り組み状況（区役所、区社協、拠点）

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
2	4 思いやりのある人を育てる地域をつくります。	3 地域ぐるみで、福祉保健活動が活発に行われる地域をつくっていきます。	緑区社会福祉協議会 緑区役所（福祉保健課）	こども	ハートバリアフリー実行委員会による福祉教育支援事業
			緑区役所（サービス課）	障がい	障害者音楽交流会「フェスタみどりのわ」事業
			緑区役所（サービス課）	こども	子育て活動グループ支援
3	1 身近な「場」を有効活用できるようにします。	1 学校、地区センター、地域ケアプラザ、地域作業所などの施設に関して、地域のニーズにあった弾力的な運用を促進します。	みどり地域活動ホーム「あおぞら」	こども	おもちゃ文庫（絵本おもちゃの貸し出し・読み聞かせなど）
		2 多様な民間施設の有効活用をすすめます。（店舗の空き時間の活用、空きスペースの活用、企業の会議室などの活用）	—	—	—
		3 身近な地域で活動できる場についてのガイドマップを作成します。	地域ケアプラザ 緑区社会福祉協議会 緑区役所	一般	地区社協ガイドマップ作成支援 団塊の世代向け地域情報冊子作成支援
2	同じような目的をもった人が集える機会や場を増やします。	1 利用する対象者の目的に合った施設情報の提供を促進します。	緑区役所（サービス課） 地域ケアプラザ 共催	こども	プレパパ・プレママ講座
		2 集える機会を増やして活動の活性化につなげます。	子育てネットワーク	こども	子育てフェスタの開催
		緑区社会福祉協議会 緑区役所（福祉保健課）	一般	地域活動団体交流会「オトナの一期一会」の開催	
		緑区役所（福祉保健課）	高齢	シルバーフェスティバル（演芸・囲碁将棋大会）	
		緑区役所（サービス課）	こども	子育て支援者事業の実施	
		緑区役所（サービス課）	こども	赤ちゃん教室（育児支援）	
		緑区役所（サービス課）	こども	親子の居場所の運営支援（はなまる）	
		緑区役所（サービス課）	こども	あつまれ！みどりっこまつり（育児に関する情報提供・イベント）	
		緑区役所（地域振興課）	こども	青少年地域サポート事業（居場所作りやボランティア支援）	
		緑区役所（サービス課）	こども	不登校児支援対策勉強会（あすなろ檜）	
		緑区役所（福祉保健課）	一般	みどりヘルスアップ推進事業（健康づくりへの意識を高めるイベントなど）	
		地域子育て支援拠点「いっぼ」	こども	ひろば行事（おしゃべりサロン・手形作り・スチールパンコンサート、パパサロンなど多数）	
		地域子育て支援拠点「いっぼ」	一般	学習会・各種講座（リフレッシュ講座・コミュニケーション講座など）	
		地域子育て支援拠点「いっぼ」	一般	サークル交流会	
		緑区生活支援センター	障がい	くつろぎの場の提供 仲間作り・自立活動グループへの支援・自主事業の提供	
		みどり地域活動ホーム「あおぞら」	障がい	余暇支援事業（シアター・バスケット・カラオケなど）	
3	世代間のつながりがもてるような機会や場づくりをすすめます。	1 地域での行事やグループなどの交流を促進して、つながりのきっかけづくりをしていきます。	緑区社会福祉協議会	一般	ハーモニーみどりふれあいまつりの開催
		緑区役所（地域振興課）	こども	子ども達の夢の緑区づくり「子ども会議」 夢みどり50プランの発表	
	2 公共施設などのフリースペースで、誰でも自由に参加できる「場」の活用をすすめます。	—	—	—	

2 区全体での取り組み状況（区役所、区社協、拠点）

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
4	1 困ったときに身近な地域での相談先がわかるようにします。	1 事業者との連携により、相談機関等を示した啓発ポスターを掲示していきます。	緑区社会福祉協議会 緑区役所（サービス課）	一般	八千代銀行の協力 障がい者の日キャンペーンパネル展示
		2 福祉保健の総合相談窓口としての地域ケアプラザを地域にPRしていきます。	緑区社会福祉協議会	一般	地区社協出張研修「介護保険と地域ケアプラザ」を希望地区に実施
		3 身近な地域の福祉保健関係者の活動をPRしていきます。	緑区社会福祉協議会	一般	社協新聞による各種事業、活動のPR
		4 福祉保健相談の受け手をPRしていきます。	緑区社会福祉協議会	一般	社協新聞による相談コーナーPR
			緑区役所（サービス課）	一般	DV対策事業
			緑区生活支援センター	障がい	相談支援事業
	地域子育て支援拠点「いっぽ」		子ども	相談支援事業	
	みどり地域活動ホーム「あおぞら」	障がい	相談支援事業		
	2 福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます。	1 個々の団体の活動内容を地域に効果的に広報していきます。	緑区社会福祉協議会	一般	地区社協情報を区社協ホームページにおいて発信
			緑区役所（福祉保健課）	一般	「みどり ひと・まちナビ」（インターネットによる情報提供）
		2 福祉保健活動団体掲載冊子を作成し、身近な地域で利用できるようにします。	緑区役所（サービス課）	子ども	子育て新聞の発行
			緑区生活支援センター	障がい	緑区生活支援センター「四季の森」発行
			地域子育て支援拠点「いっぽ」	子ども	子育て通信「いっぽ」発行
			みどり地域活動ホーム「あおぞら」	障がい	機関紙「そらからのてがみ」発行
			みどり地域活動ホーム「あおぞら」	子ども	情報誌「はぐくみ」の発行
		3 社協の活動をわかりやすく周知し、地域とのかかわりを深めていきます。	緑区社会福祉協議会	一般	概要チラシ作成 会員新聞の発行
		4 住民に身近な場所で福祉保健に関する制度やサービスなどの情報提供をしていきます。	緑区社会福祉協議会、子育てネットワーク	子ども	子育てガイドブックの発行
			緑区役所（生活衛生課）	一般	暮らしの生活衛生推進事業（食品・居住衛生などの情報提供）
			暮らしの生活衛生推進事業（食品・居住衛生などの情報提供）	高齢	相談窓口を充実（介護用品の貸し出し、「高齢者とその家族を応援するガイド」の発行）
			緑区役所（サービス課）	子ども	保育園地域応援事業（保育園での情報提供）
5 地域活動団体同士の交流を活性化し、情報の共有を促進します。		—	—	—	
6 地域単位で障がいについての講習会や交流の機会を設け、情報を地域に提供し、地域の理解を深めます。		緑区社会福祉協議会 緑区役所（サービス課）	障がい	東本郷・鴨居地域ケアプラザと共催で「障がい者余暇支援事業」	
3 誰もが情報を入手しやすい環境整備をすすめます。	1 若年層、中年層、高齢層などそれぞれの年齢層に適した工夫を凝らした、多様な方法で情報発信を行っていきます。	—	—	—	
		緑区社会福祉協議会 緑区役所（福祉保健課）	障がい	障がい者のための「やさしい防災マニュアル」の発行、パンダナ配布	
	緑区生活支援センター	障がい	就労生活のための情報収集と提供		

2 区全体での取り組み状況（区役所、区社協、拠点）

基本目標	小目標	具体的取り組み	取組主体	対象	内容
4	4 支援が必要な人の情報を地域単位で把握しやすくしていきます	1 緊急時を含め、支援が必要な人について、個人情報保護に配慮して、地域で情報を把握できるようにしていきます。	緑区役所（福祉保健課）	高齢	ふれあい・あんしん推進事業（ふれあいコール）
		2 地域活動や行事の際に、支援が必要な人の参加を促し情報を把握していきます。	—	—	—
		3 個人情報の取り扱いに関する啓発をすすめていきます。	緑区社会福祉協議会	一般	地区社協出張研修（個人情報保護）を希望地区に実施
5	1 災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるように取り組みます。	1 災害・緊急時に備え、日ごろから支えあいの人間関係づくりをすすめます。	緑区役所（サービス課）	障がい	精神障がい者家族安心入院支援事業
			緑区役所（サービス課）	高齢	思いやり住マイル支援事業
		2 災害弱者の救援対策を地域全体で考えていきます。	緑区社会福祉協議会 区役所	障がい	コミュニケーションボードの配布
			緑区役所（総務課・福祉保健課）	一般	災害時要援護者把握支援事業「防災ささえあいカード」の取り組み
		3 災害時・緊急時、犯罪等の情報を多様な方法で迅速に伝達していきます。	緑区役所（総務課）	一般	地域防災関係団体・ボランティアによる横断的ネットワーク事業
			緑区社会福祉協議会	一般	山下地区地域防災マップ作成支援
		緑区役所（地域振興課）	子ども	子どもの安全支援事業（防犯情報のメール配信等）	
	4 さまざまな工夫をした防犯パトロール活動に取り組みます。	緑区役所（地域振興課）	一般	地域防犯活動の支援、防犯リーダー養成講座	
	2 誰もが安心して安全に出かけられるまちづくりをすすめます。	1 点字ブロックの上に物を置かないなど、誰もが外出しやすいよう、住民同士が配慮をしていきます。	—	—	—
		2 地域でのボランティアによる送迎活動やミニバス運行など高齢者や障がい児・者などの移動を地域で支えていきます。	緑区社会福祉協議会	障がい	知的障がい児送迎事業対象者拡大
			緑区役所（サービス課）	障がい	要援護者（高齢者・知的障がい児等）の移送活動の助成
		緑区役所（サービス課）	高齢	地域デイサービス事業を行う団体に対する助成	
3 誰もが心豊かで、より健やかに生活できるようにしていきます。	1 子どもの頃からの健康づくりをすすめます。		緑区役所（福祉保健課）	一般	健康づくり月間行事、思いやり健康づくりの日事業
			緑区役所（福祉保健課）	一般	健康づくり講演会の開催、みどり健康アップ事業
			緑区役所（サービス課）	子ども	はつらつ1歳児はみがき指導
			地域子育て支援拠点「いっぽ」	子ども	食育講座（おやつ作り） 親子体操・フラダンス リフレッシュ講座
			地域子育て支援拠点「いっぽ」 緑区社会福祉協議会	子ども	子育てサポートシステムの運営
	2 地域で自主的な健康づくり活動を、各種保健団体と協力して広げていきます。	保健活動推進員	一般	各種健康講座	
	3 地域で介護予防活動の取り組みを充実していきます。	緑区役所（サービス課） 地域ケアプラザ	高齢	認知症予防支援事業 介護予防講座	